

広 報 資 料

(市政、経済同時)

平成 23 年 1 月 20 日
京 都 市 産 業 観 光 局
(担当：商工部産業政策課 TEL 075-222-3325)

市内中小企業の景況について

(第 97 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに実施している「京都市中小企業経営動向実態調査」の調査結果がまとまりましたので、報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 22 年 12 月
- ・ 調査対象期間 平成 22 年 10～12 月期 (3 箇月実績) / 平成 23 年 1～3 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 380 社、非製造業 420 社、計 800 社に対しアンケートを送付。508 社が回答 (回収率 63.5%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	241 (47.4)	非製造業	267 (52.6)
西陣	25 (4.9)	卸売	61 (12.0)
染色	34 (6.7)	小売	61 (12.0)
印刷	23 (4.5)	情報通信	27 (5.3)
窯業	16 (3.1)	飲食・宿泊	25 (4.9)
化学	21 (4.1)	サービス	49 (9.6)
金属	21 (4.1)	建設	44 (8.7)
機械	32 (6.3)	不明	0 (0.0)
その他の製造	69 (13.6)	合 計	508 (100.0)

➤ DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

増加、上昇などと回答した企業の企業割合から、減少、低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として、それより上である場合は、上向き傾向を表す回答が多いことを示し、下である場合は、下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

➤ 中小企業の定義

中小企業基本法に基づき、業種別に以下のとおりを設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業、その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信、飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については、インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html

調査結果概要

1. 景気動向調査について

- 需要や消費の低迷，同業他社との競合や円高などにより，製造業，非製造業の企業景気DIはともに低下し，全体の企業景気DIは2期連続で低下した。
- 来期見通しについても，製造業，非製造業ともに企業景気DIは低下。政府支援策の縮小・終了による影響や原材料費の高騰，為替動向，政局不安など先行き懸念は強く，また，設備投資の見通しも依然低水準であることから，景気動向は踊り場局面より一段と下振れする可能性がある。

(1) 今期実績 平成22年10～12月期

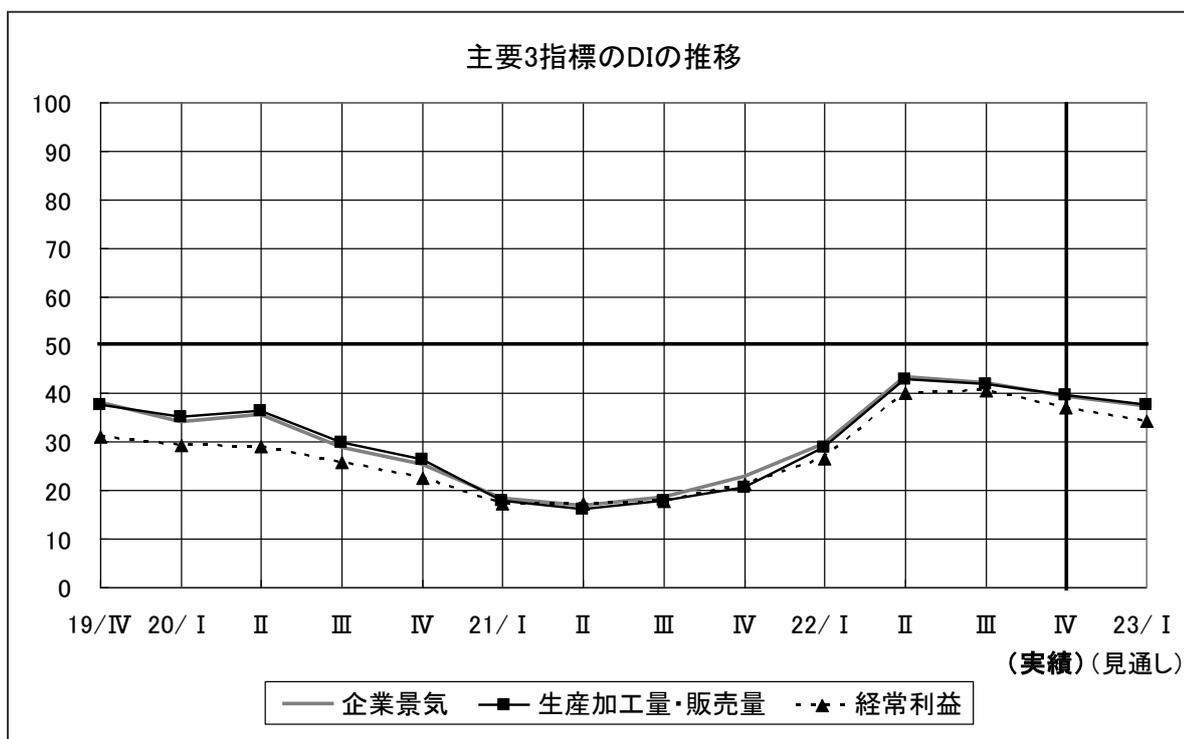
今期（平成22年10～12月期）の全業種の主要3指標DIは，企業景気DIが39.4と前期と比較し，2.7ポイントの減少となり，生産加工量・販売量DIは，39.5で同2.4ポイント，経常利益DIは，37.0で同3.7ポイントの減少となった。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	39.4 (▼ 2.7)	39.5 (▼ 2.4)	37.0 (▼ 3.7)
(製造業)	43.4 (▼ 3.3)	42.2 (▼ 3.0)	40.7 (▼ 5.5)
(非製造業)	35.8 (▼ 2.1)	36.6 (▼ 1.9)	33.4 (▼ 2.2)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。▼は低下を示す。）

・主要3指標のDIの推移



前期（平成22年7～9月期）に5期ぶりで低下した企業景気DIは，今期も引き続き低下し，2期連続の低下となった。

製造業では，「ようやくリーマンショック前の80～85%程度まで回復」（伏見区／金属），「電力，重電，車両，自動車，造船などの受注が前年比で増加」（伏見区／金属），「新商品開発で単価アップ」（上京区／西陣），「前年の落ち込みに比べれば増加」（左京区／窯業）など，車両関連受注の増加や新商品開発に伴う受注単価

増、前年等に比しての景況感改善により、金属、西陣、窯業の企業景気DIは上昇した。

一方、「印刷需要の落ち込みや官公庁入札価格の低下」（上京区／印刷）、「国内消費の冷え込みや呉服需要減」（上京区／染色）、「業界全般の売上不振に連動した業績悪化」（伏見区／化学）、「不況の長期化で設備投資を行う企業が減少し、設備計画のある企業も工期が未定」（南区／機械）、「同業他社との競争激化で、価格を下げないと売れない」（南区／機械）、「円高による海外向けの不振」（右京区／その他製造）と、長引く景気停滞の影響による需要・消費の低迷、業界不況や同業他社との競合、設備投資の減退や円高の影響などにより、印刷、化学、機械、染色、その他の製造の企業景気DIが低下した。特に、印刷と化学は前期と比較し、20ポイント台の落ち込みとなり、製造業全体の企業景気DIを押し下げる結果となった。

非製造業においては、「昨年がインフルエンザの影響により、悪すぎた」（中京区／飲食・宿泊）、「店舗のリニューアル効果」（北区／飲食・宿泊）、「サービス内容の認知度及び知名度アップ」（伏見区／サービス）、「公共工事の受注獲得」（中京区／建設）、「営業力強化」（左京区／建設）など、前年比での相対的な改善や店舗更新を含めた個別企業の営業努力を中心に、飲食・宿泊、サービス、建設の企業景気DIは上昇した。

一方、「新規ユーザーの確保が進まない」（右京区／情報通信）、「大型量販店の広告影響による価格ダウン」（下京区／卸売）、「原料単価上昇の影響」（伏見区／卸売）、「受注に直結しない展示会の差し控え」（東山区／卸売）、「中国人を中心とした外国人観光客の減少」（東山区／小売）、「他業界からの参入」（下京区／小売）、「ネット販売への流出」（右京区／小売）など、新規顧客開拓の苦戦状況や量販店の台頭、原料単価の高騰、同業他社・他業界からの参入や他販売媒体との競合もあり、情報通信、卸売、小売の企業景気DIが低下した。特に、情報通信は前期と比較し10ポイント台の落ち込みとなり、非製造業全体の企業景気DIが押し下げられた。結果として、非製造業全体の企業景気DIは、前期の若干の上昇から低下に転じた。

観光関連については、「今夏末までは購買意欲の旺盛な外国人観光客が多数来店したが、日中問題や円高などの影響が、観光地に大きな陰を落としている」（東山区／小売）、「昨年のインフルエンザから立ち直ったと思ったら、中国人観光客の減少で最悪に」（山科区／卸売）と、政局不安や円高の影響による外国人観光客の低迷及び個人消費意欲の冷え込みなどから、企業景気DIは低下した。

京都市内の製造業では、8業種中5業種で企業景気DIが低下しており、非製造業においても、6業種中3業種で企業景気DIが低下している。設備投資DIは前期比で3.5ポイント低下しており、加えて、業種別の企業景気DIに関しても、50ポイントを超える業種が依然少ないことなどから、景気は踊り場局面の状態にあるといえる。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中3業種であり、いずれも低下した業種は7業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
サービス	36.7 (△ 6.7)	36.7 (△ 1.0)	34.1 (△ 0.1)
西陣	32.0 (△ 3.7)	30.0 (△ 6.1)	32.0 (△ 0.2)
建設	38.6 (△ 2.1)	35.5 (△ 4.6)	33.3 (△ 4.1)
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
化学	50.0 (▼ 21.4)	55.0 (▼ 16.4)	45.0 (▼ 26.4)
印刷	26.1 (▼ 20.1)	30.4 (▼ 15.8)	28.3 (▼ 13.7)
情報通信	37.0 (▼ 11.1)	42.0 (▼ 8.0)	40.0 (▼ 4.2)
卸売	41.8 (▼ 6.0)	42.0 (▼ 4.8)	42.4 (▼ 6.8)
小売	29.5 (▼ 6.0)	32.1 (▼ 3.5)	26.8 (▼ 0.5)
機械	57.8 (▼ 4.2)	53.2 (▼ 9.3)	56.5 (▼ 1.8)
その他の製造	44.2 (▼ 1.6)	42.0 (▼ 4.4)	38.4 (▼ 5.0)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

(2) 来期見通し 平成23年1～3月期

来期(平成23年1～3月期)の全業種の主要3指標見通しDIは、企業景気DIが37.3と今期と比較し、2.1ポイントの減少となり、生産加工量・販売量DIは、37.7で同1.8ポイントの減少、経常利益DIは、34.3で同2.7ポイントの減少となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	37.3 (▼ 2.1)	37.7 (▼ 1.8)	34.3 (▼ 2.7)
(製造業)	40.5 (▼ 2.9)	40.6 (▼ 1.6)	38.5 (▼ 2.2)
(非製造業)	34.5 (▼ 1.3)	34.7 (▼ 1.9)	30.4 (▼ 3.0)

注：カッコ内は今期との差(来期マイナス今期。▼は低下を示す。)

来期見通し企業景気DIは、製造業、非製造業ともに低下した。

製造業では、「大企業の受注回復」(伏見区/印刷)、「1～3月に向けた受注が増加傾向」(左京区/印刷)など、印刷の来期見通し企業景気DIは、直近3期の大幅な急落からの底打ちを含めて上昇した。

しかし、「政府の補助金カットによる業況の悪化予想」(南区/金属)、「エコカー補助金の終了影響により、年末から減収基調に入る予想」(中京区/化学)、「円高による海外へのシフトや、不景気による設備投資減退での空洞化を懸念」(南区/機械)、「需要の衰退」(東山区/窯業)、「消費低迷と海外シフトの進行予想」(南区/染色)、「原料の値上がりによる原価上昇」(上京区/西陣)、「デフレ下における競争の更なる激化」(伏見区/その他製造)と、政府支援策の縮小・終了による影響、円高や景況の悪化に伴う海外シフトや設備投資意欲の減退、消費の低迷や原材料費の高騰、他社との競争の激化などにより、今期企業景気DIが上昇していた金属、西陣、染色を含め、印刷以外の7業種に関する企業景気DIの来期見通しは低下し、製造業全体で2.9ポイント低下している。

非製造業においては、「パソコンの買い替えによるソフトのバージョンアップ」(南区/情報通信)などにより、情報通信では今回の大幅な落ち込みの反動も含めて上昇基調になっており、また「新規出店によりカバー」(下京区/小売)、「廃業店の統合」(北区/小売)など、小売においては出店調整で僅かに上昇傾向にある。飲食・宿泊では「客単価は落ちているが、客数が微増」(中京区/飲食・宿泊)になり、横ばい見通しとなっている。

一方で、「景気停滞による節約志向の継続」(伏見区/サービス)、「客単価、来店頻度の減少」(中京区/サービス)、「公共工事価格の低下」(下京区/建設)、「原価以下での値合」(山科区/建設)、「得意先からの値引要請で利益率が低迷」(上京区/卸売)、「政治絡みでの不安定要素が多い」(中京区/卸売)など、景況低迷による節約志向、競争の激化による原価割れでの受注や得意先からの値引要請、政局不安などにより、サービス、建設、卸売においては、景況感の低下を予測している。この結果、非製造業全体の企業景気DIの来期見通しは1.3ポイント低下した。

なお、観光関連は、中国問題の沈静化や、円高傾向が一服したことによる底打ち期待を含めて、企業景気DIの来期見通しは上昇している。

国内経済において、大手企業は経営の効率化とともに、アジアを中心とした外需獲得を強化していることから、景気の下支えが期待されている。しかし、昨年9月上旬にエコカー補助金が終了し、同年12月から新年度にかけての政府支援策(家電エコポイント、住宅取得資金の贈与税非課税枠、緊急保証制度)の縮小・終了による影響や原材料費の高騰及び為替の動向、政局不安などにより、先行き懸念は強くなっている。

市内中小企業においては、新商品開発や新規販路開拓、新規出店及び「従来から伸張が期待できる市場分野に資源集中してきた結果」(南区/化学)、「他人依存でなく、スキル・手法向上による」(中京区/卸売)といった自社の営業努力により、来期の景況については上向きを見通す声も聞かれる。しかし、現状は一部に留まっており、前述のとおり製造業、非製造業ともに企業景気DIの来期見通しは低下した。なお、設備投資DIの来期見通しは、3.1ポイント上昇ながらも、依然10ポイント台にとどまっている。こうしたことから、市内企業景気は踊り場局面が続くと見られるが、内需の低迷等により一段と下押しされる可能性も否定できない。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は2業種であり、いずれも低下と予測している業種は8業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	41.3 (△ 15.2)	39.1 (△ 8.7)	37.0 (△ 8.7)
情報通信	40.7 (△ 3.7)	45.8 (△ 3.8)	41.7 (△ 1.7)

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
機械	48.4 (▼ 9.4)	48.4 (▼ 4.8)	48.4 (▼ 8.1)
金属	64.3 (▼ 7.1)	61.9 (▼ 9.5)	52.4 (▼ 7.6)
化学	45.2 (▼ 4.8)	52.5 (▼ 2.5)	42.5 (▼ 2.5)
サービス	32.7 (▼ 4.0)	32.3 (▼ 4.4)	22.7 (▼ 11.4)
西陣	28.0 (▼ 4.0)	26.1 (▼ 3.9)	26.1 (▼ 5.9)
その他の製造	40.6 (▼ 3.6)	40.6 (▼ 1.4)	36.8 (▼ 1.6)
建設	35.2 (▼ 3.4)	32.4 (▼ 3.1)	29.3 (▼ 4.0)
卸売	39.3 (▼ 2.5)	38.2 (▼ 3.8)	37.9 (▼ 4.5)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	42.1	39.4	37.3	41.9	39.5	37.7	40.7	37.0	34.3
製造業	46.7	43.4	40.5	45.2	42.2	40.6	46.2	40.7	38.5
非製造業	37.9	35.8	34.5	38.5	36.6	34.7	35.6	33.4	30.4

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	46.7	43.4	40.5	45.2	42.2	40.6	46.2	40.7	38.5
西陣	28.3	32.0	28.0	23.9	30.0	26.1	31.8	32.0	26.1
染色	31.3	26.5	25.0	25.0	25.0	23.5	34.4	30.9	30.9
印刷	46.2	26.1	41.3	46.2	30.4	39.1	42.0	28.3	37.0
窯業	41.7	43.8	37.5	38.2	40.0	42.9	43.8	43.3	39.3
化学	71.4	50.0	45.2	71.4	55.0	52.5	71.4	45.0	42.5
金属	63.6	71.4	64.3	61.9	71.4	61.9	65.9	60.0	52.4
機械	62.0	57.8	48.4	62.5	53.2	48.4	58.3	56.5	48.4
その他の製造	45.8	44.2	40.6	46.4	42.0	40.6	43.4	38.4	36.8
非製造業	37.9	35.8	34.5	38.5	36.6	34.7	35.6	33.4	30.4
卸売	47.8	41.8	39.3	46.8	42.0	38.2	49.2	42.4	37.9
小売	35.5	29.5	30.3	35.6	32.1	31.3	27.3	26.8	26.3
情報通信	48.1	37.0	40.7	50.0	42.0	45.8	44.2	40.0	41.7
飲食・宿泊	27.3	28.0	28.0	29.0	29.5	29.5	24.2	18.8	27.1
サービス	30.0	36.7	32.7	35.7	36.7	32.3	34.0	34.1	22.7
建設	36.5	38.6	35.2	30.9	35.5	32.4	29.2	33.3	29.3

観光関連企業	34.8	22.0	25.6	34.5	20.8	27.8	33.0	23.8	25.6
--------	------	-------------	------	------	-------------	------	------	-------------	------

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	18.4	14.9	18.0

2. 当面の経営戦略について

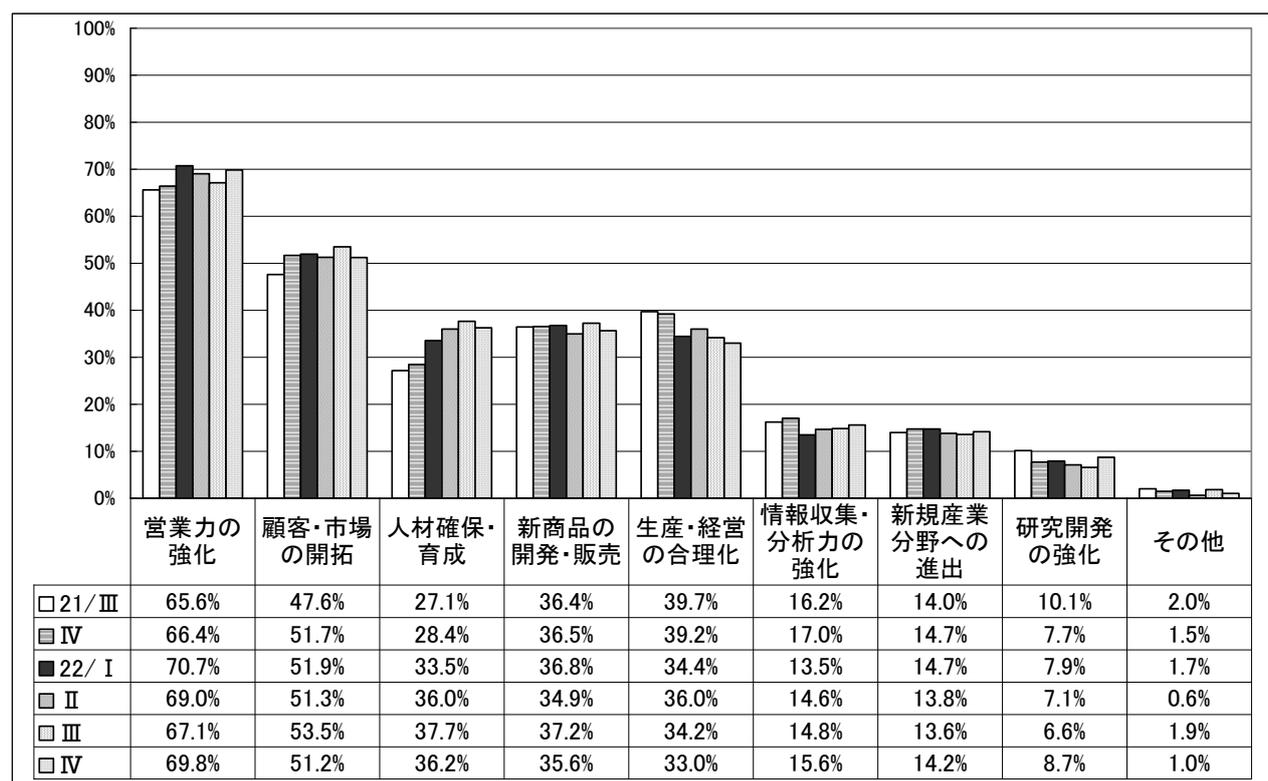
●「営業力の強化」を挙げる企業が69.8%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の69.8%を占め、最も多くなっている。以下、「顧客・市場の開拓」51.2%、「人材確保・育成」36.2%、「新商品の開発・販売」35.6%、「生産・経営の合理化」33.0%の順となっている。

前期と比較すると、回答上位5項目の順位に変動はなかった。上位1位の「営業力の強化」は3期ぶりの増加で、2.7ポイントの増となっており、8位の「研究開発の強化」は2.1ポイントの増となっている。一方、前期増加傾向にあった「顧客・市場の開拓」、「人材確保・育成」、「新商品の開発・販売」については、いずれも減少に転じており、中でも「人材確保・育成」については5期ぶりの減少となっている。5位の「生産・経営の合理化」については、2期連続の減少となった。

業種別に見たところ、印刷、建設では「営業力の強化」との回答がともに8割を超えており（順に90.9%、83.3%）、営業力の向上による拡販戦略がうかがえる。また、化学の「新商品の開発・販売」76.2%、飲食・宿泊の「人材確保・育成」68.0%が他業種に比して高い結果となった。

その他の意見としては、「資産活用」（右京区／染色）、「利益管理」（東山区／卸売）など、資産管理に関わる内容が挙げられていた。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

3. 経営上の不安要素について

- 「売上不振」を挙げる企業が、4期連続減ではあるものの、57.5%で依然トップ。
- 前期との比較で最も増えたのは、3期ぶりに増加に転じた「値下要請」で、前期比3.0ポイント増。

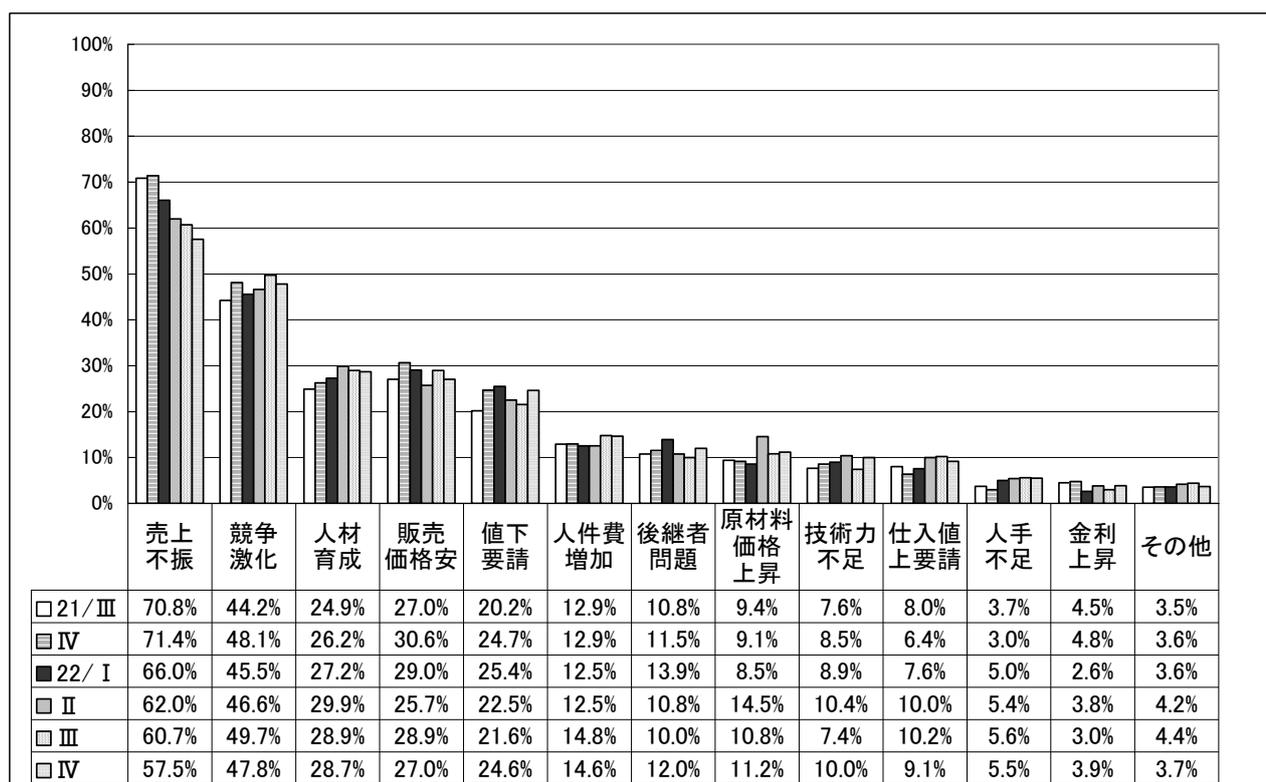
経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が57.5%を占めており、「競争激化」47.8%が続いている。以下、「人材育成」28.7%、「販売価格安」27.0%、「値下要請」24.6%の順となっている。

前期と比較すると、回答数上位5項目の順位には変更がなかった。前期比で最も増加率が高かったのは、5位の「値下要請」で、3.0ポイント増となっており、9位の「技術力不足」、7位の「後継者問題」が続いている。一方、減少率が最も高かったのは、4期連続で減少傾向にある「売上不振」であり、前期比3.2ポイントの減となっている。

業種別に見たところ、西陣や染色、窯業などの地場産業については「売上不振」の割合が高く、「競争激化」は少なくなっており、印刷、金属、機械、サービス、建設に関しては「競争激化」が最も高い結果となった。

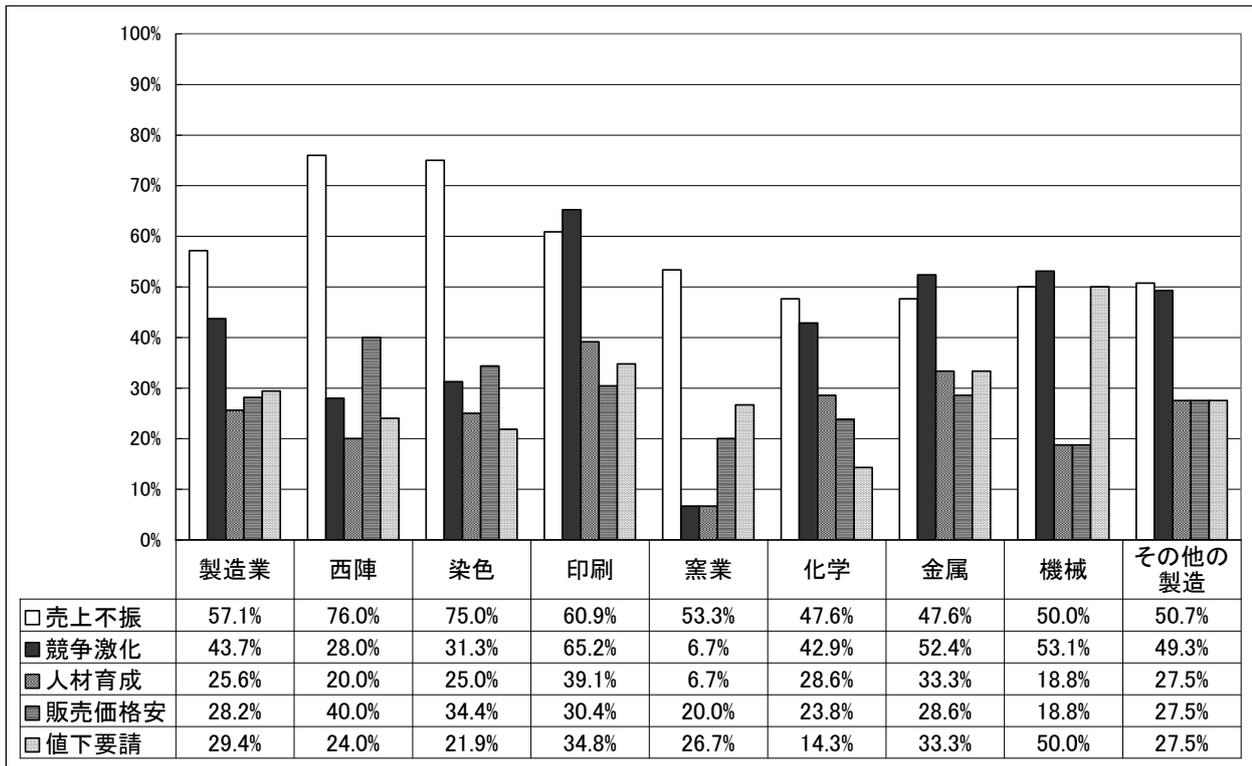
なお、「原材料価格上昇」については、回答のあった40件の内、生糸や紙、インクなどの素材関連が14件で全体の35%を占めており、食品関連が10件、銅や鉄などの金属関連が6件となっていた。

その他の意見としては、回答のあった18件のうち、円高による影響との回答が3件あったほか、染色業界においては、「繊維産業の空洞化」（上京区／染色）、「加工の海外移転」（右京区／染色）による業界不振といった声が挙げられていた。また、「資金繰り」（左京区／建設）、「運転資金」（下京区／建設）や「与信問題多発」（上京区／卸売）、「得意先等からの支払条件の変更により立替払の増加」（伏見区／卸売）など、資金面に苦慮する意見が挙げられていた。

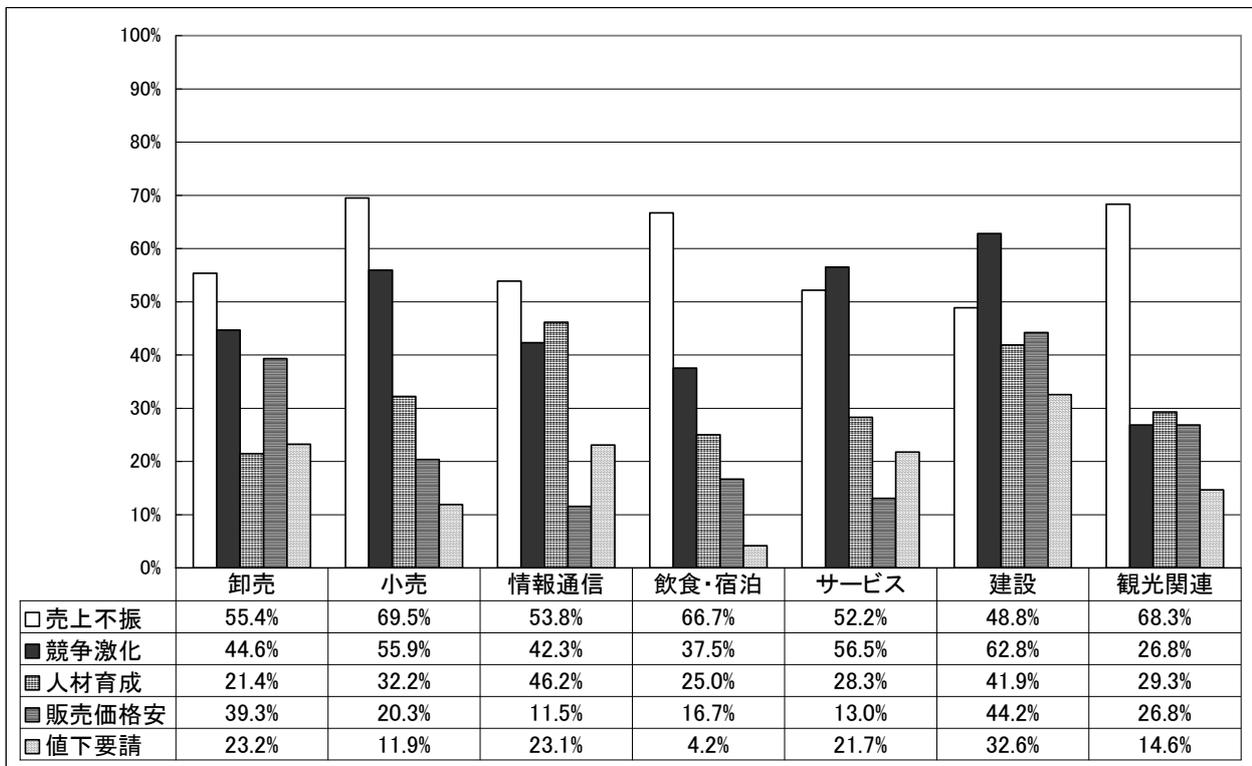


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

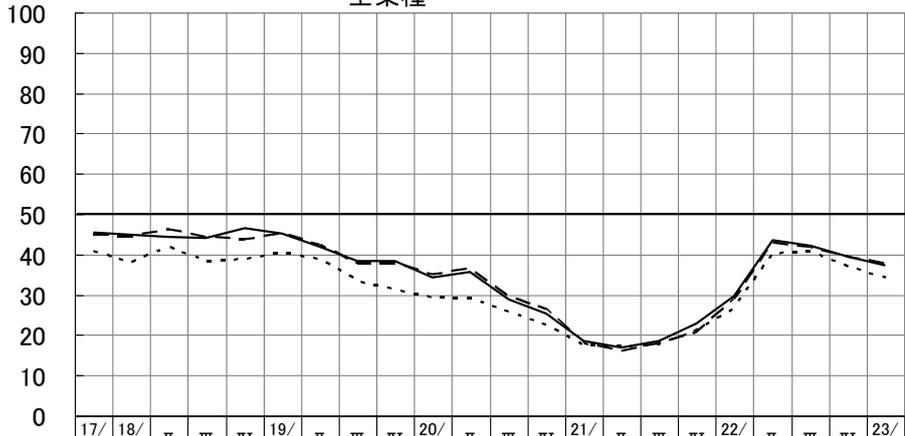


・経営上の不安要素・非製造業主要回答



参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

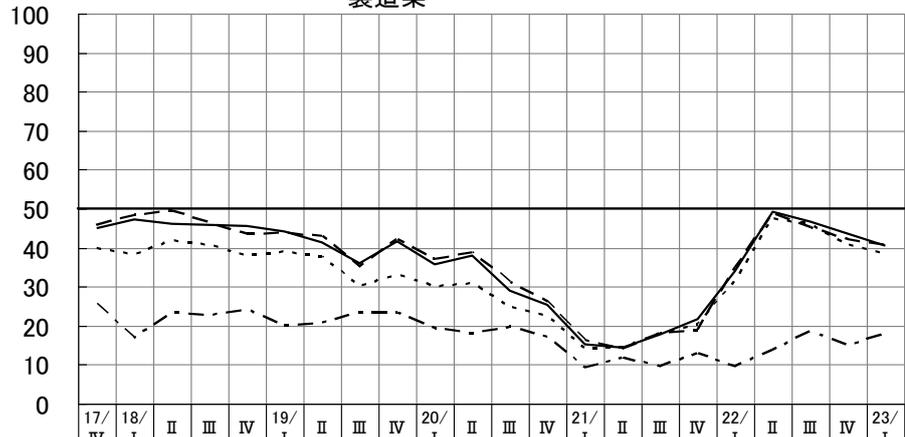
全業種



	17/IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I
— 企業景気	45.3	44.9	44.4	43.9	46.4	45.1	41.7	38.4	38.2	34.2	35.5	28.9	25.2	18.4	16.9	18.6	22.9	29.6	43.4	42.1	39.4	37.3
- - 生産加工量・販売量	44.9	44.7	46.2	44.2	43.8	45.2	42.4	37.9	37.7	35.0	36.4	29.7	26.3	17.9	16.1	17.9	20.6	28.9	42.8	41.9	39.5	37.7
· · · 経常利益	40.8	38.0	41.7	38.2	38.8	40.6	38.8	33.5	31.2	29.4	29.0	25.8	22.6	17.4	17.2	17.7	21.3	26.5	40.1	40.7	37.0	34.3

(見通し)

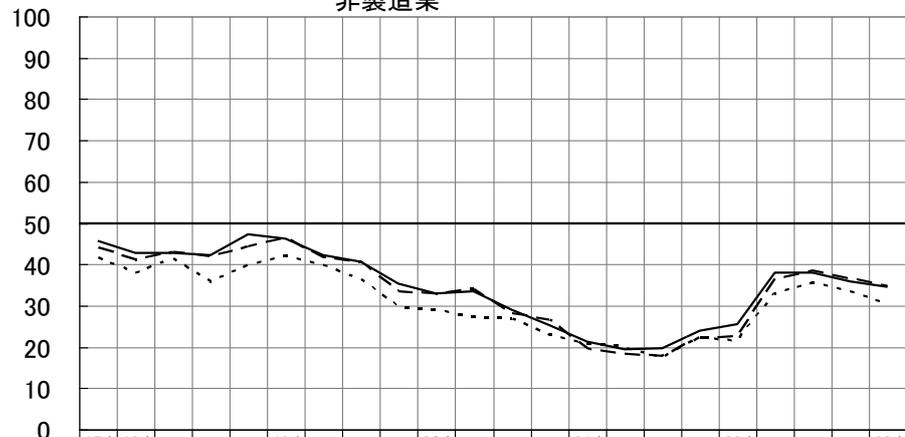
製造業



	17/IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I
— 企業景気	44.9	47.2	46.0	45.7	45.5	44.0	41.2	35.9	41.5	35.8	38.0	29.0	25.2	15.3	14.2	17.7	21.6	33.9	49.2	46.7	43.4	40.5
- - 生産加工量・販売量	45.7	48.3	49.4	46.3	43.4	43.9	43.0	35.1	42.1	37.0	38.8	31.3	26.1	16.3	14.0	17.9	18.9	34.8	49.0	45.2	42.2	40.6
· · · 経常利益	39.9	38.1	42.0	40.7	37.9	39.2	37.7	30.1	33.1	30.0	30.8	24.8	22.5	14.0	14.3	18.1	20.3	31.6	47.4	46.2	40.7	38.5
- · 設備投資	25.5	17.0	23.3	22.8	24.2	19.9	20.9	23.4	23.2	19.3	18.1	19.6	17.1	9.3	11.8	9.6	12.9	9.6	13.7	18.4	14.9	18.0

(見通し)

非製造業

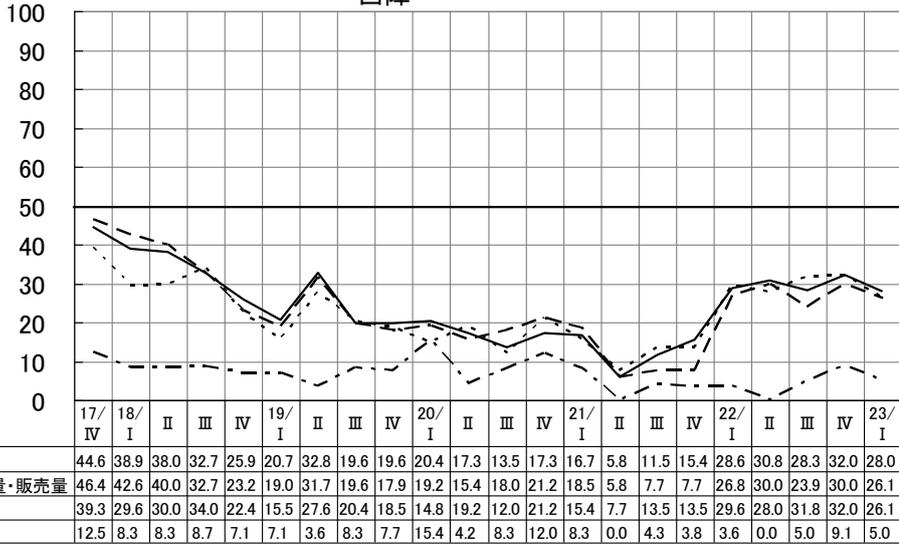


	17/IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I
— 企業景気	45.6	42.8	42.8	42.3	47.2	46.1	42.3	40.7	35.4	32.8	33.3	28.8	25.1	21.1	19.3	19.6	24.0	25.4	37.8	37.9	35.8	34.5
- - 生産加工量・販売量	44.0	41.2	42.9	42.0	44.3	46.5	41.8	40.7	33.5	32.9	34.0	28.0	26.5	19.5	18.3	17.9	22.2	22.5	36.3	38.5	36.6	34.7
· · · 経常利益	41.7	37.9	41.5	35.9	39.7	41.9	39.8	36.5	29.7	28.9	27.3	26.7	22.7	20.7	19.8	17.4	22.3	21.5	33.0	35.6	33.4	30.4

(見通し)

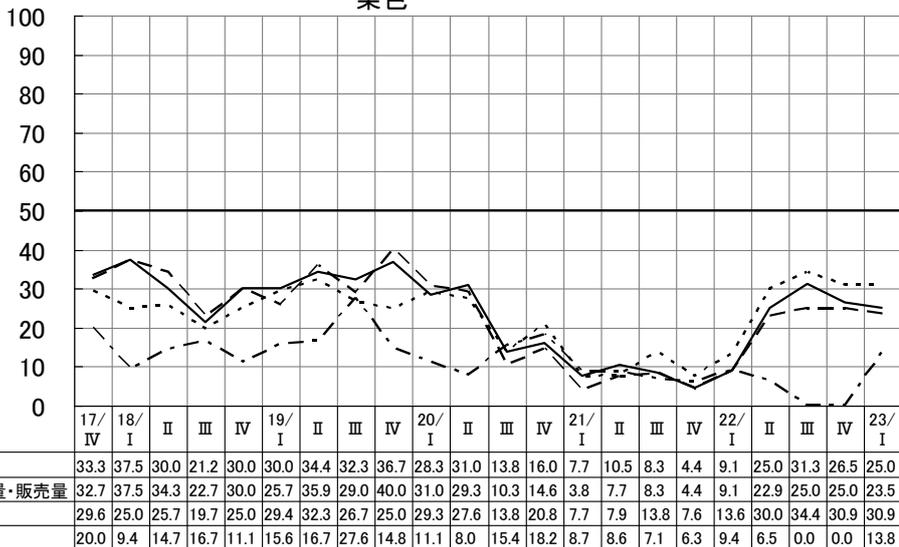
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



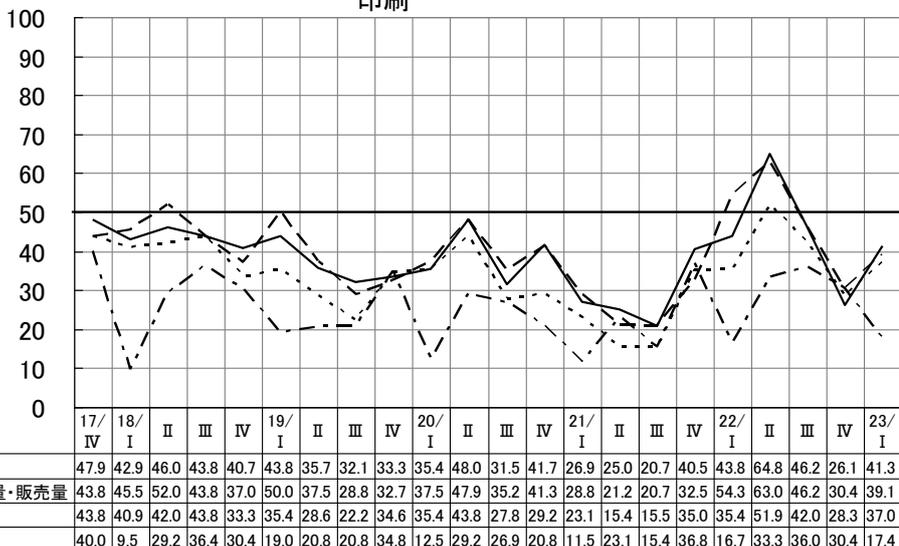
(見通し)

染色



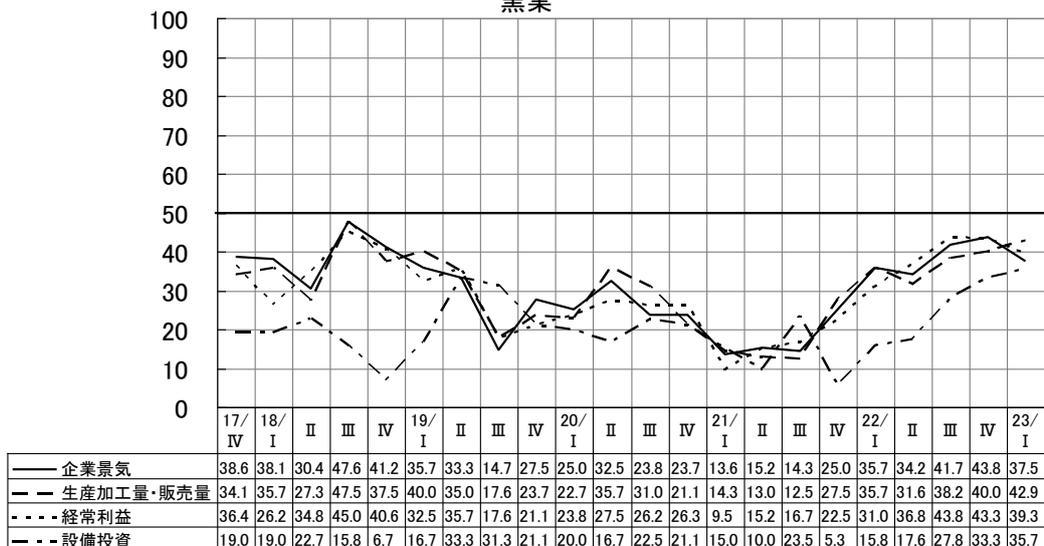
(見通し)

印刷



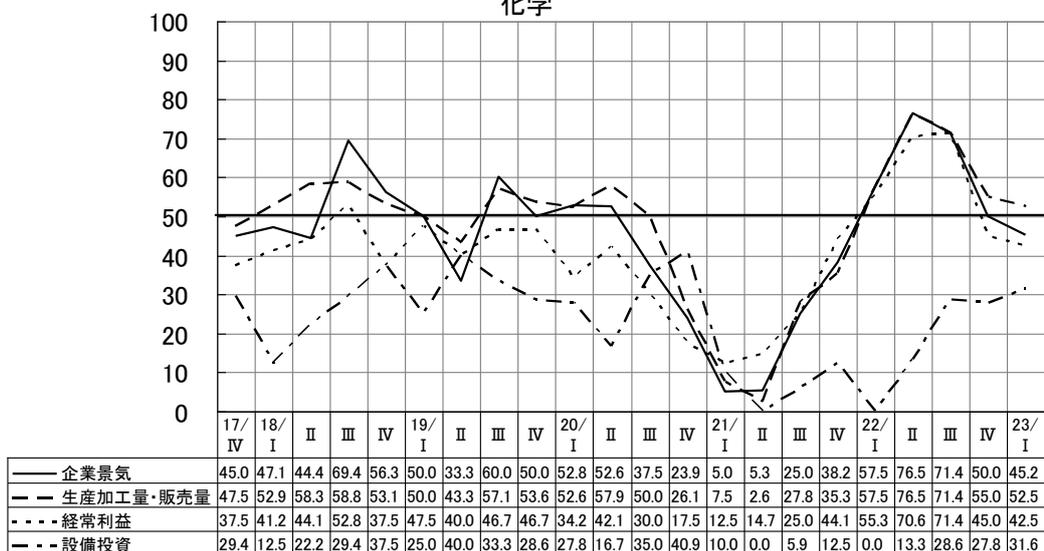
(見通し)

窯業



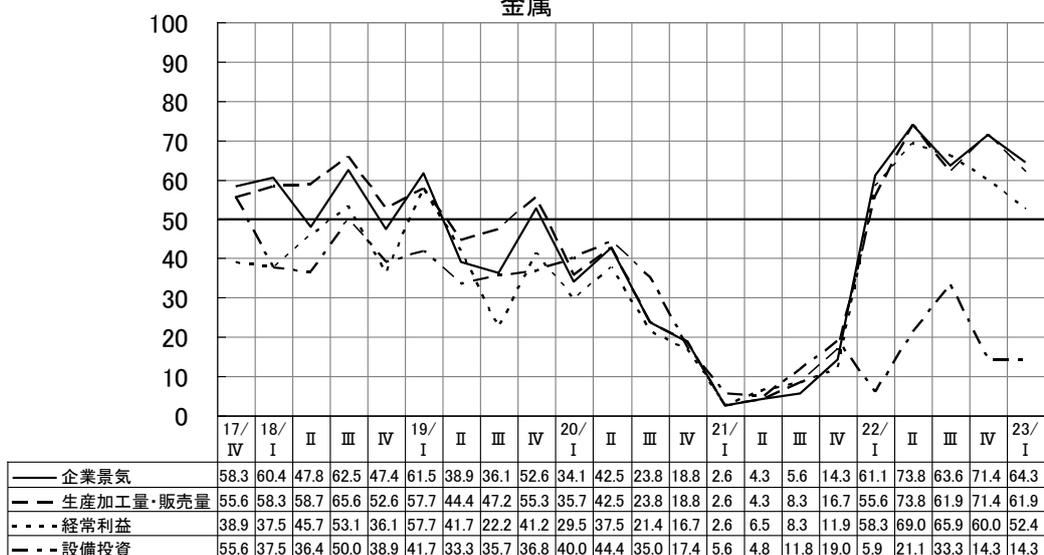
(見通し)

化学



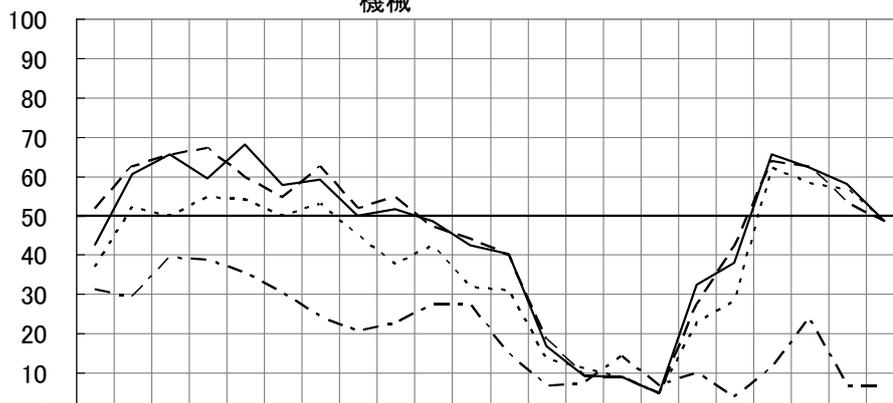
(見通し)

金属



(見通し)

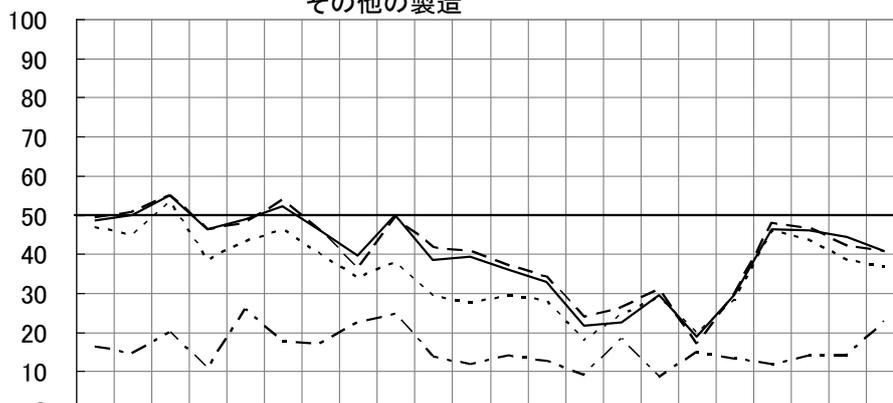
機械



	17/IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I
— 企業景気	42.4	60.4	65.5	59.4	68.1	57.6	59.1	50.0	51.6	48.5	42.4	40.0	16.7	9.3	8.9	4.7	32.3	38.0	65.5	62.0	57.8	48.4
- - 生産加工量・販売量	51.5	62.5	65.5	67.2	59.7	54.7	62.5	51.7	54.7	47.1	43.9	39.7	18.3	9.3	8.9	4.7	27.4	42.0	63.8	62.5	53.2	48.4
- - - 経常利益	36.8	52.1	50.0	54.7	54.2	50.0	53.0	44.8	37.5	42.4	31.8	31.0	13.3	11.1	8.9	4.7	22.6	28.0	62.1	58.3	56.5	48.4
- . - 設備投資	31.3	29.2	39.3	38.7	35.3	30.3	24.2	20.7	22.6	27.3	27.3	14.8	6.7	7.4	14.3	6.7	10.0	4.0	11.1	24.0	6.7	6.7

(見通し)

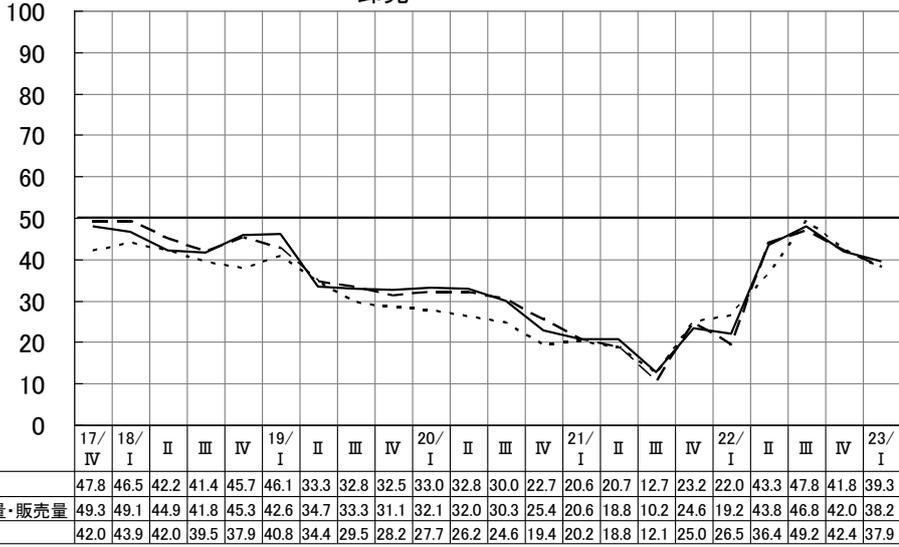
その他の製造



	17/IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I
— 企業景気	48.5	50.0	55.0	46.2	48.6	52.2	45.9	39.4	50.0	38.4	39.3	35.9	32.8	21.6	22.5	29.5	18.9	29.4	46.1	45.8	44.2	40.6
- - 生産加工量・販売量	49.2	50.7	55.0	46.1	47.9	53.8	45.9	36.0	49.3	41.7	40.7	37.0	34.3	23.8	26.4	30.8	16.7	29.7	48.0	46.4	42.0	40.6
- - - 経常利益	46.9	44.9	53.3	38.3	43.1	46.3	39.7	33.8	37.7	29.2	27.5	29.3	28.0	17.7	24.3	28.8	19.7	28.1	45.9	43.4	38.4	36.8
- . - 設備投資	16.4	14.5	20.0	10.5	25.8	17.7	17.2	22.4	24.6	13.8	11.9	14.1	12.7	9.0	18.2	8.5	14.8	13.2	11.9	14.1	14.1	22.7

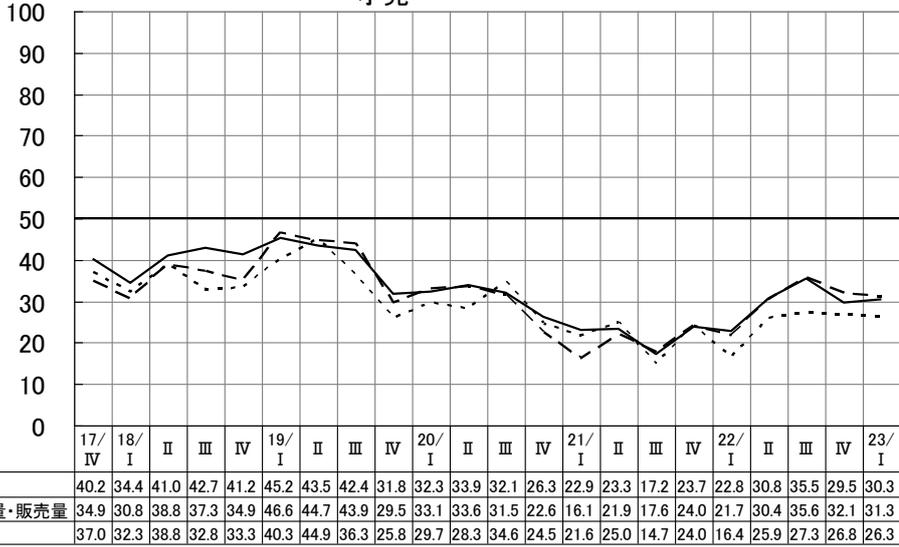
(見通し)

卸売



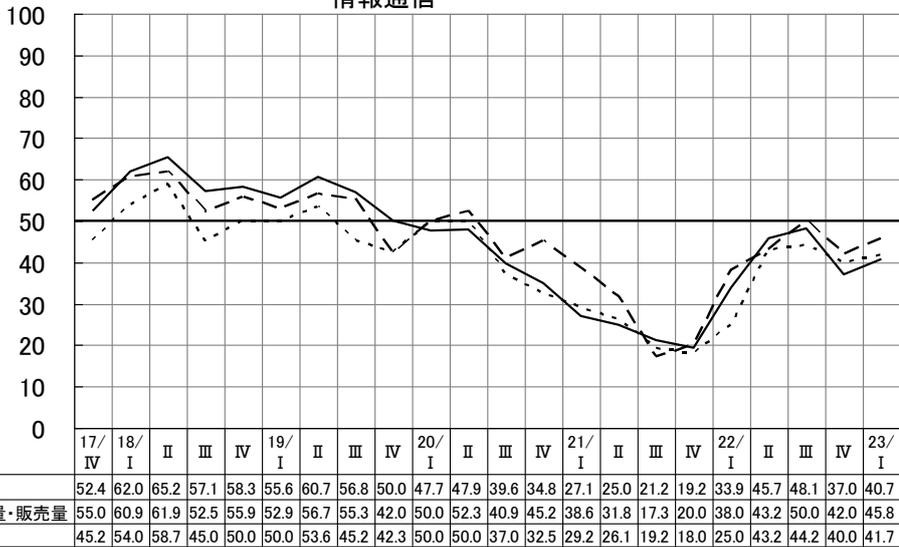
(見通し)

小売



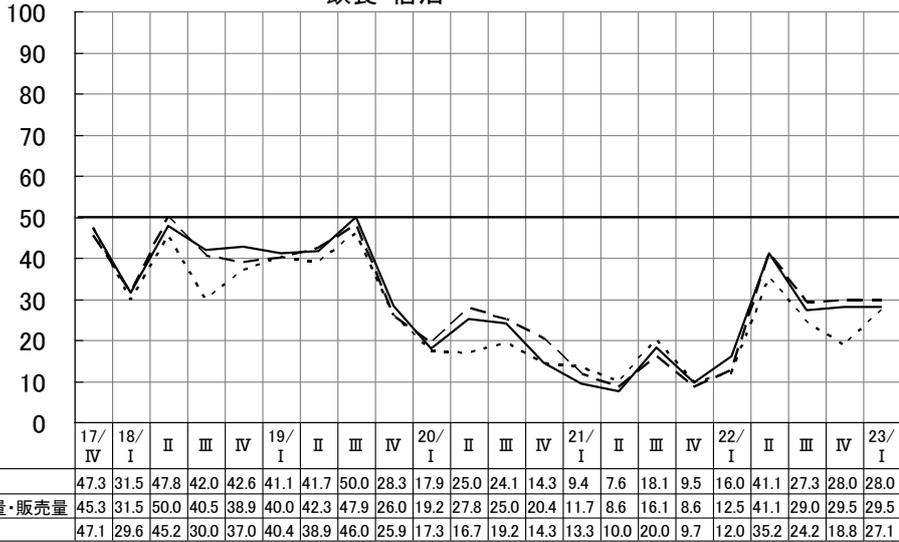
(見通し)

情報通信



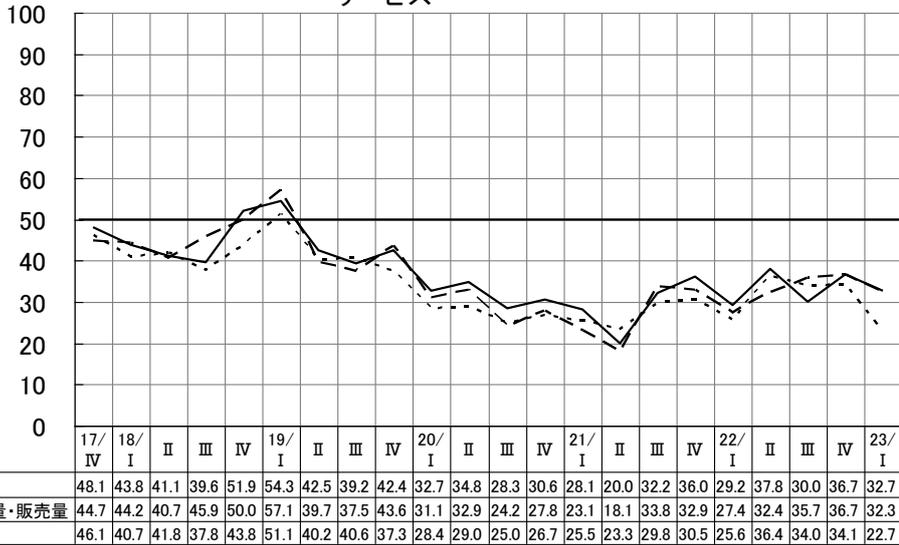
(見通し)

飲食・宿泊



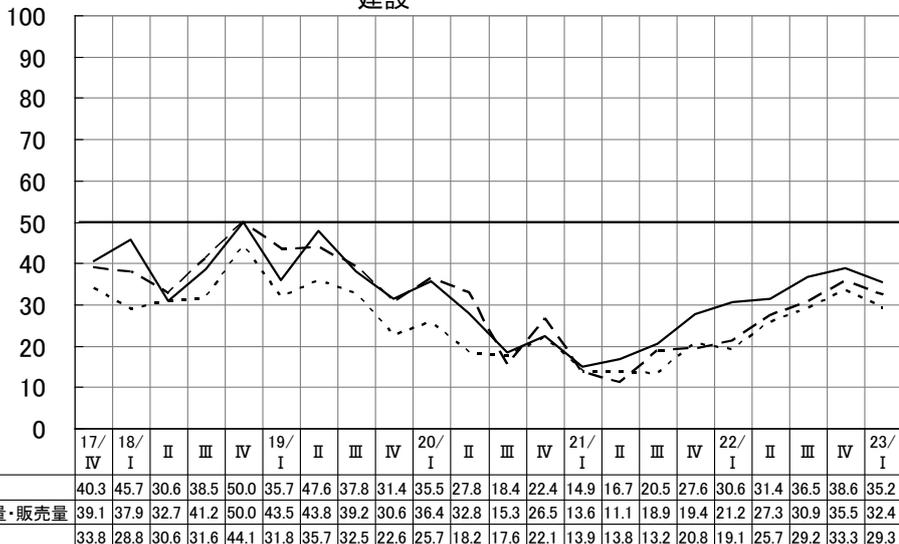
(見通し)

サービス



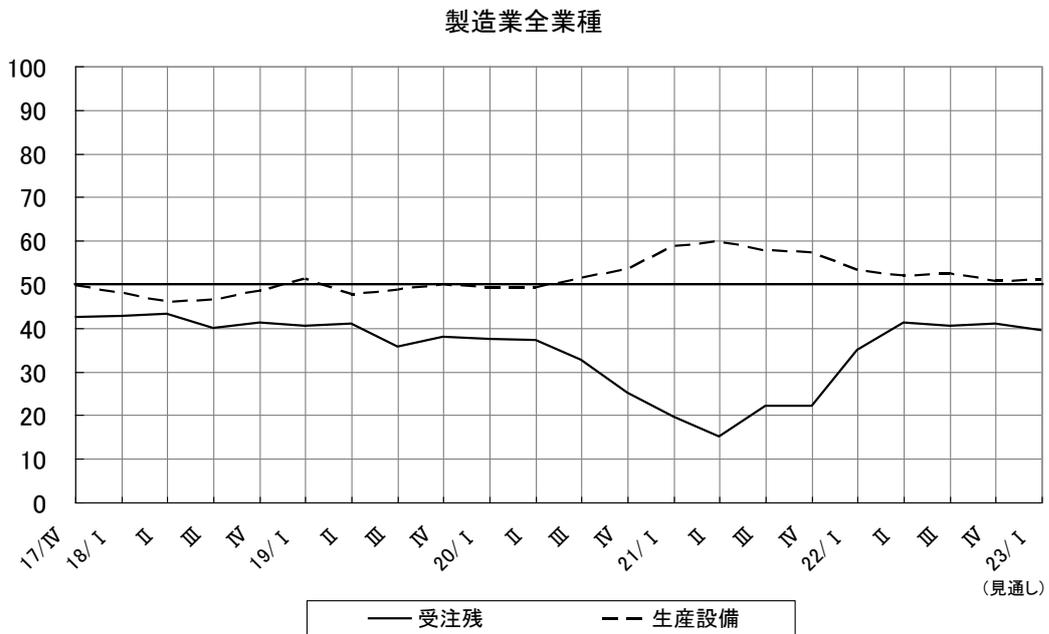
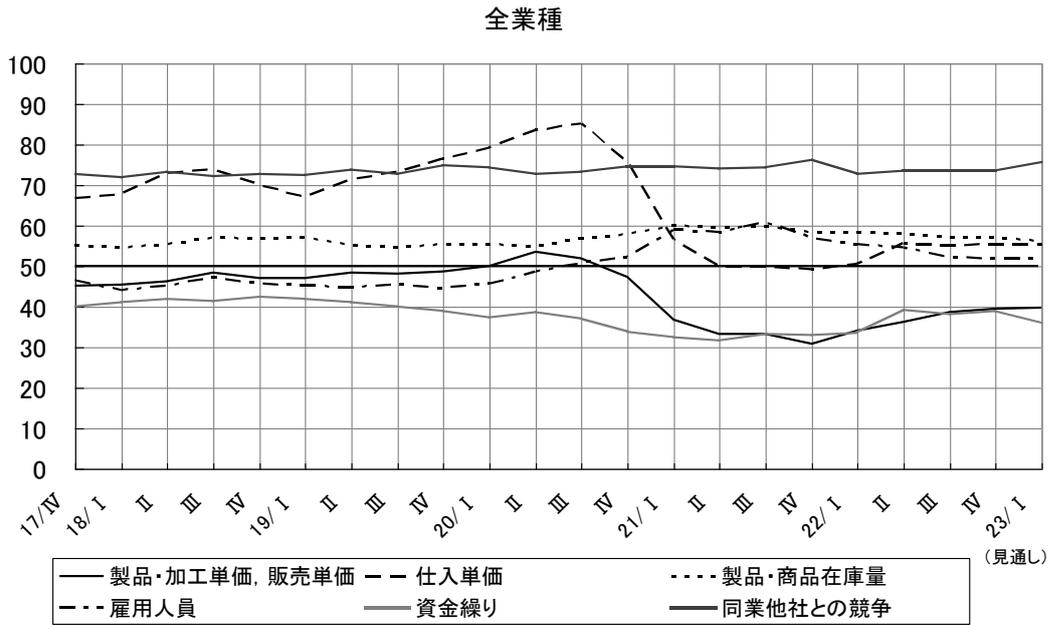
(見通し)

建設

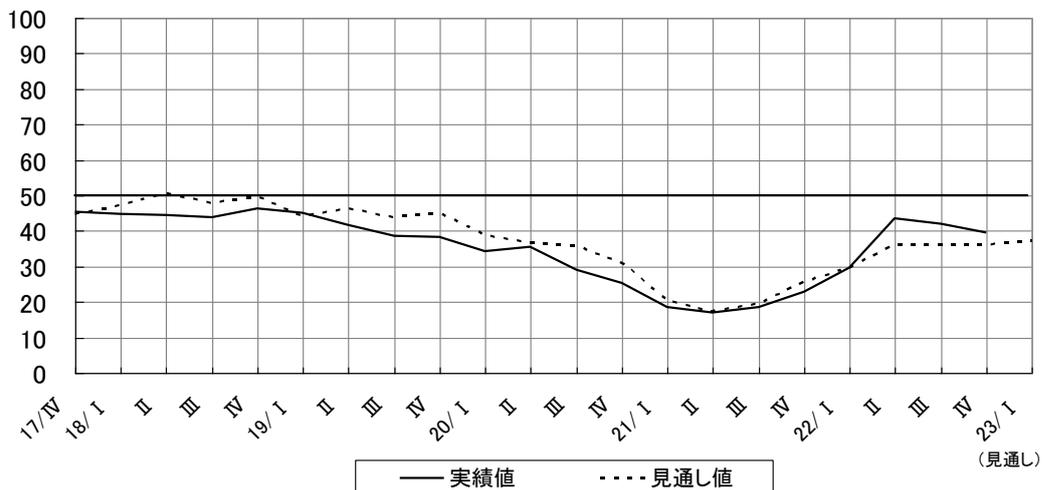


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について	17
企業景気.....	17
生産加工量・販売量.....	19
経常利益.....	21
製品・加工単価, 販売単価.....	23
仕入単価.....	25
製品・商品在庫量.....	27
雇用人員.....	29
資金繰り.....	31
同業他社との競争.....	33
受注残.....	35
生産設備.....	36
設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について	38
(3) 経営上の不安要素について.....	47
参考：分野ごとの調査票回収状況	57

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

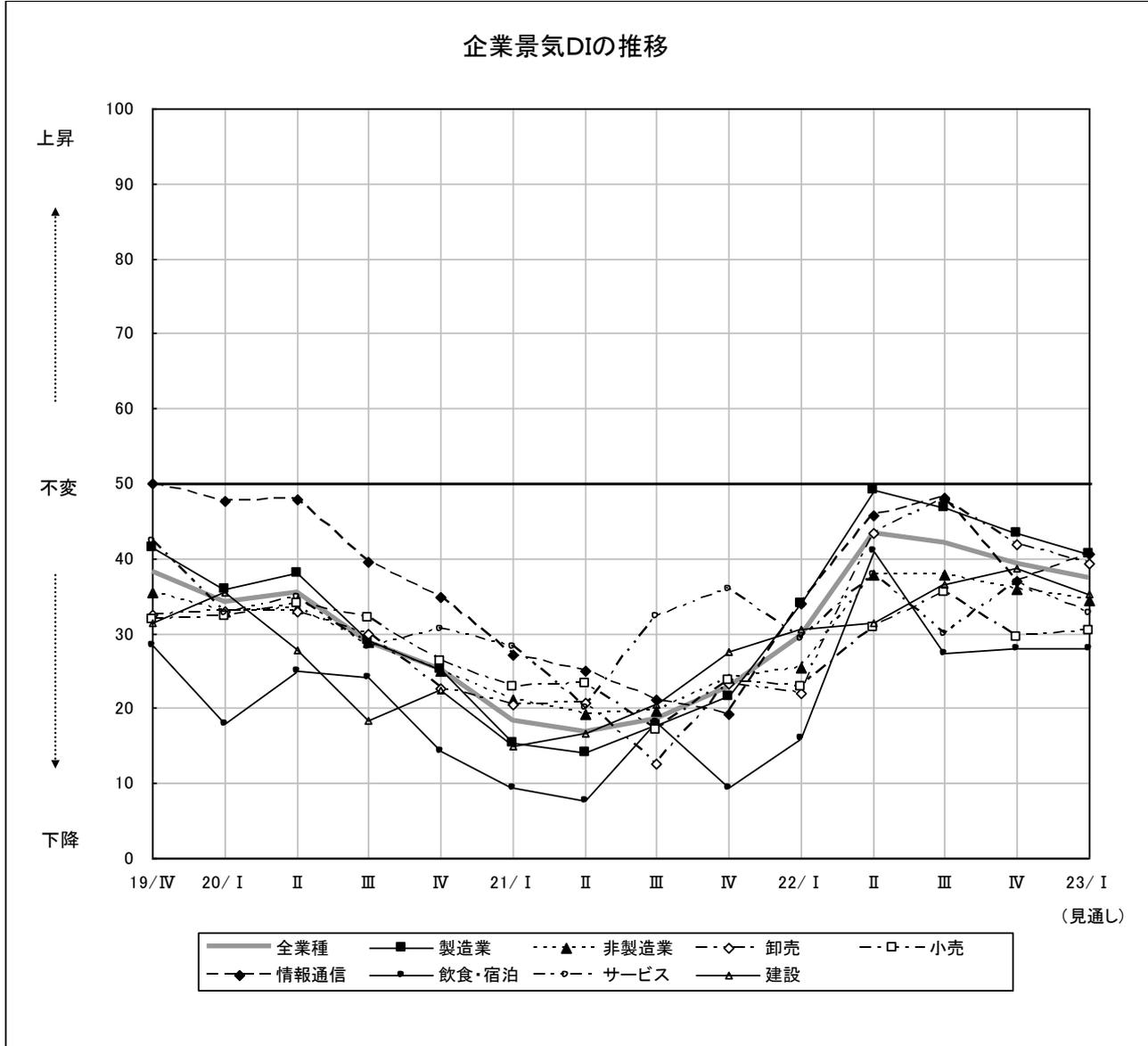


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

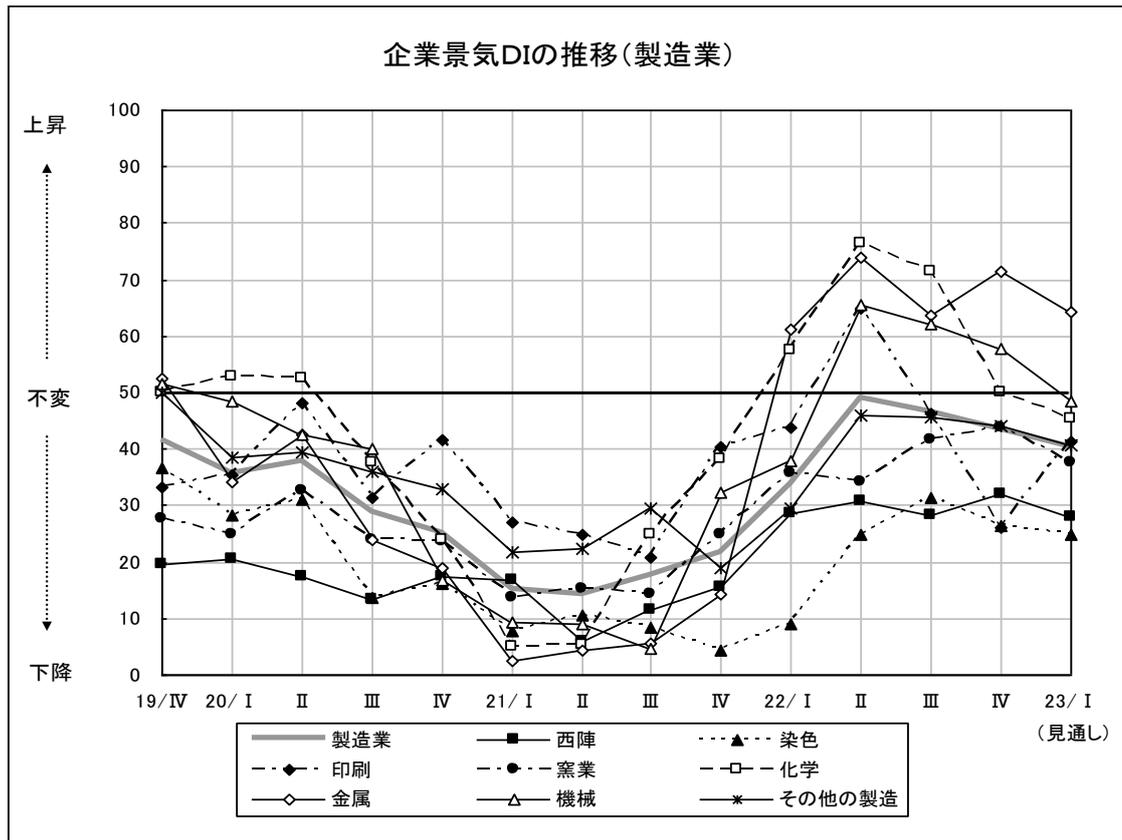


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	42.1	39.4	▼ 2.7	37.3	▼ 2.1
製造業	46.7	43.4	▼ 3.3	40.5	▼ 2.9
西陣	28.3	32.0	3.7	28.0	▼ 4.0
染色	31.3	26.5	▼ 4.8	25.0	▼ 1.5
印刷	46.2	26.1	▼ 20.1	41.3	15.2
窯業	41.7	43.8	2.1	37.5	▼ 6.3
化学	71.4	50.0	▼ 21.4	45.2	▼ 4.8
金属	63.6	71.4	7.8	64.3	▼ 7.1
機械	62.0	57.8	▼ 4.2	48.4	▼ 9.4
その他の製造	45.8	44.2	▼ 1.6	40.6	▼ 3.6
非製造業	37.9	35.8	▼ 2.1	34.5	▼ 1.3
卸売	47.8	41.8	▼ 6.0	39.3	▼ 2.5
小売	35.5	29.5	▼ 6.0	30.3	0.8
情報通信	48.1	37.0	▼ 11.1	40.7	3.7
飲食・宿泊	27.3	28.0	0.7	28.0	0.0
サービス	30.0	36.7	6.7	32.7	▼ 4.0
建設	36.5	38.6	2.1	35.2	▼ 3.4
観光関連	34.8	22.0	▼ 12.8	25.6	3.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

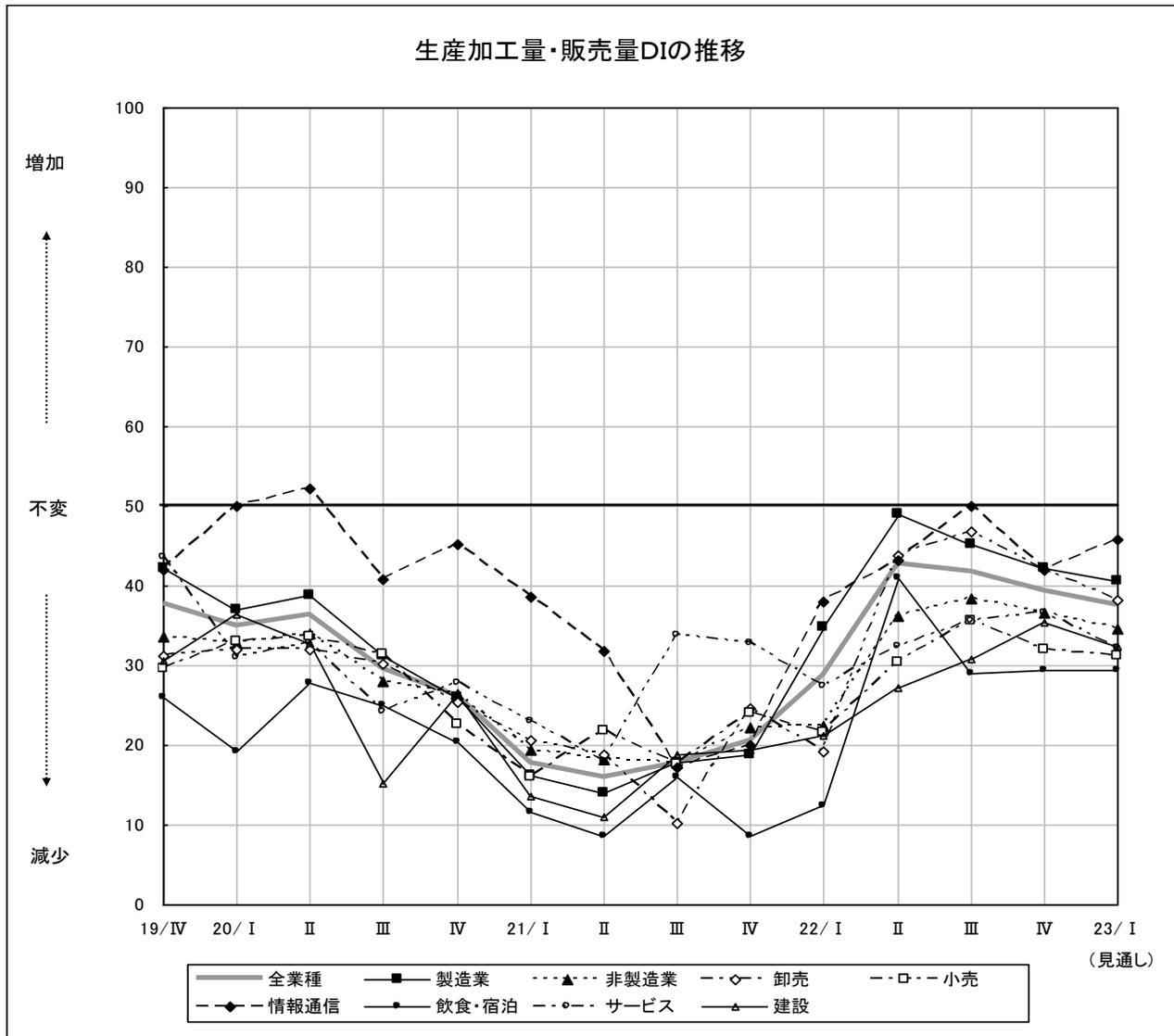


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

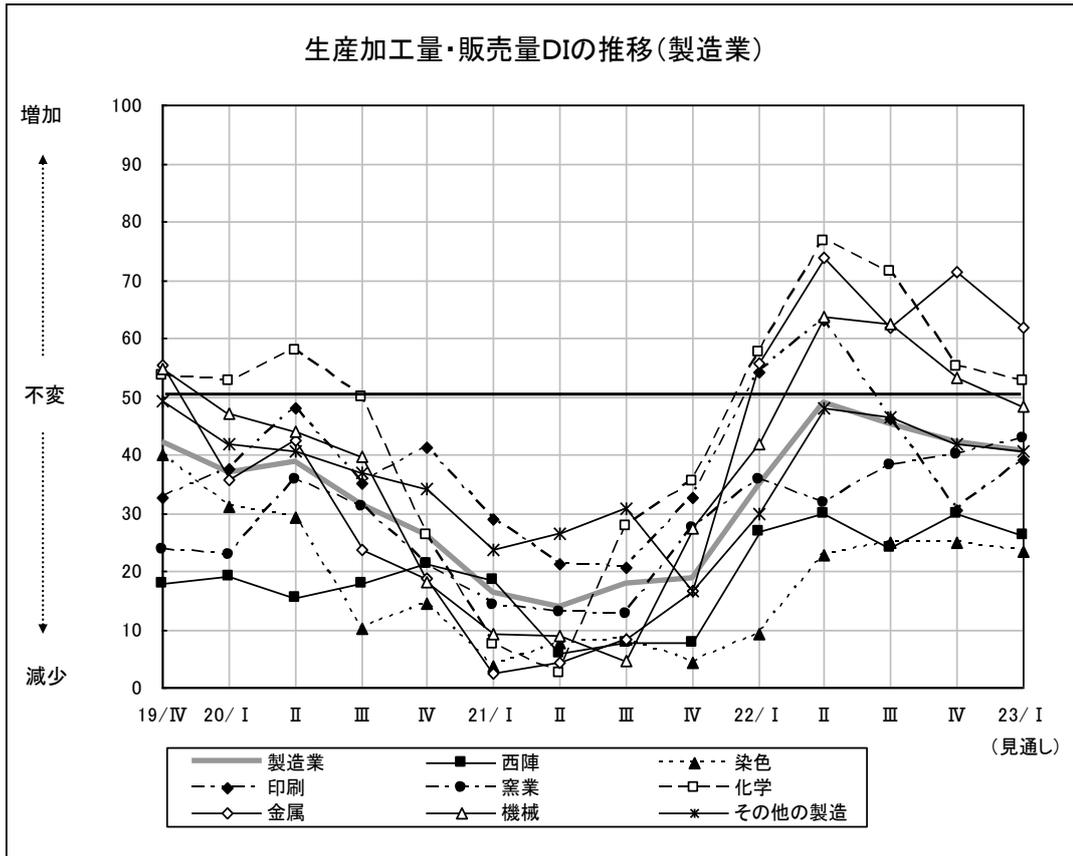


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	41.9	39.5	▼ 2.4	37.7	▼ 1.8
製造業	45.2	42.2	▼ 3.0	40.6	▼ 1.6
西陣	23.9	30.0	6.1	26.1	▼ 3.9
染色	25.0	25.0	0.0	23.5	▼ 1.5
印刷	46.2	30.4	▼ 15.8	39.1	8.7
窯業	38.2	40.0	1.8	42.9	2.9
化学	71.4	55.0	▼ 16.4	52.5	▼ 2.5
金属	61.9	71.4	9.5	61.9	▼ 9.5
機械	62.5	53.2	▼ 9.3	48.4	▼ 4.8
その他の製造	46.4	42.0	▼ 4.4	40.6	▼ 1.4
非製造業	38.5	36.6	▼ 1.9	34.7	▼ 1.9
卸売	46.8	42.0	▼ 4.8	38.2	▼ 3.8
小売	35.6	32.1	▼ 3.5	31.3	▼ 0.8
情報通信	50.0	42.0	▼ 8.0	45.8	3.8
飲食・宿泊	29.0	29.5	0.5	29.5	0.0
サービス	35.7	36.7	1.0	32.3	▼ 4.4
建設	30.9	35.5	4.6	32.4	▼ 3.1
観光関連	34.5	20.8	▼ 13.7	27.8	7.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

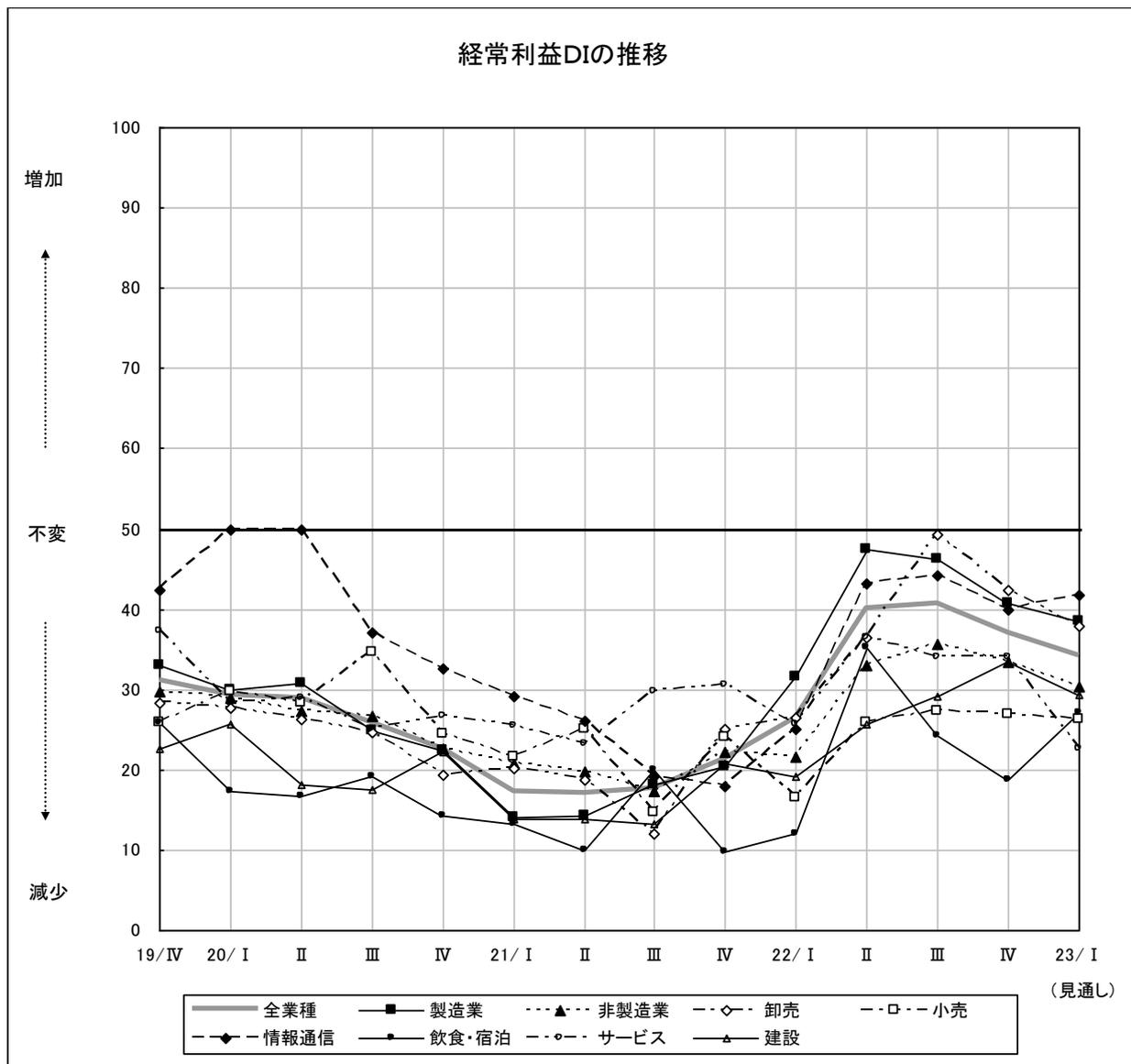


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

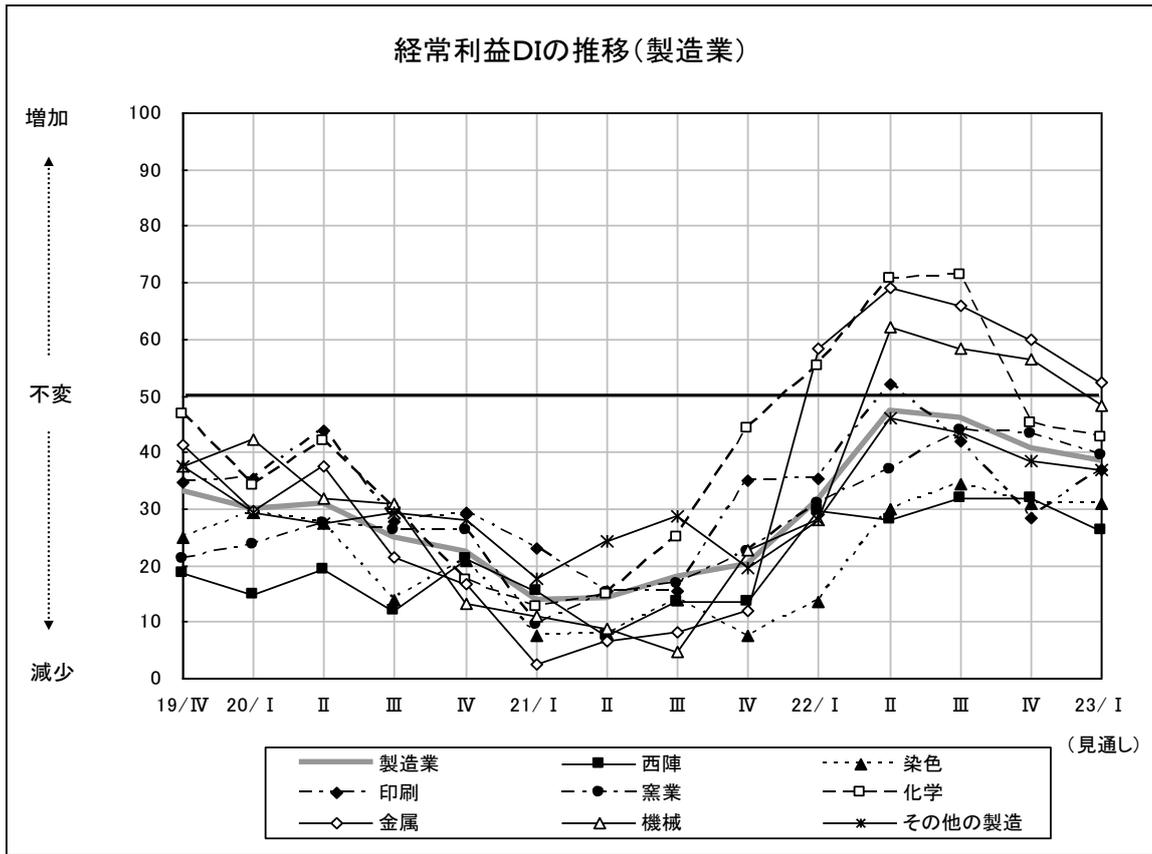


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	40.7	37.0	▼ 3.7	34.3	▼ 2.7
製造業	46.2	40.7	▼ 5.5	38.5	▼ 2.2
西陣	31.8	32.0	0.2	26.1	▼ 5.9
染色	34.4	30.9	▼ 3.5	30.9	0.0
印刷	42.0	28.3	▼ 13.7	37.0	8.7
窯業	43.8	43.3	▼ 0.5	39.3	▼ 4.0
化学	71.4	45.0	▼ 26.4	42.5	▼ 2.5
金属	65.9	60.0	▼ 5.9	52.4	▼ 7.6
機械	58.3	56.5	▼ 1.8	48.4	▼ 8.1
その他の製造	43.4	38.4	▼ 5.0	36.8	▼ 1.6
非製造業	35.6	33.4	▼ 2.2	30.4	▼ 3.0
卸売	49.2	42.4	▼ 6.8	37.9	▼ 4.5
小売	27.3	26.8	▼ 0.5	26.3	▼ 0.5
情報通信	44.2	40.0	▼ 4.2	41.7	1.7
飲食・宿泊	24.2	18.8	▼ 5.4	27.1	8.3
サービス	34.0	34.1	0.1	22.7	▼ 11.4
建設	29.2	33.3	4.1	29.3	▼ 4.0
観光関連	33.0	23.8	▼ 9.2	25.6	1.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

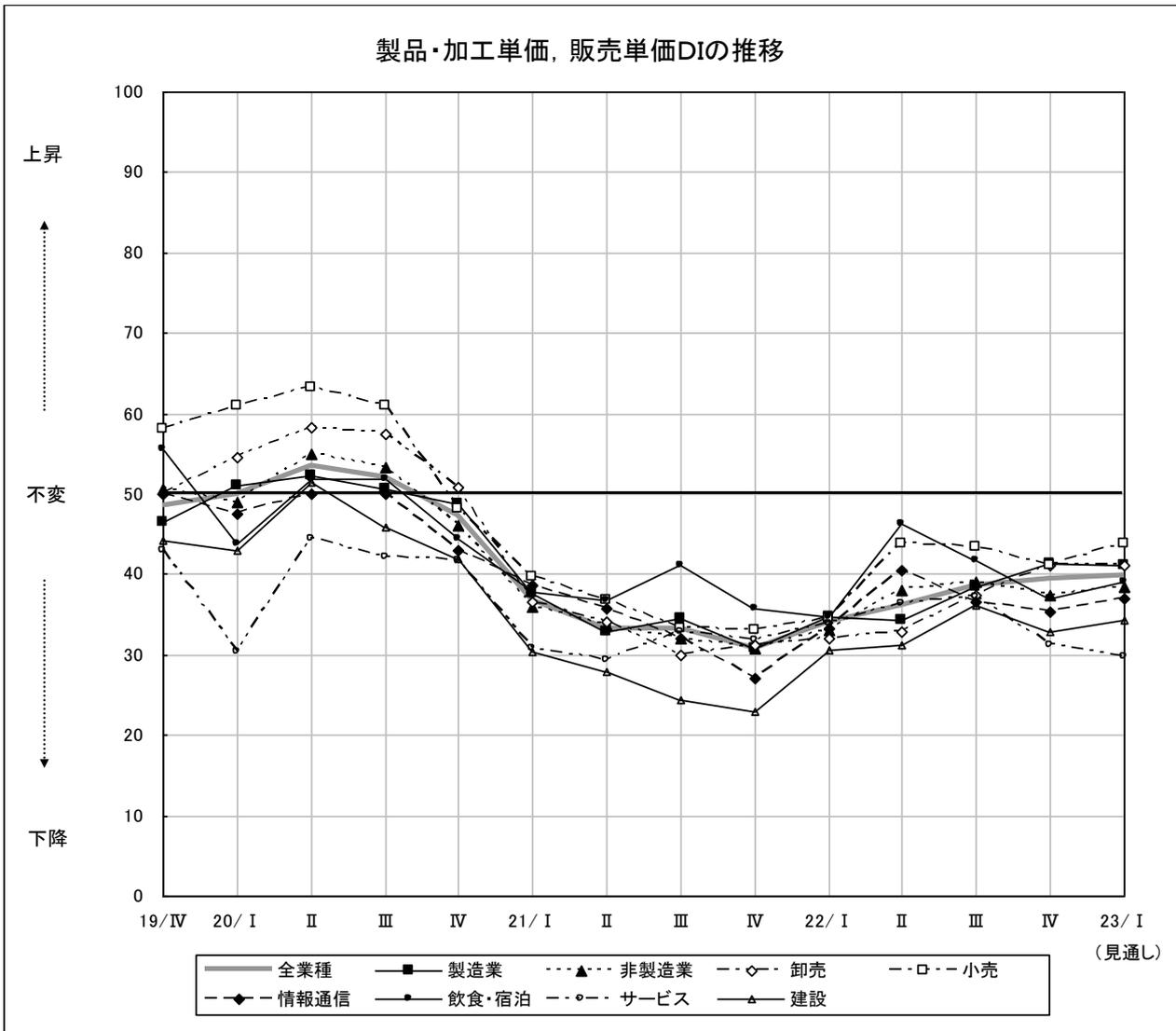


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

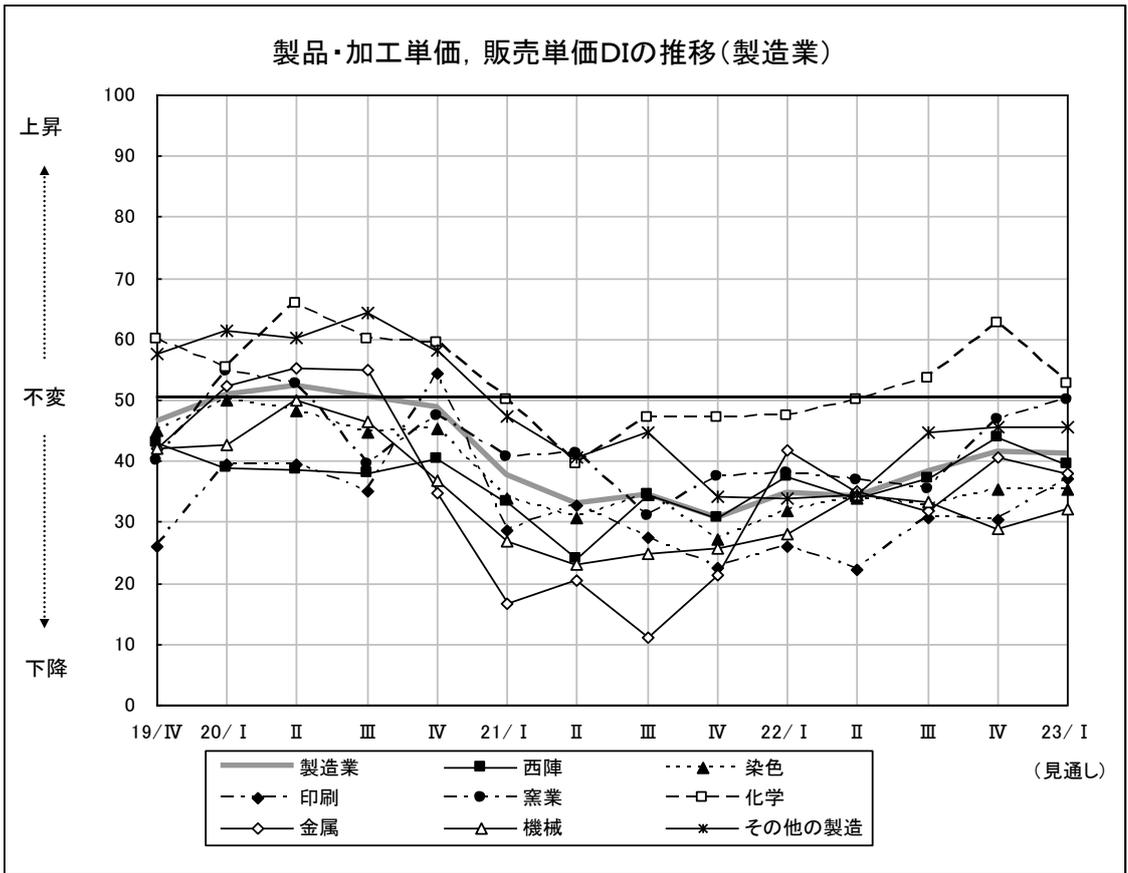


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	38.7	39.4	0.7	39.8	0.4
製造業	38.4	41.4	3.0	41.1	▼ 0.3
西陣	37.0	44.0	7.0	39.6	▼ 4.4
染色	32.8	35.3	2.5	35.3	0.0
印刷	30.8	30.4	▼ 0.4	37.0	6.6
窯業	35.3	46.7	11.4	50.0	3.3
化学	53.6	62.5	8.9	52.5	▼ 10.0
金属	31.8	40.5	8.7	38.1	▼ 2.4
機械	33.3	29.0	▼ 4.3	32.3	3.3
その他の製造	44.6	45.6	1.0	45.7	0.1
非製造業	39.0	37.4	▼ 1.6	38.4	1.0
卸売	37.5	41.2	3.7	41.1	▼ 0.1
小売	43.4	41.2	▼ 2.2	43.8	2.6
情報通信	36.5	35.4	▼ 1.1	37.0	1.6
飲食・宿泊	41.7	37.0	▼ 4.7	39.1	2.1
サービス	37.1	31.3	▼ 5.8	29.7	▼ 1.6
建設	36.1	32.9	▼ 3.2	34.2	1.3
観光関連	45.0	36.8	▼ 8.2	38.9	2.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

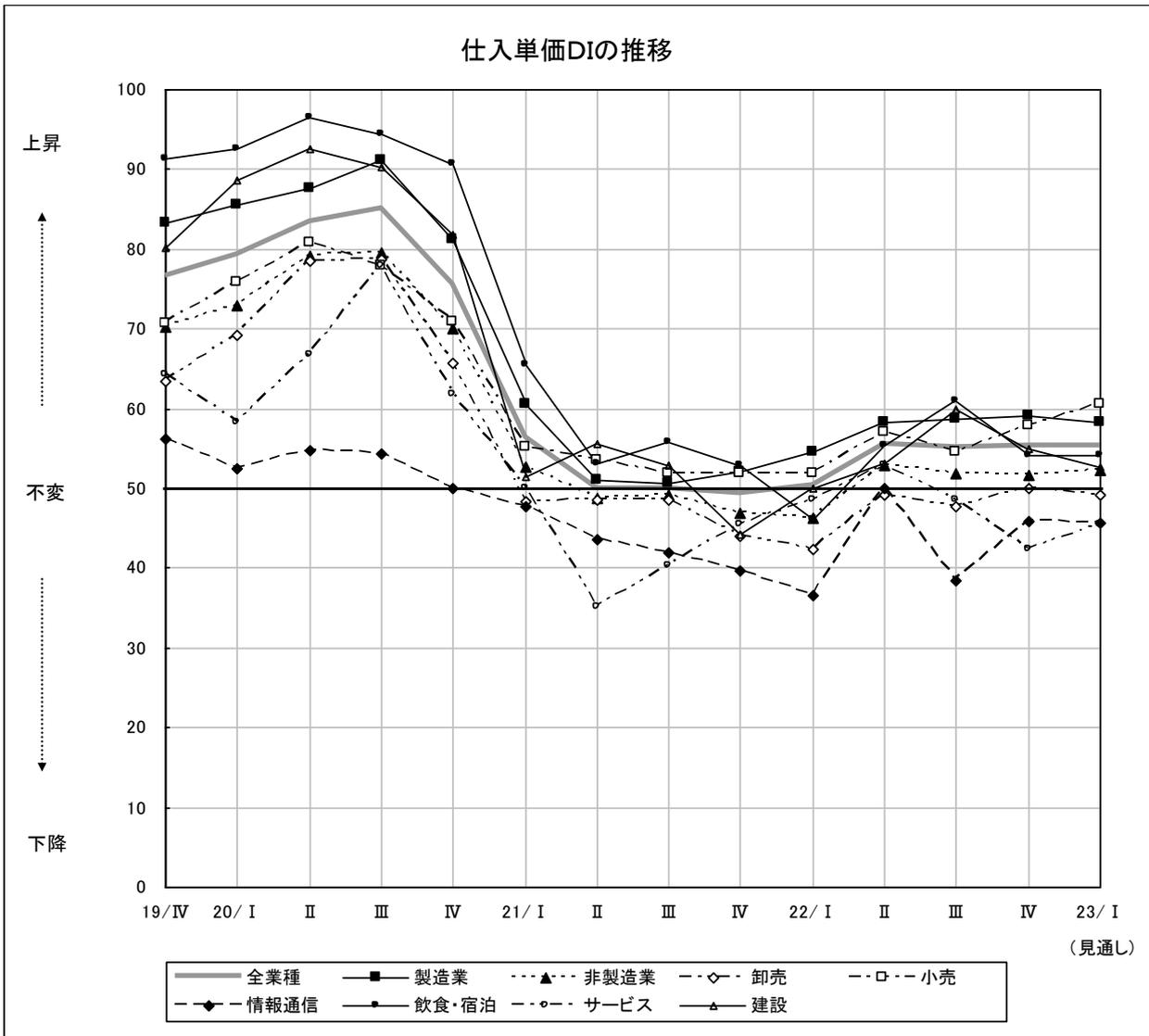


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

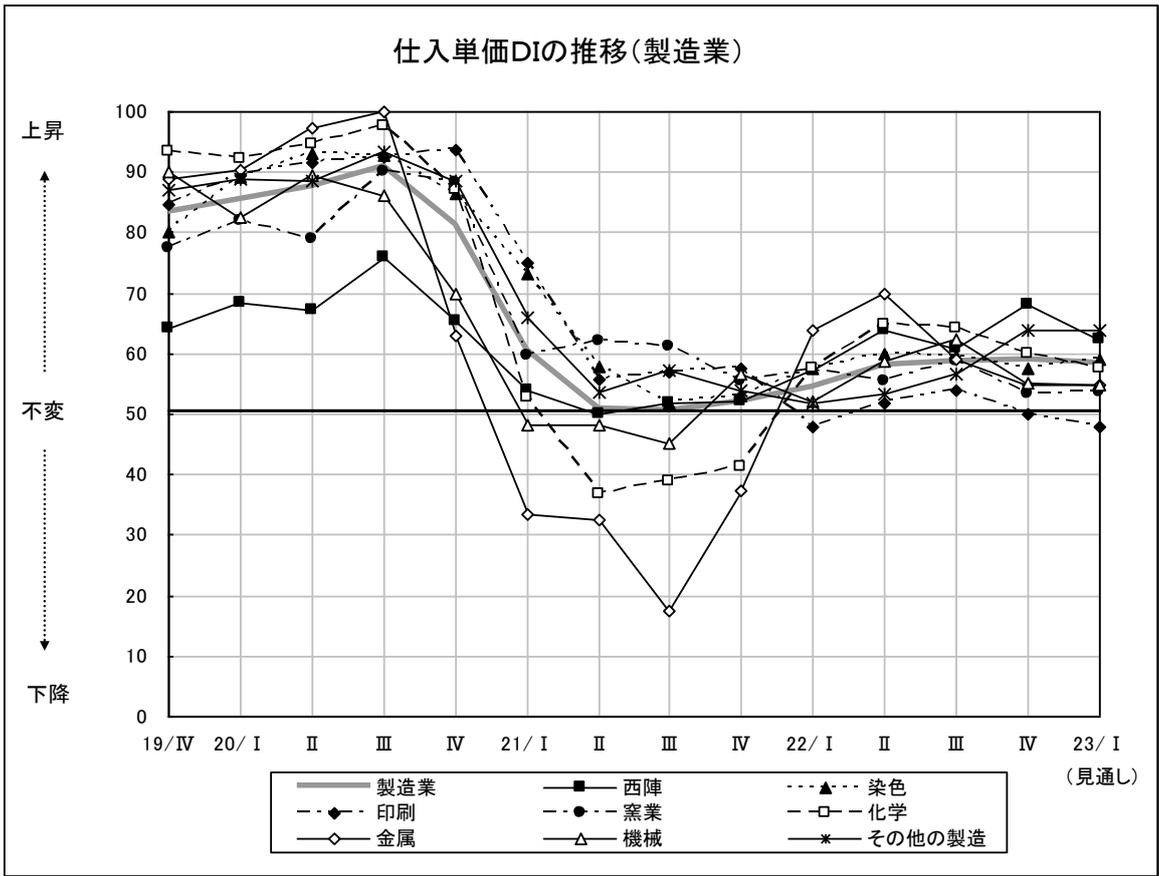


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.2	55.4	0.2	55.3	▼ 0.1
製造業	58.6	59.1	0.5	58.3	▼ 0.8
西陣	60.9	68.0	7.1	62.5	▼ 5.5
染色	59.7	57.6	▼ 2.1	59.1	1.5
印刷	53.8	50.0	▼ 3.8	47.8	▼ 2.2
紙業	58.8	53.3	▼ 5.5	53.6	0.3
化学	64.3	60.0	▼ 4.3	57.5	▼ 2.5
金属	59.1	54.8	▼ 4.3	54.8	0.0
機械	62.5	55.0	▼ 7.5	54.8	▼ 0.2
その他の製造	56.7	64.0	7.3	63.8	▼ 0.2
非製造業	51.8	51.7	▼ 0.1	52.2	0.5
卸売	47.7	50.0	2.3	49.1	▼ 0.9
小売	54.5	57.8	3.3	60.5	2.7
情報通信	38.5	45.8	7.3	45.7	▼ 0.1
飲食・宿泊	60.9	54.2	▼ 6.7	54.2	0.0
サービス	48.5	42.4	▼ 6.1	45.5	3.1
建設	60.0	54.9	▼ 5.1	52.7	▼ 2.2
観光関連	54.7	55.0	0.3	57.9	2.9

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

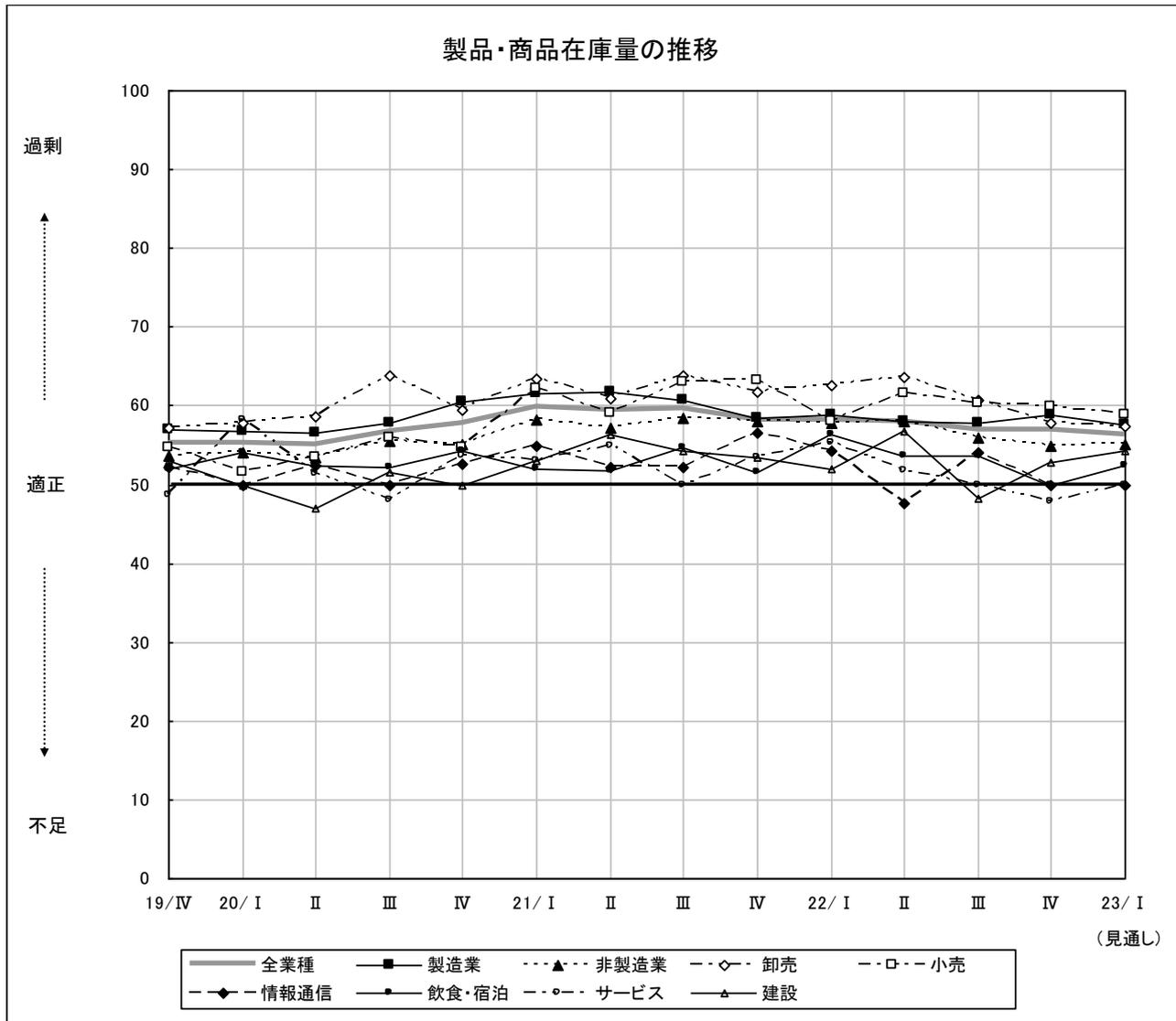


図12. 製品・商品在庫量の推移（製造業）

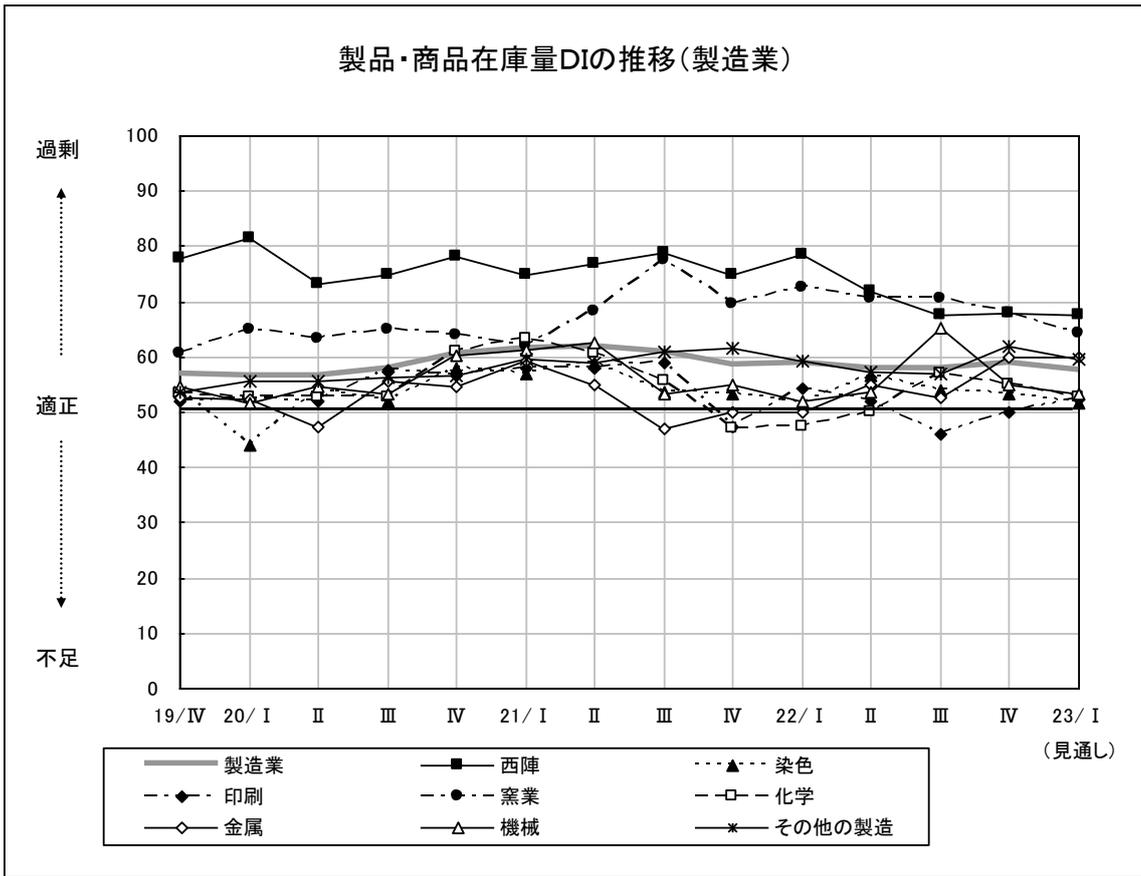


表6. 製品・商品在庫量 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
		前期比		今期比	
全業種	57.0	56.9	▼ 0.1	56.3	▼ 0.6
製造業	57.9	58.9	1.0	57.5	▼ 1.4
西陣	67.4	68.0	0.6	67.4	▼ 0.6
染色	54.0	53.3	▼ 0.7	51.7	▼ 1.6
印刷	46.0	50.0	4.0	52.3	2.3
窯業	70.6	67.9	▼ 2.7	64.3	▼ 3.6
化学	57.1	55.0	▼ 2.1	52.5	▼ 2.5
金属	52.5	60.0	7.5	60.0	0.0
機械	65.2	55.0	▼ 10.2	53.3	▼ 1.7
その他の製造	56.8	61.8	5.0	59.6	▼ 2.2
非製造業	56.0	54.8	▼ 1.2	55.1	0.3
卸売	60.8	57.8	▼ 3.0	57.3	▼ 0.5
小売	60.2	59.8	▼ 0.4	58.9	▼ 0.9
情報通信	54.0	50.0	▼ 4.0	50.0	0.0
飲食・宿泊	53.6	50.0	▼ 3.6	52.4	2.4
サービス	50.0	47.9	▼ 2.1	50.0	2.1
建設	48.3	52.9	4.6	54.3	1.4
観光関連	57.5	54.1	▼ 3.4	50.0	▼ 4.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

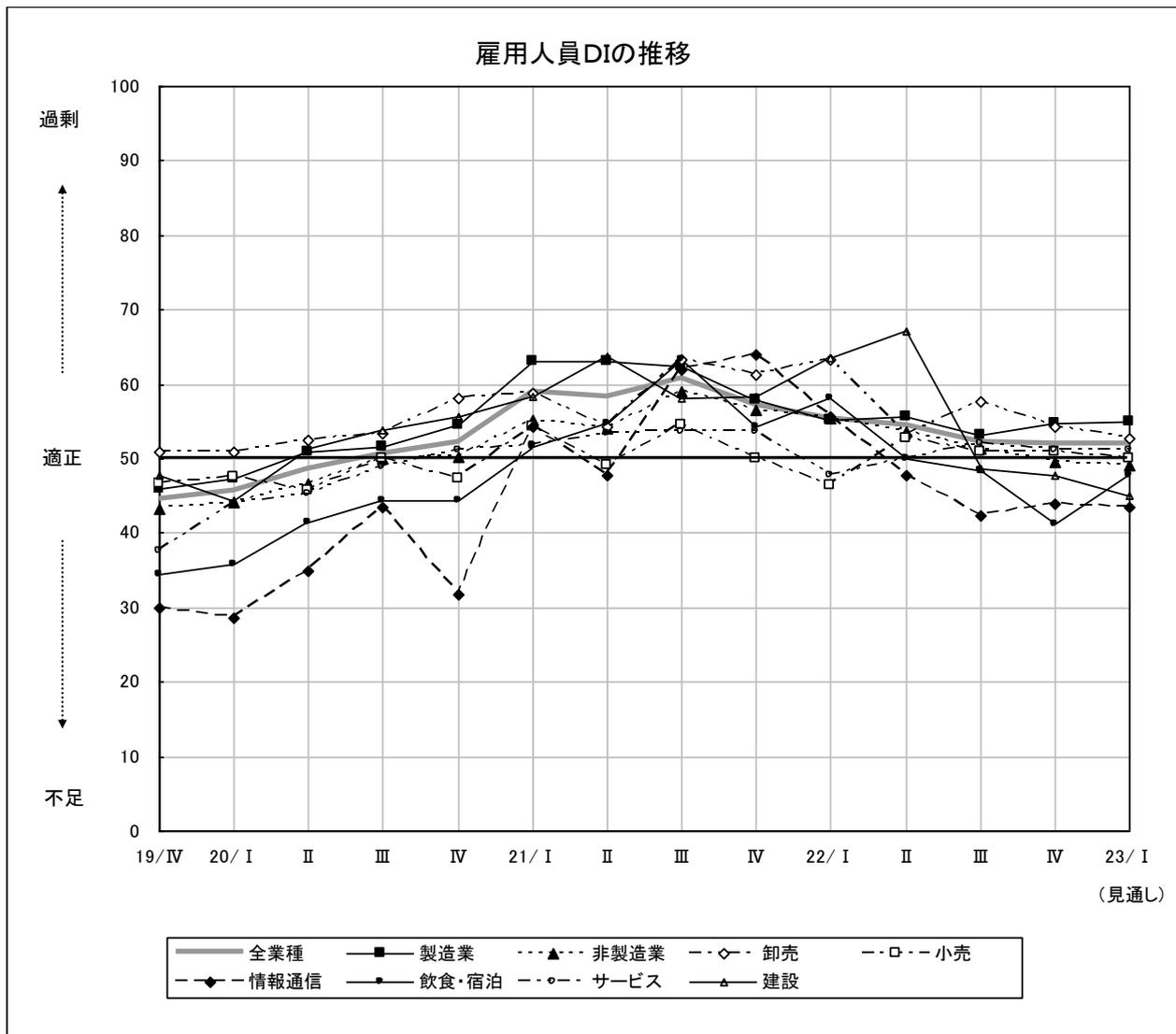


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

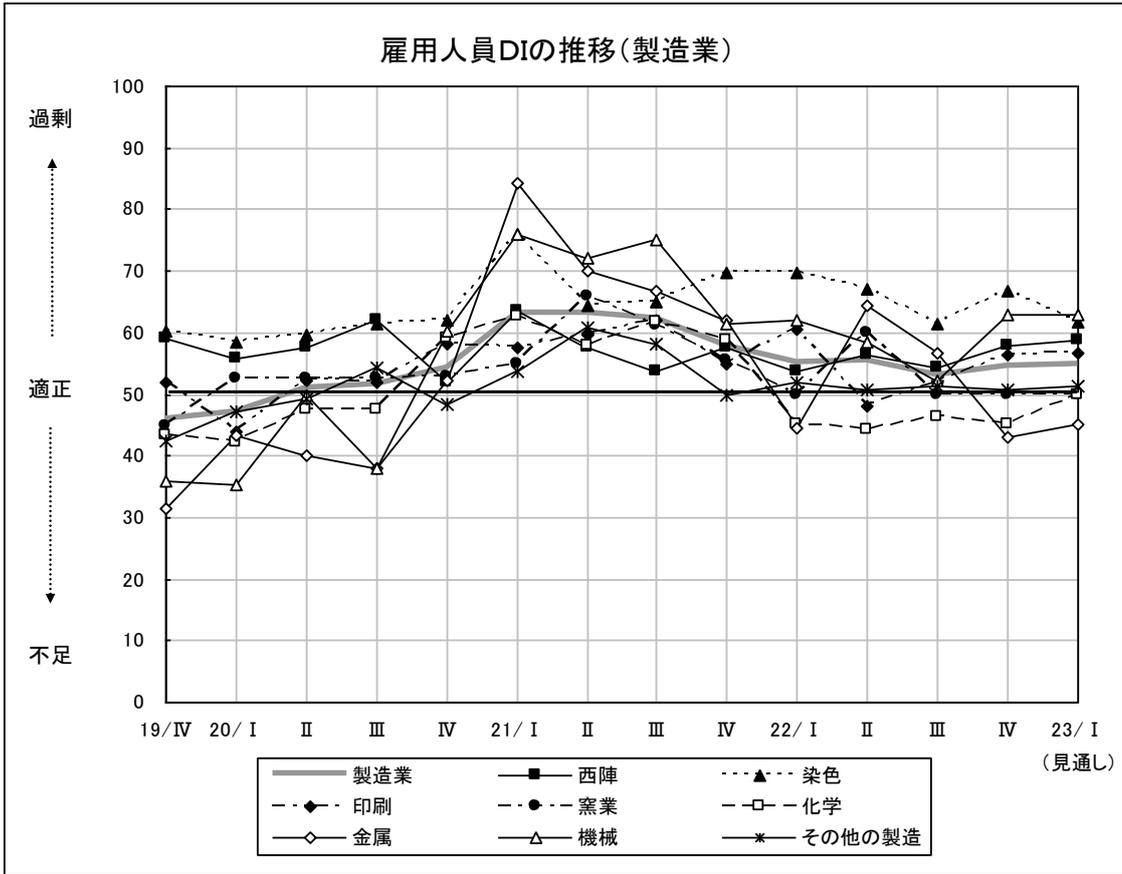


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	52.2	52.0	▼ 0.2	52.0	0.0
製造業	53.1	54.7	1.6	54.9	0.2
西陣	54.3	58.0	3.7	58.7	0.7
染色	61.3	66.7	5.4	61.8	▼ 4.9
印刷	51.9	56.5	4.6	56.8	0.3
窯業	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
化学	46.4	45.0	▼ 1.4	50.0	5.0
金属	56.8	42.9	▼ 13.9	45.2	2.3
機械	52.1	62.9	10.8	62.9	0.0
その他の製造	51.2	50.7	▼ 0.5	51.4	0.7
非製造業	51.3	49.6	▼ 1.7	49.2	▼ 0.4
卸売	57.6	54.2	▼ 3.4	52.7	▼ 1.5
小売	50.9	50.9	0.0	50.0	▼ 0.9
情報通信	42.3	44.0	1.7	43.5	▼ 0.5
飲食・宿泊	48.5	41.3	▼ 7.2	47.8	6.5
サービス	52.1	51.1	▼ 1.0	51.1	0.0
建設	48.6	47.7	▼ 0.9	45.1	▼ 2.6
観光関連	56.7	50.0	▼ 6.7	50.0	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

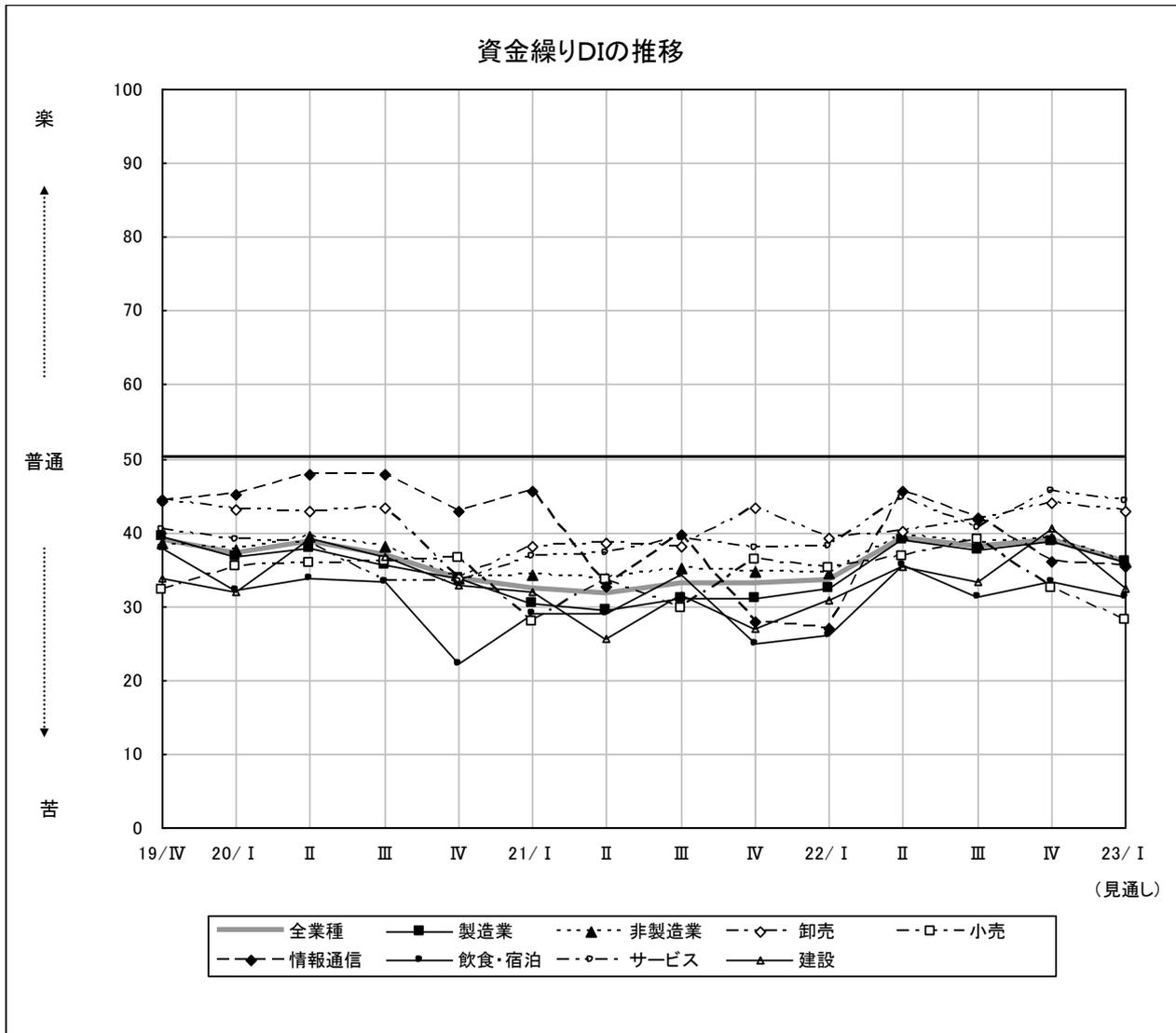


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

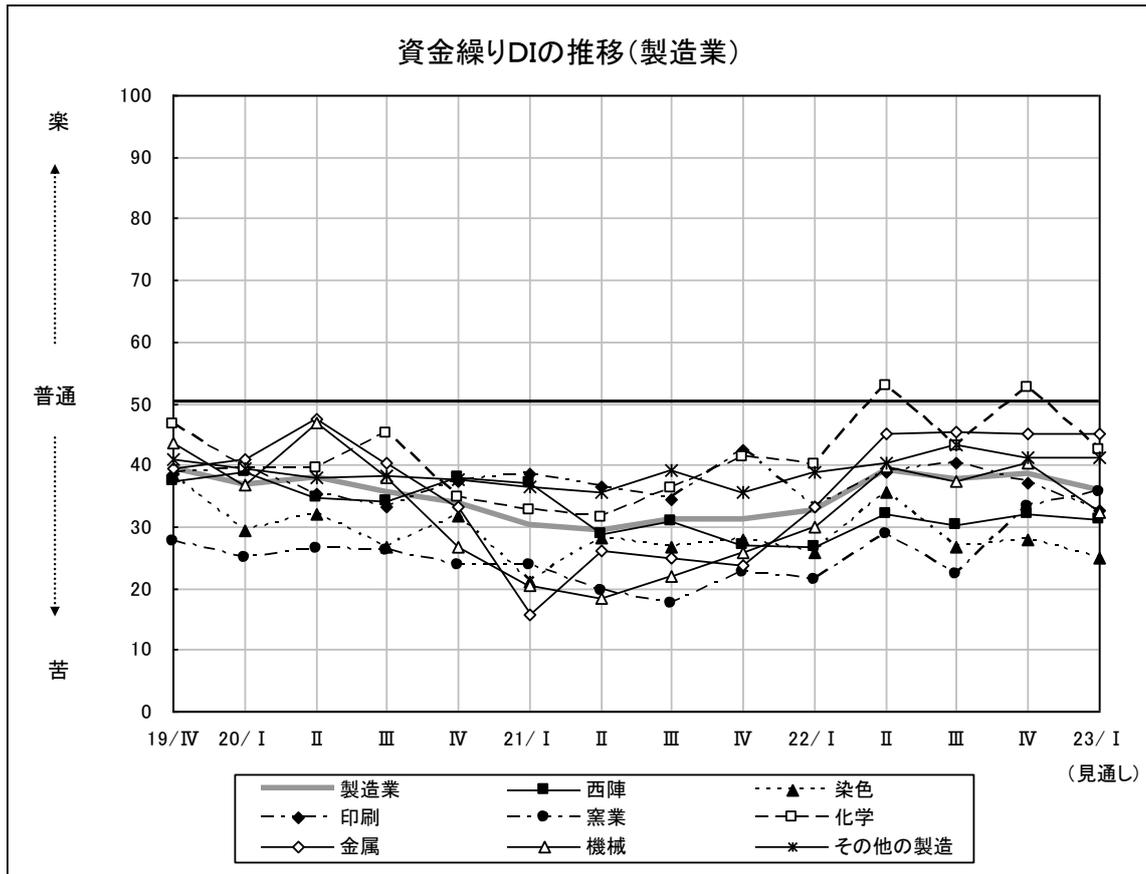


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	38.0	39.0	1.0	36.0	▼ 3.0
製造業	37.6	38.7	1.1	36.0	▼ 2.7
西陣	30.4	32.0	1.6	31.3	▼ 0.7
染色	26.6	27.9	1.3	25.0	▼ 2.9
印刷	40.4	37.0	▼ 3.4	32.6	▼ 4.4
窯業	22.2	33.3	11.1	35.7	2.4
化学	42.9	52.5	9.6	42.5	▼ 10.0
金属	45.5	45.2	▼ 0.3	45.2	0.0
機械	37.5	40.3	2.8	32.3	▼ 8.0
その他の製造	43.3	41.3	▼ 2.0	41.2	▼ 0.1
非製造業	38.5	39.3	0.8	36.1	▼ 3.2
卸売	41.7	44.1	2.4	42.9	▼ 1.2
小売	38.9	32.5	▼ 6.4	28.1	▼ 4.4
情報通信	42.0	36.0	▼ 6.0	35.4	▼ 0.6
飲食・宿泊	31.3	33.3	2.0	31.3	▼ 2.0
サービス	40.6	45.6	5.0	44.3	▼ 1.3
建設	33.3	40.7	7.4	32.5	▼ 8.2
観光関連	37.2	36.3	▼ 0.9	34.6	▼ 1.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

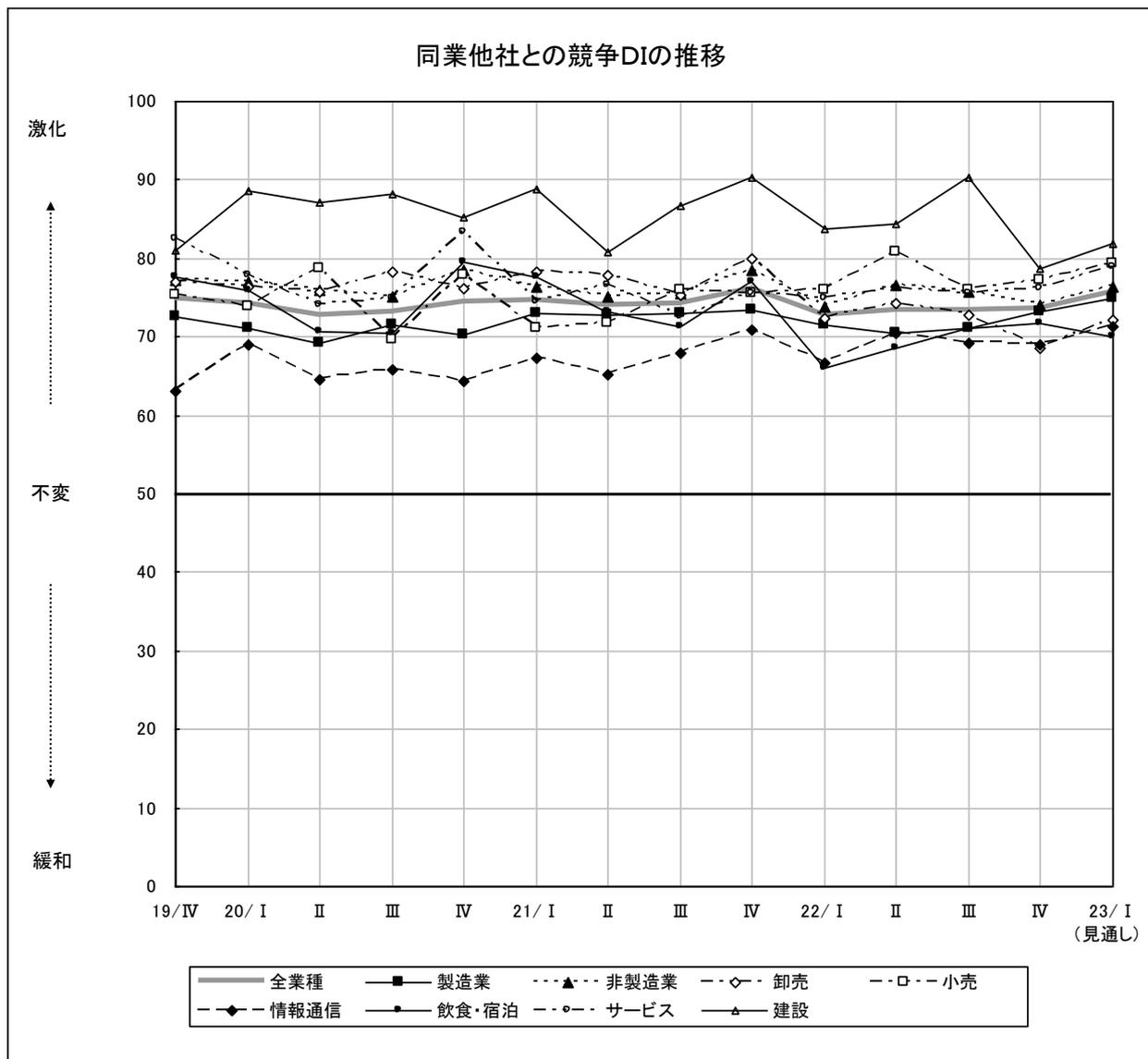


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

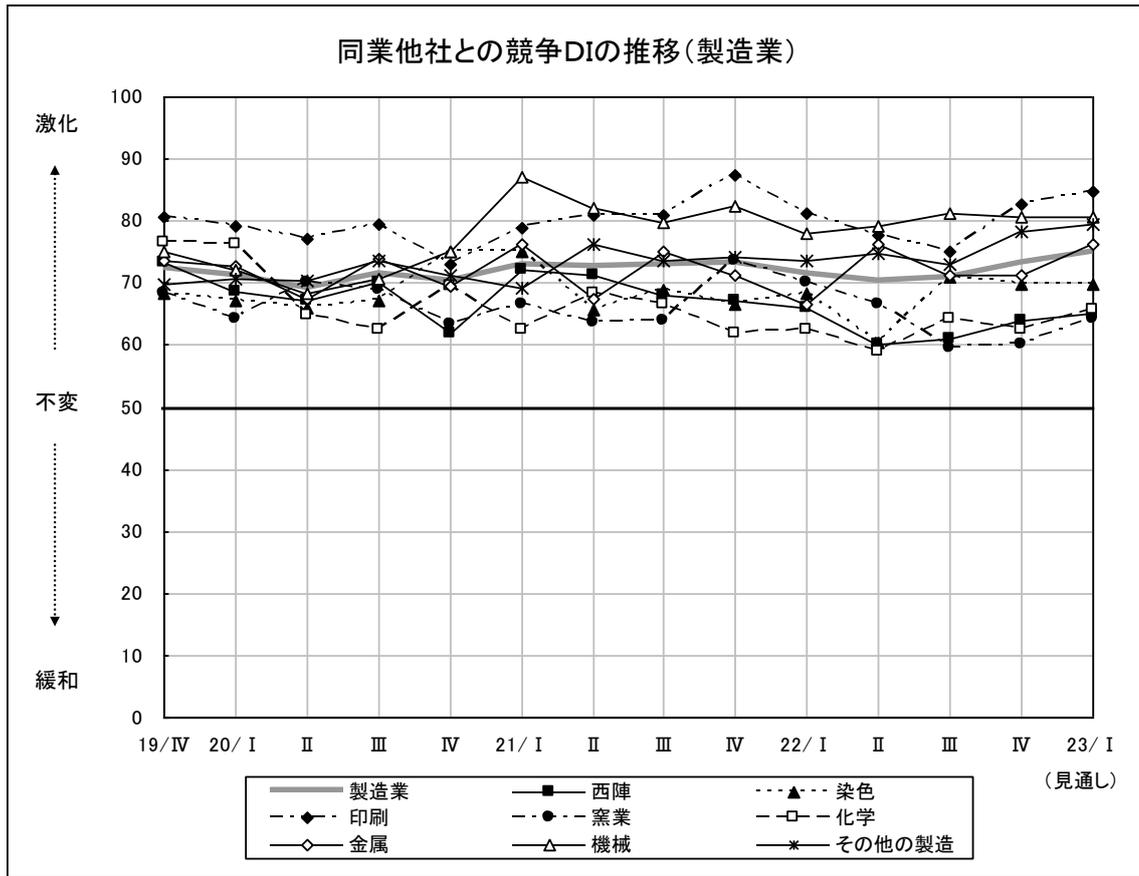


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	73.5	73.6	0.1	75.7	2.1
製造業	71.0	73.2	2.2	75.0	1.8
西陣	60.9	64.0	3.1	65.2	1.2
染色	71.0	69.7	▼ 1.3	69.7	0.0
印刷	75.0	82.6	7.6	84.8	2.2
窯業	59.4	60.0	0.6	64.3	4.3
化学	64.3	62.5	▼ 1.8	65.8	3.3
金属	71.4	71.4	0.0	76.2	4.8
機械	81.3	80.6	▼ 0.7	80.6	0.0
その他の製造	72.9	78.3	5.4	79.4	1.1
非製造業	75.8	74.0	▼ 1.8	76.4	2.4
卸売	72.7	68.6	▼ 4.1	72.1	3.5
小売	75.9	77.2	1.3	79.4	2.2
情報通信	69.2	69.0	▼ 0.2	71.4	2.4
飲食・宿泊	71.2	71.7	0.5	70.0	▼ 1.7
サービス	75.5	76.1	0.6	78.8	2.7
建設	90.3	78.6	▼ 11.7	81.9	3.3
観光関連	68.9	66.3	▼ 2.6	70.3	4.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

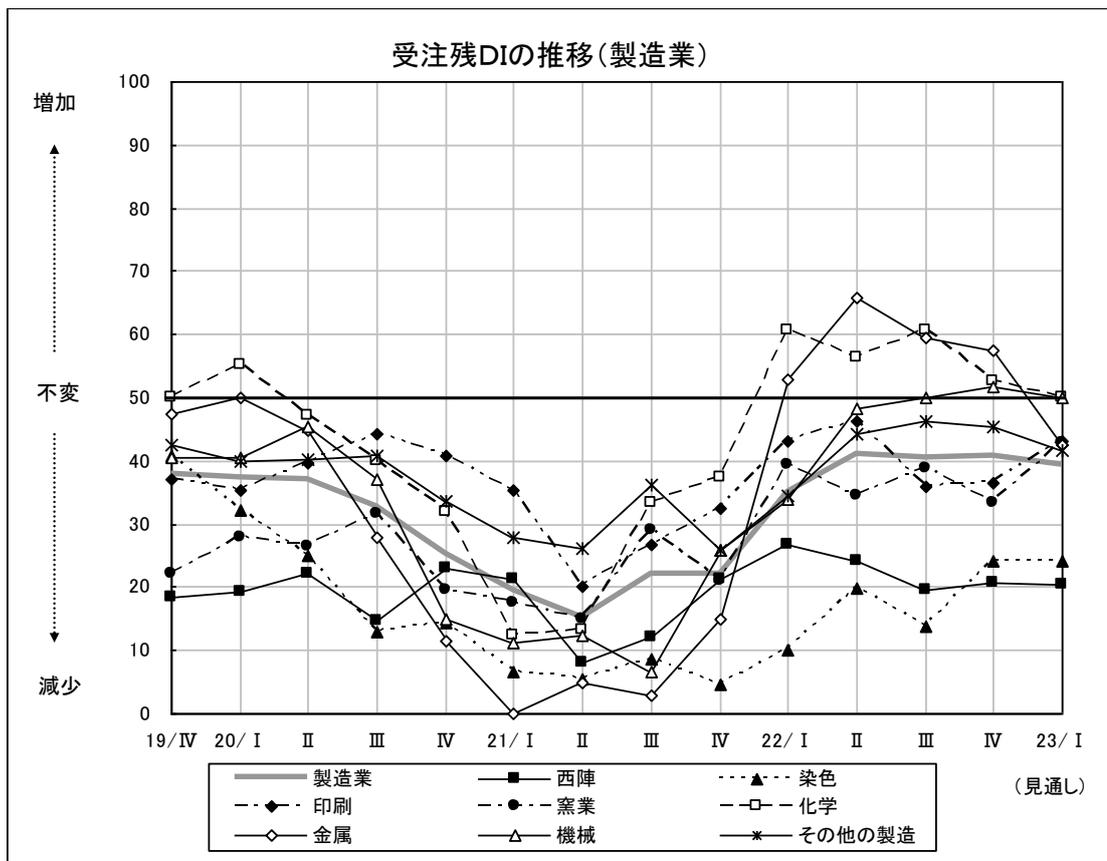


表10. 受注残DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	40.4	40.9	0.5	39.5	▼ 1.4
西陣	19.6	20.8	1.2	20.5	▼ 0.3
染色	13.8	24.1	10.3	24.1	0.0
印刷	36.0	36.4	0.4	43.2	6.8
窯業	38.9	33.3	▼ 5.6	42.9	9.6
化学	60.7	52.5	▼ 8.2	50.0	▼ 2.5
金属	59.5	57.5	▼ 2.0	42.5	▼ 15.0
機械	50.0	51.7	1.7	50.0	▼ 1.7
その他の製造	46.2	45.5	▼ 0.7	41.7	▼ 3.8
観光関連	29.2	45.5	16.3	46.2	0.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 1. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

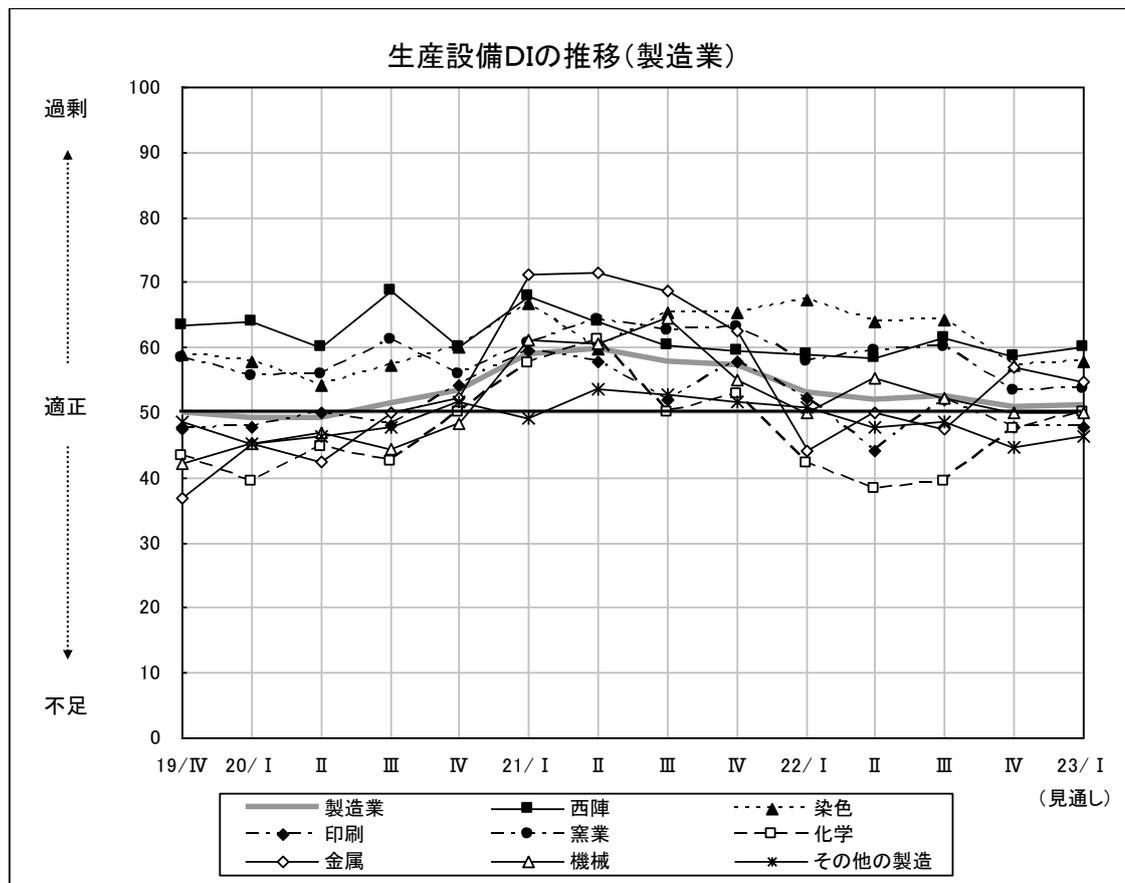


表 11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
		前期比		今期比	
製造業	52.6	50.7	▼ 1.9	51.1	0.4
西陣	61.4	58.7	▼ 2.7	60.0	1.3
染色	64.3	57.4	▼ 6.9	57.7	0.3
印刷	52.0	47.8	▼ 4.2	47.8	0.0
窯業	60.0	53.3	▼ 6.7	53.6	0.3
化学	39.3	47.4	8.1	50.0	2.6
金属	47.6	57.1	9.5	54.8	▼ 2.3
機械	52.1	50.0	▼ 2.1	50.0	0.0
其他の製造	48.7	44.8	▼ 3.9	46.3	1.5
観光関連	50.0	45.5	▼ 4.5	46.2	0.7

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

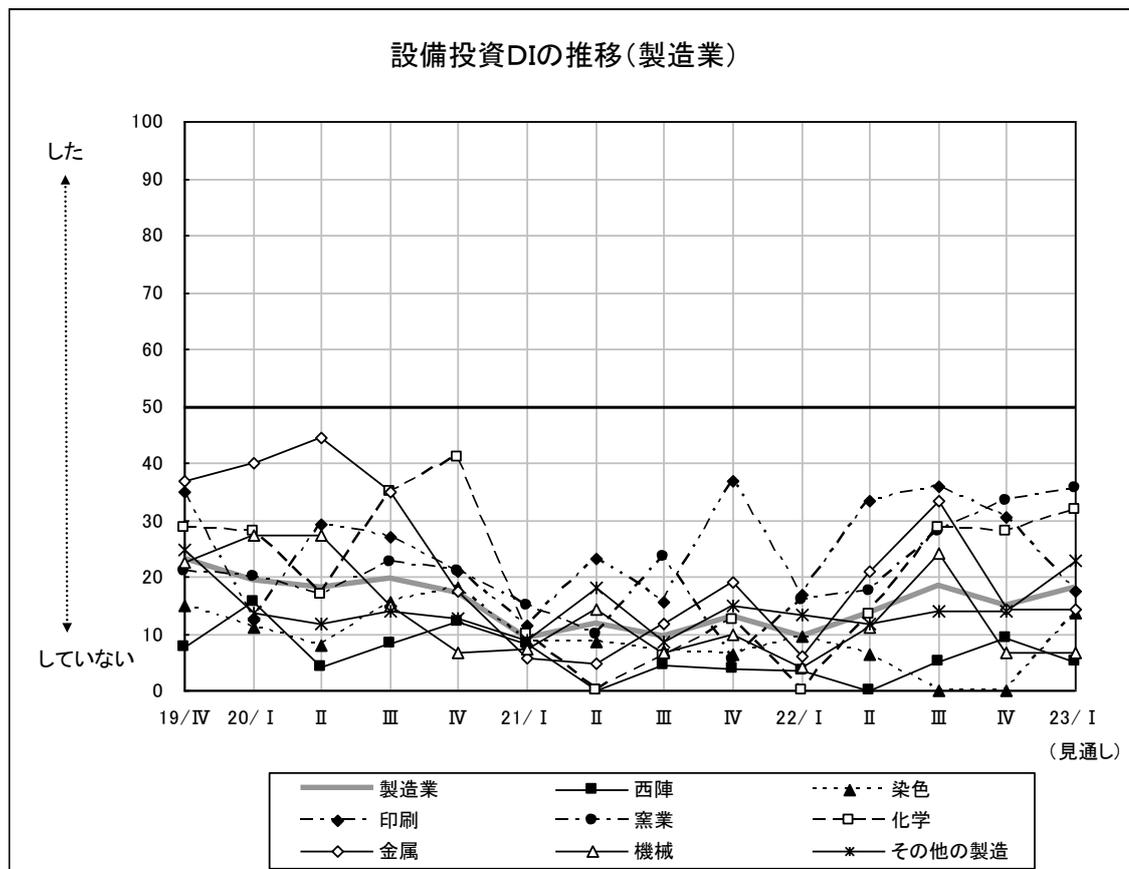


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	18.4	14.9	▼ 3.5	18.0	3.1
西陣	5.0	9.1	4.1	5.0	▼ 4.1
染色	0.0	0.0	0.0	13.8	13.8
印刷	36.0	30.4	▼ 5.6	17.4	▼ 13.0
窯業	27.8	33.3	5.5	35.7	2.4
化学	28.6	27.8	▼ 0.8	31.6	3.8
金属	33.3	14.3	▼ 19.0	14.3	0.0
機械	24.0	6.7	▼ 17.3	6.7	0.0
その他の製造	14.1	14.1	0.0	22.7	8.6
観光関連	8.3	18.2	9.9	23.1	4.9

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図22. 当面の経営戦略・回答の推移

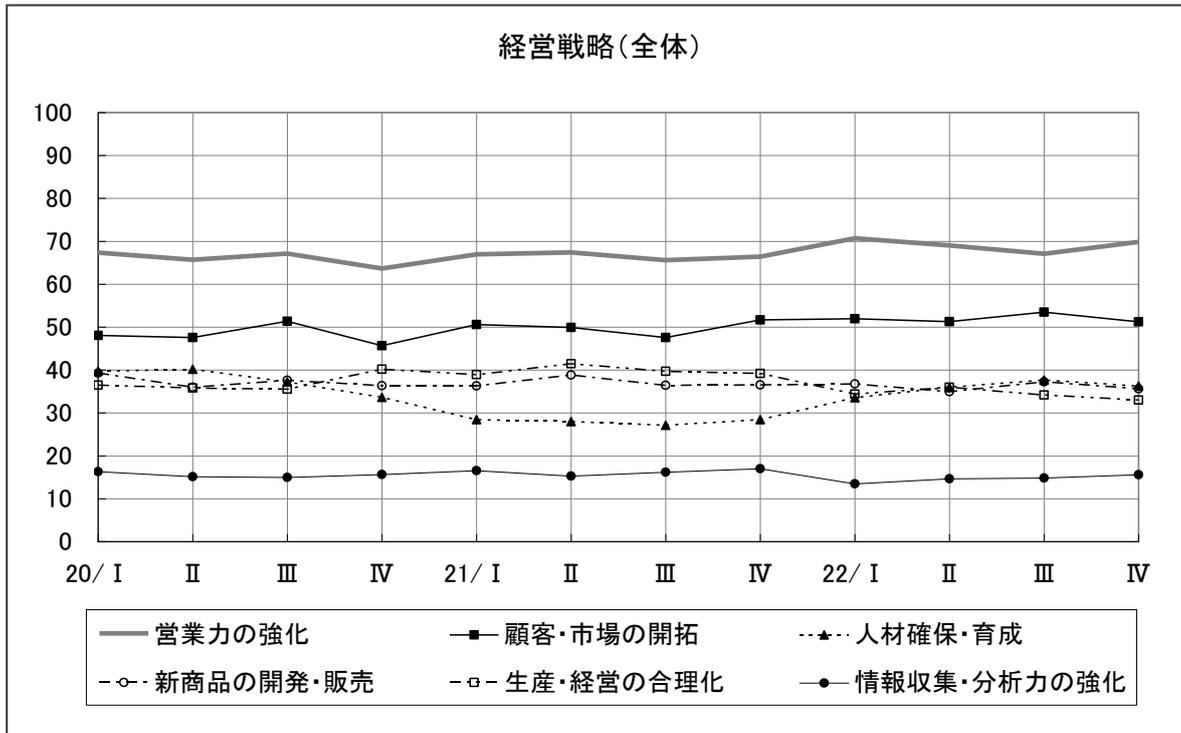


図23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

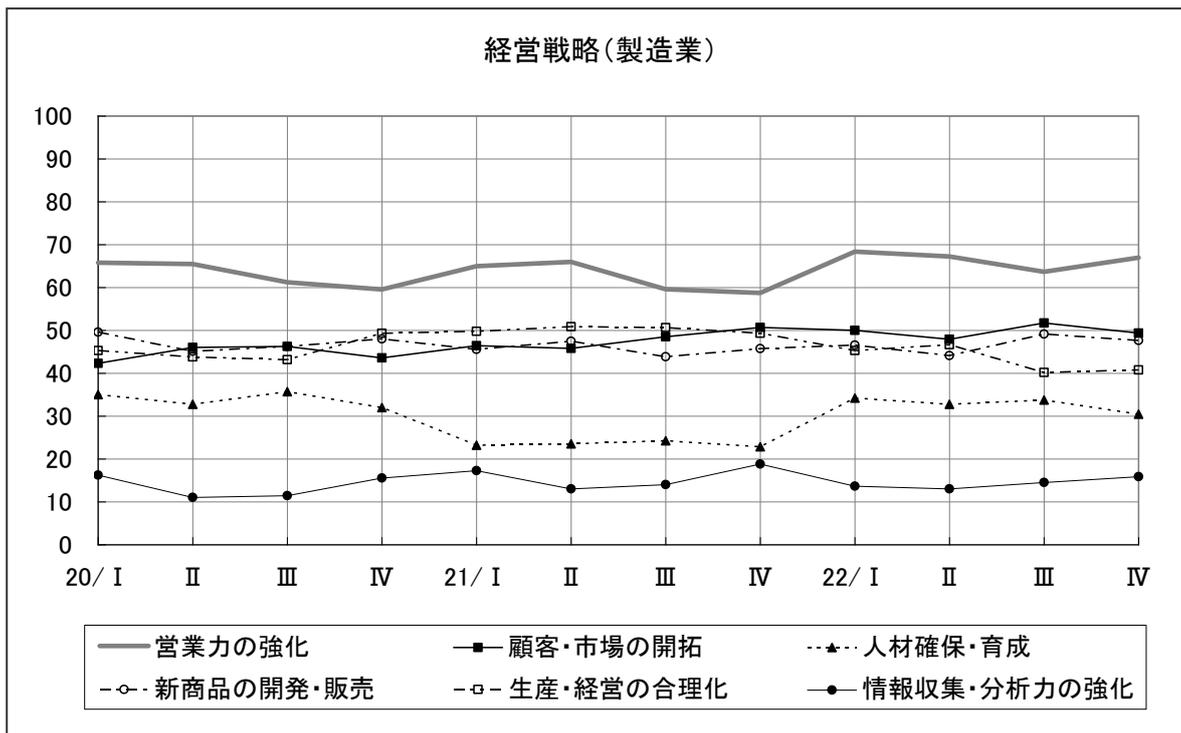


図24. 当面の経営戦略・西陣

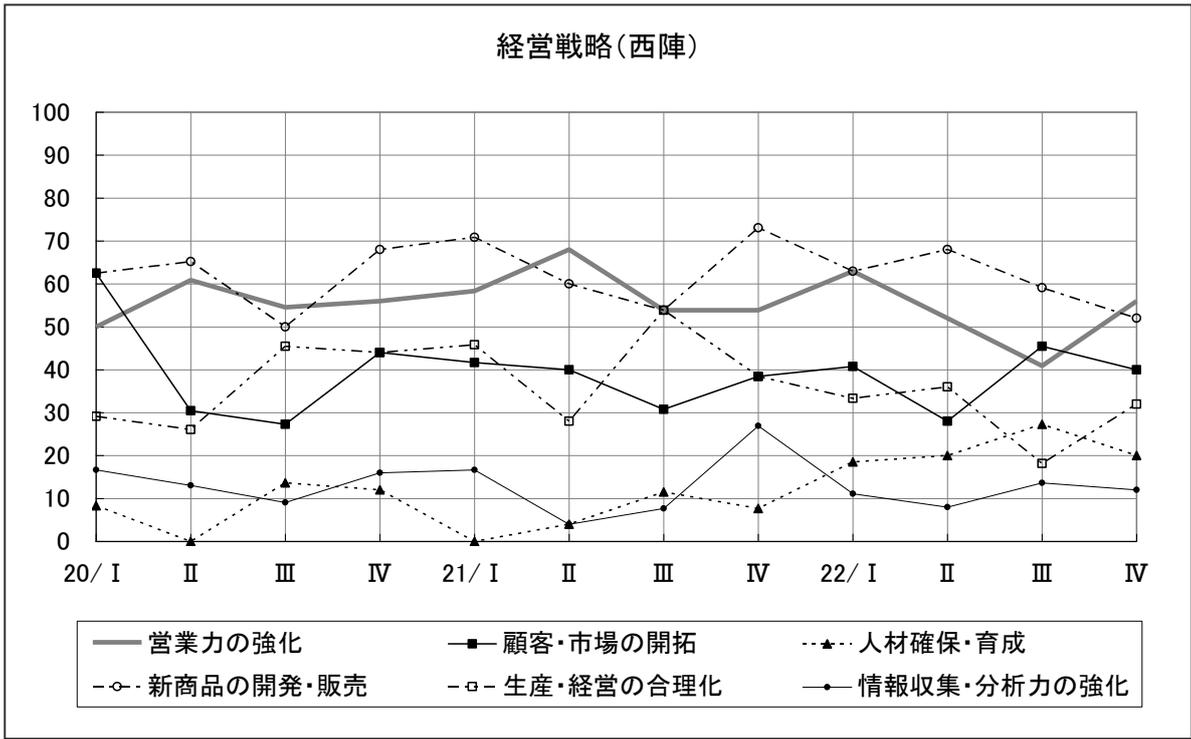


図25. 当面の経営戦略・染色

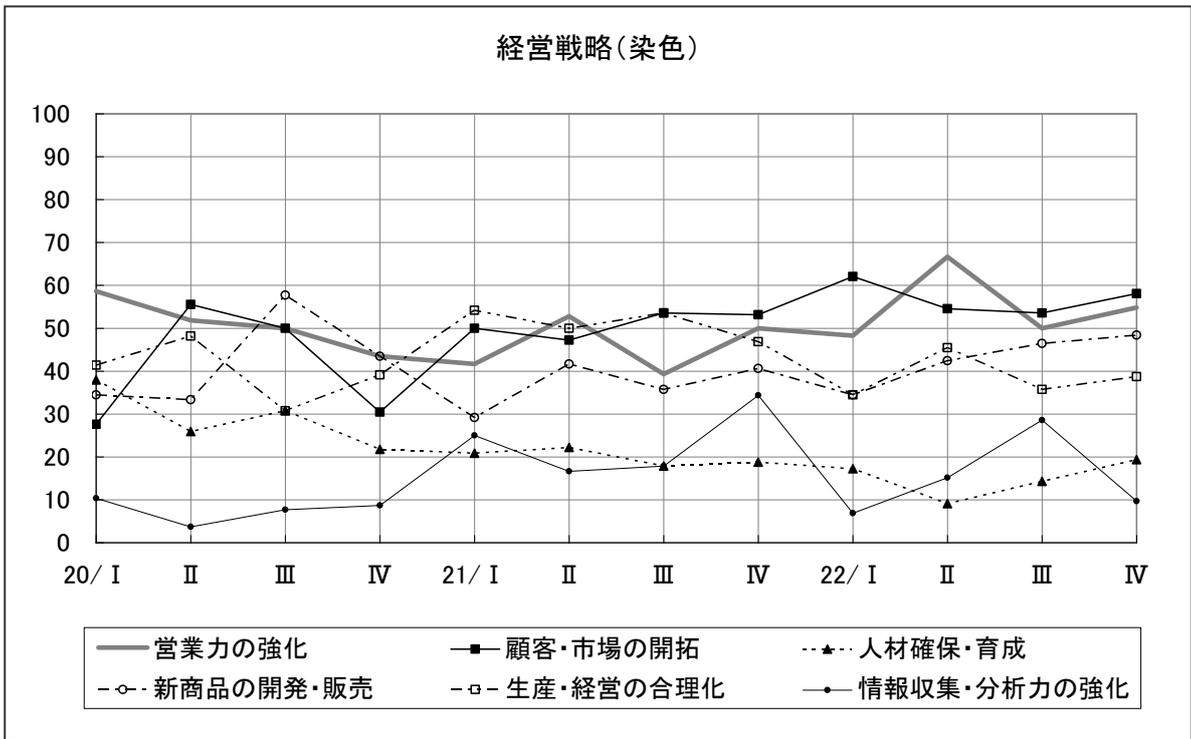


図26. 当面の経営戦略・印刷

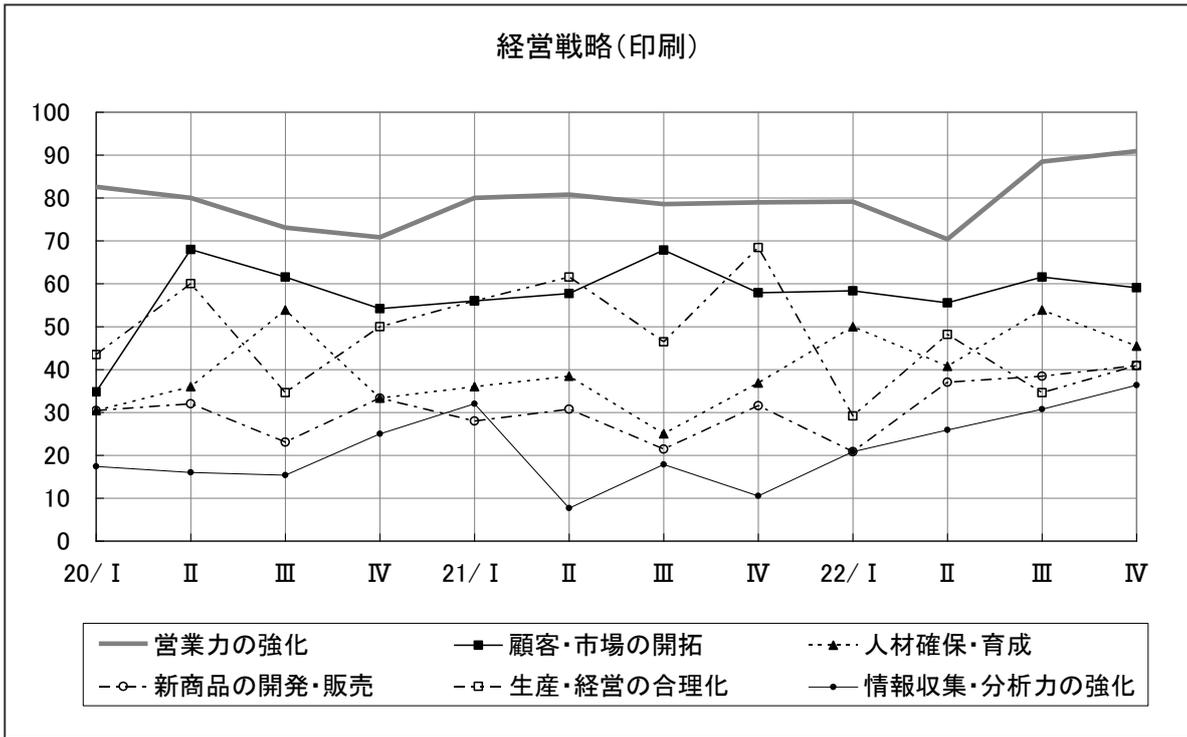


図27. 当面の経営戦略・窯業

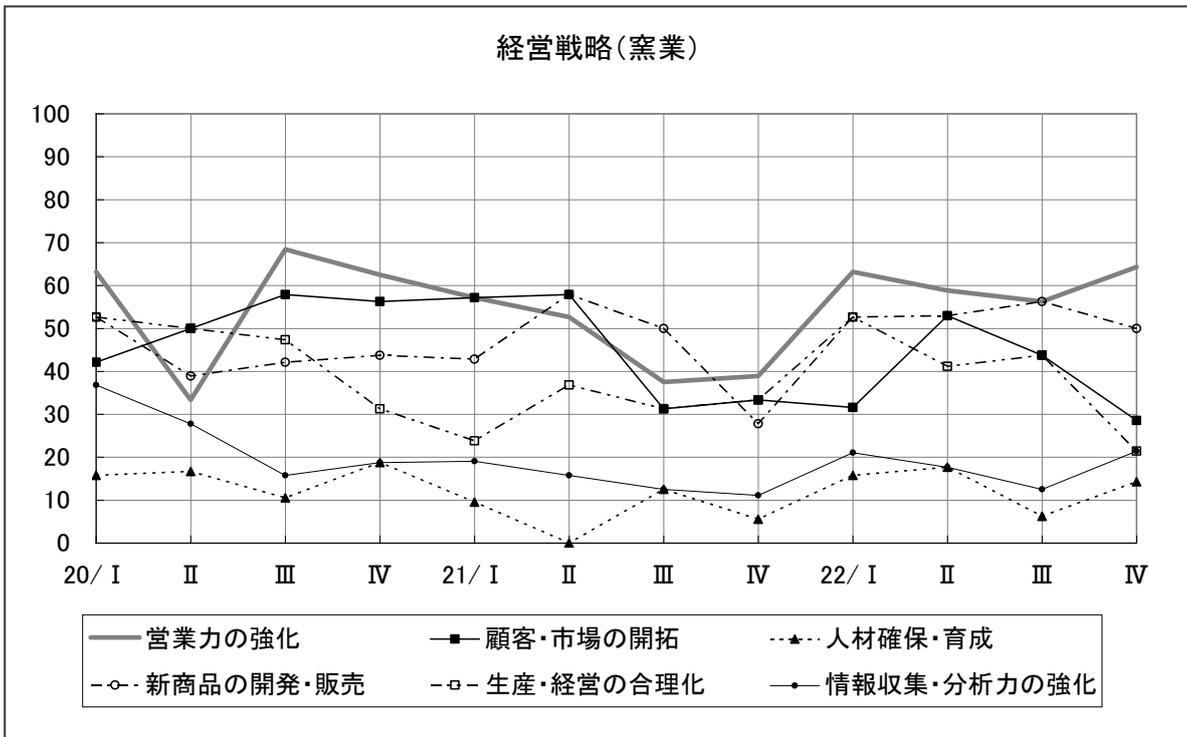


図28. 当面の経営戦略・化学

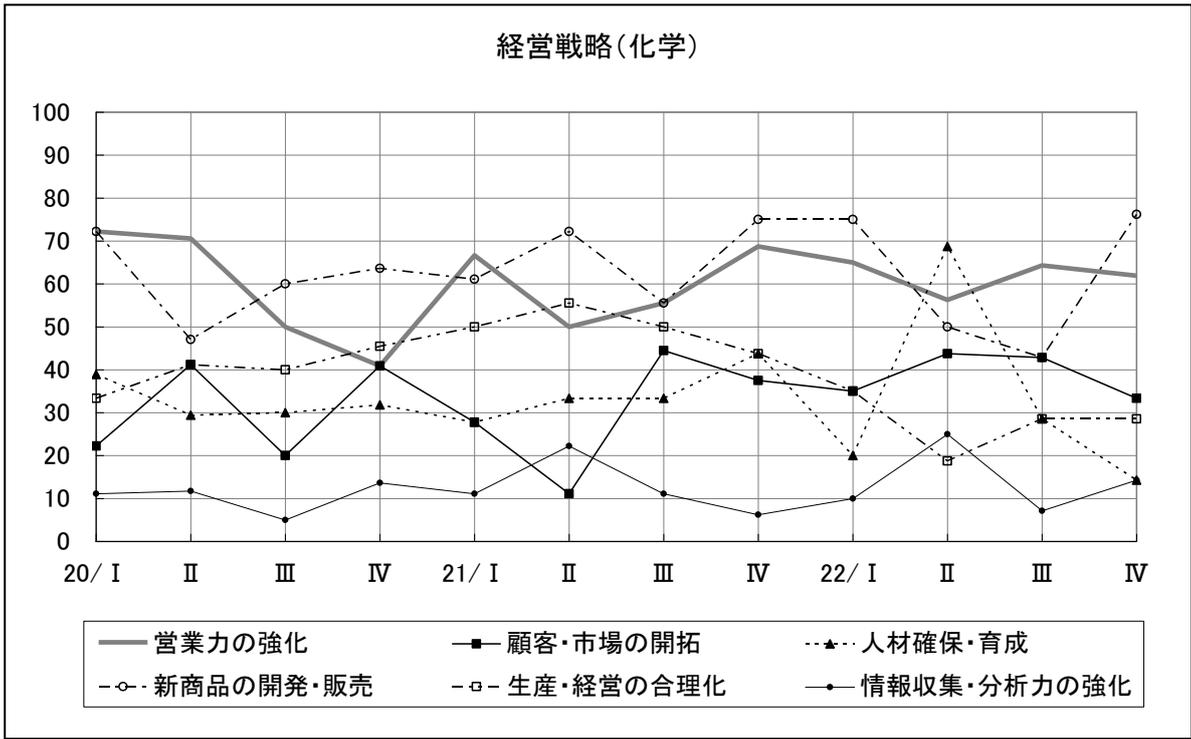


図29. 当面の経営戦略・金属

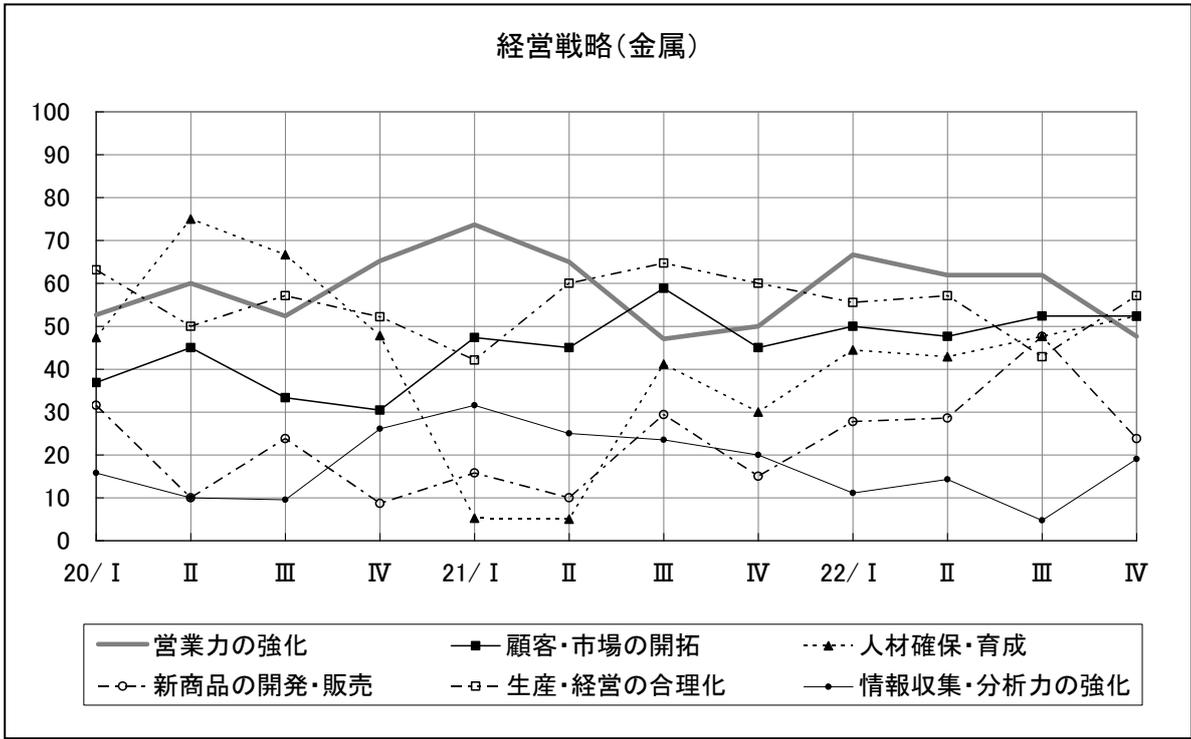


図 30. 当面の経営戦略・機械

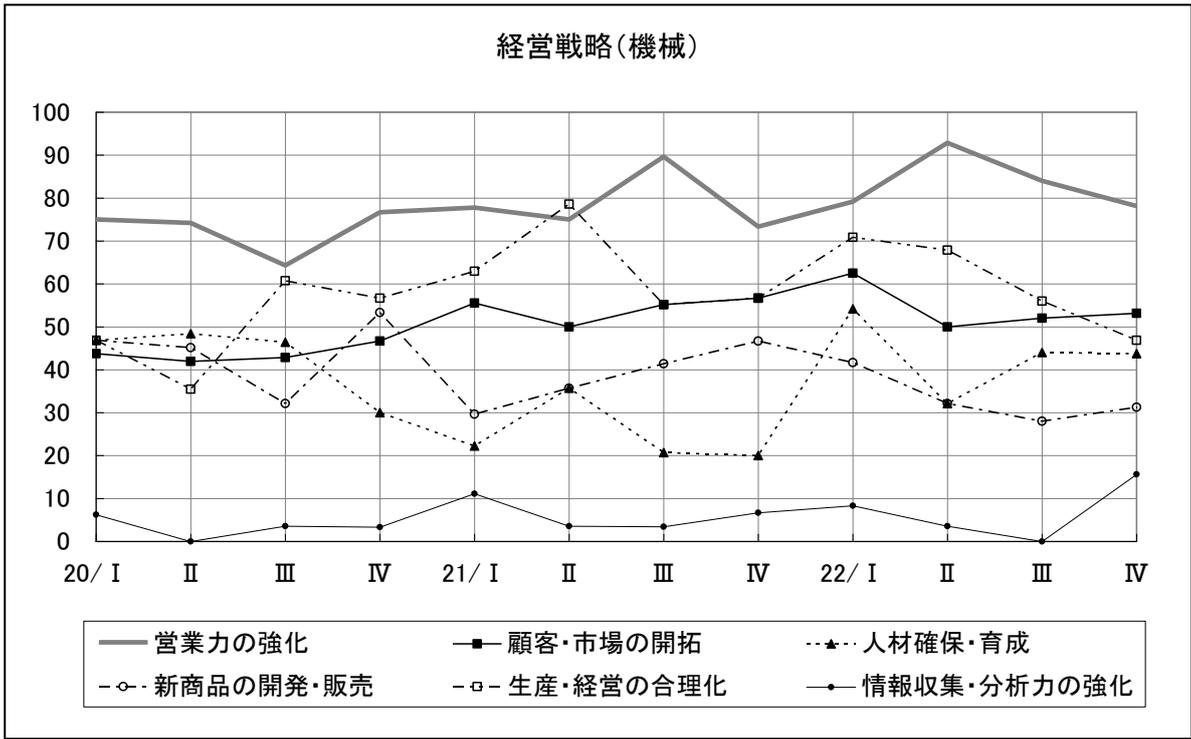


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

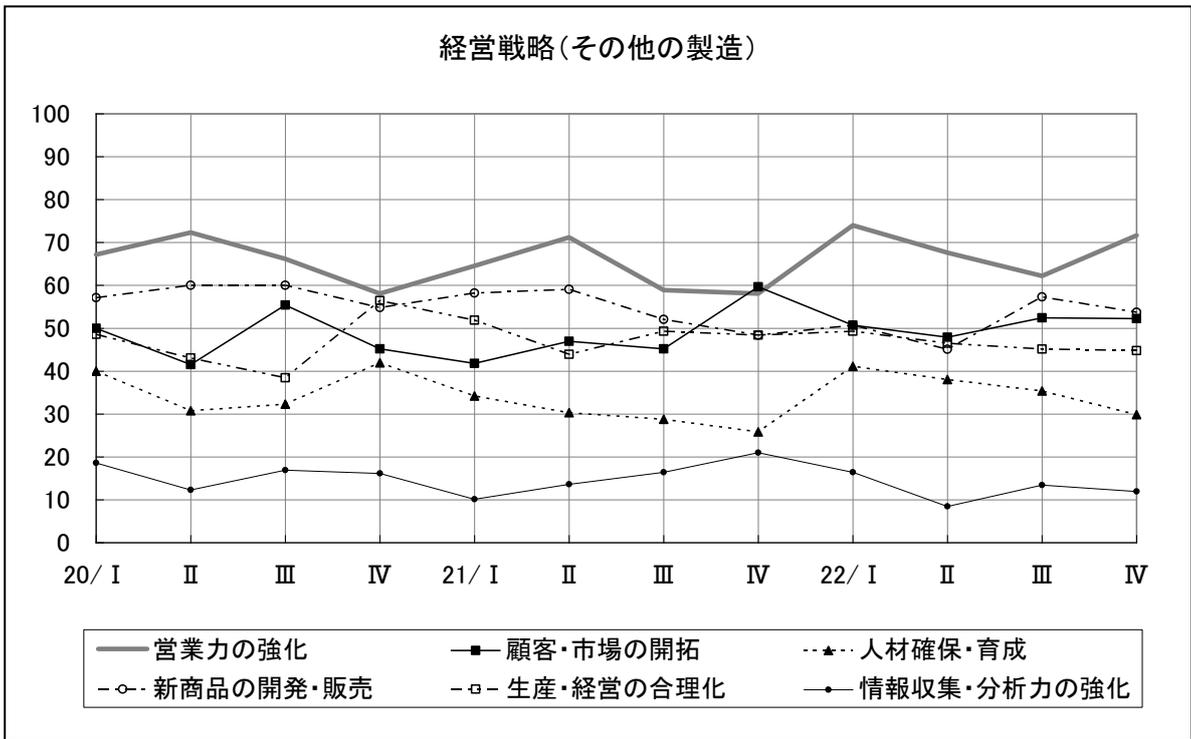


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

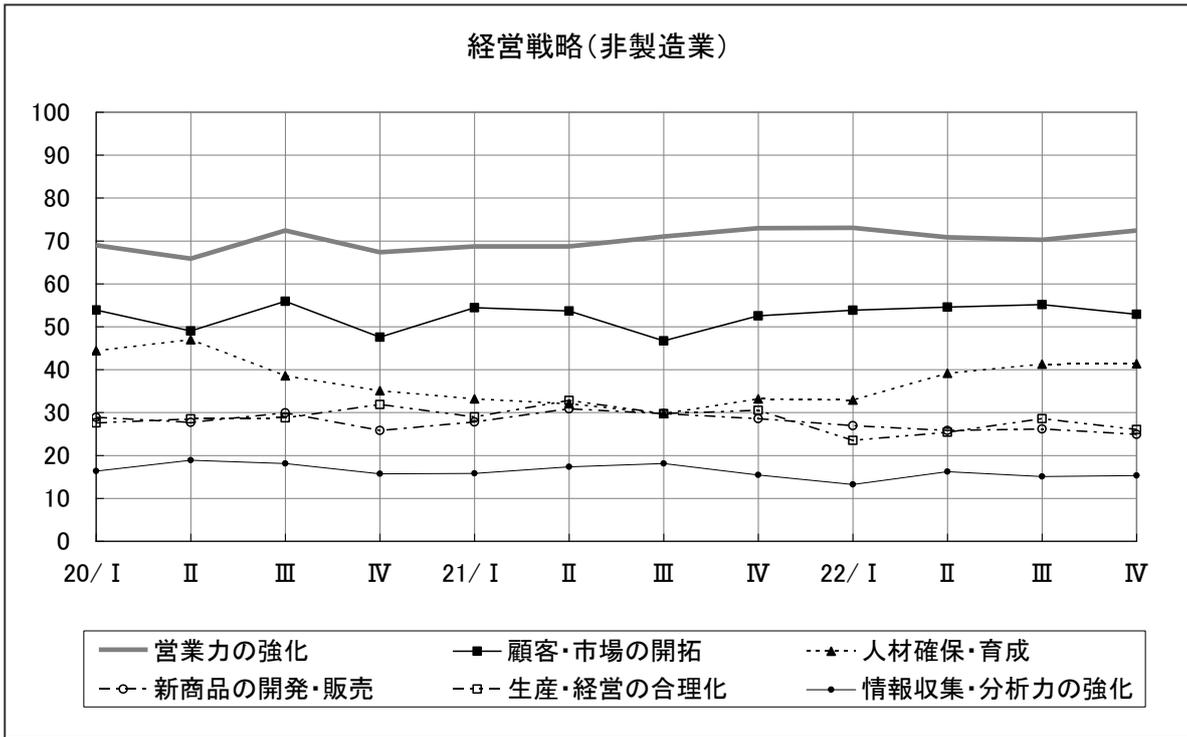


図 33. 当面の経営戦略・卸売

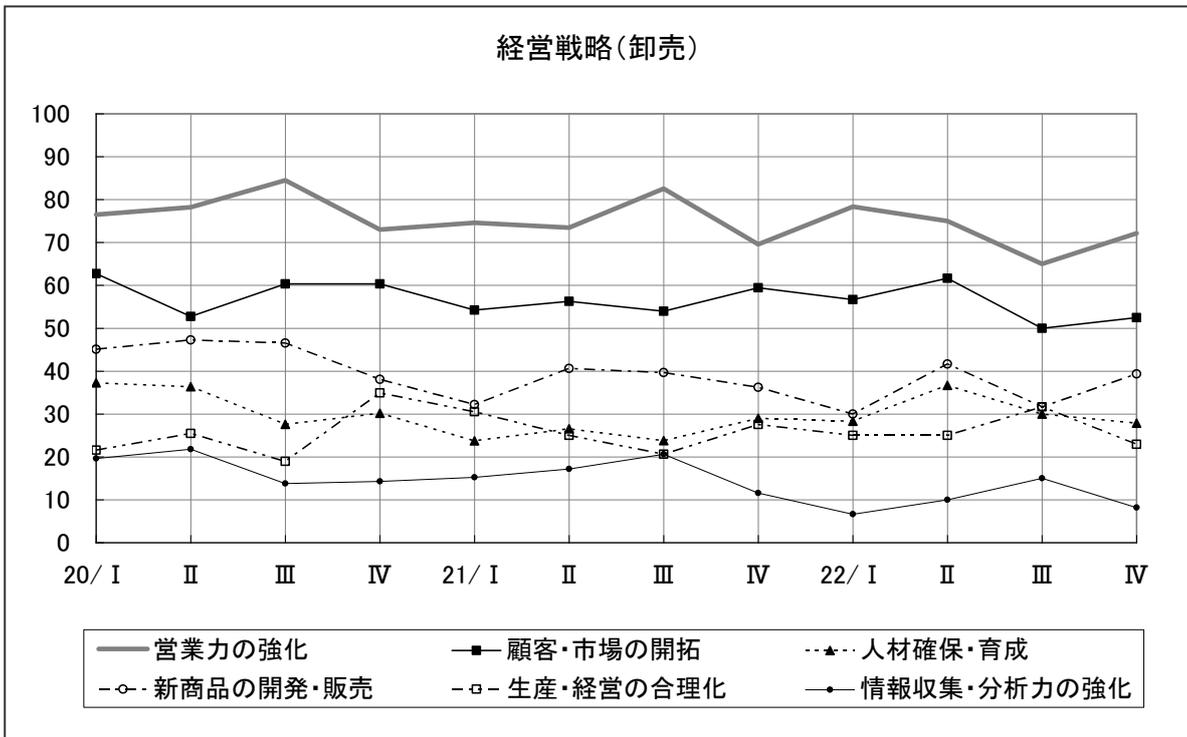


図34. 当面の経営戦略・小売

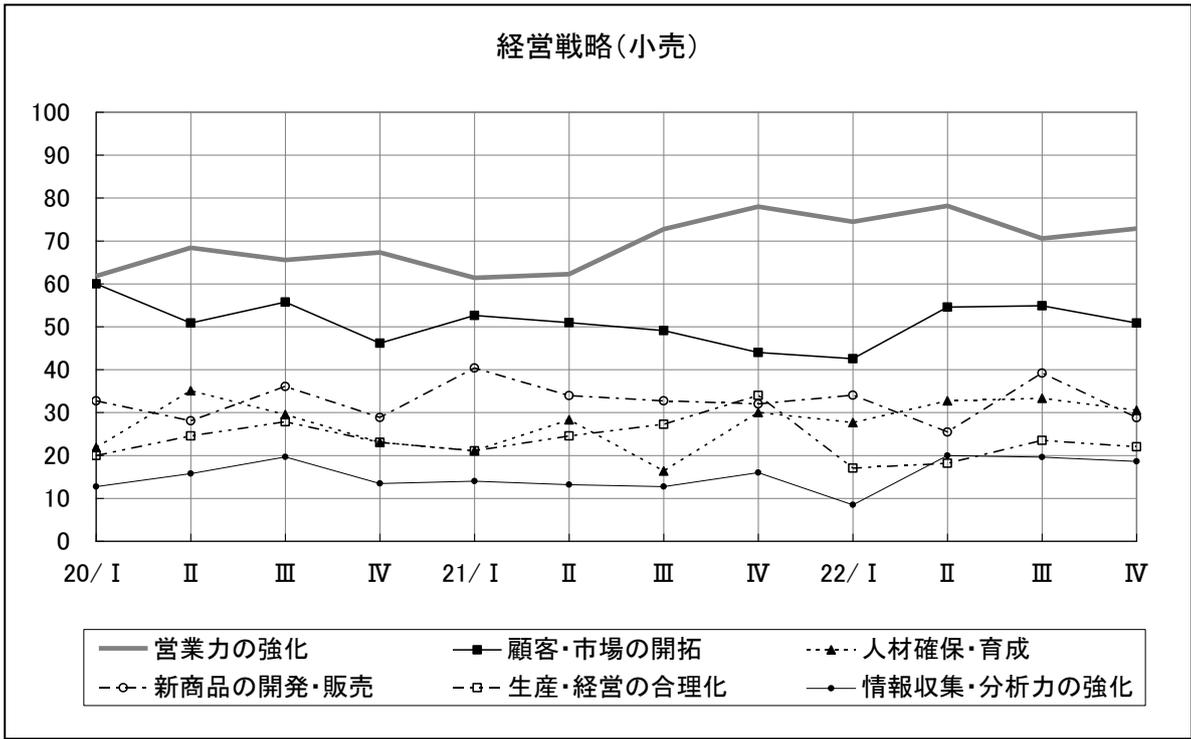


図35. 当面の経営戦略・情報通信

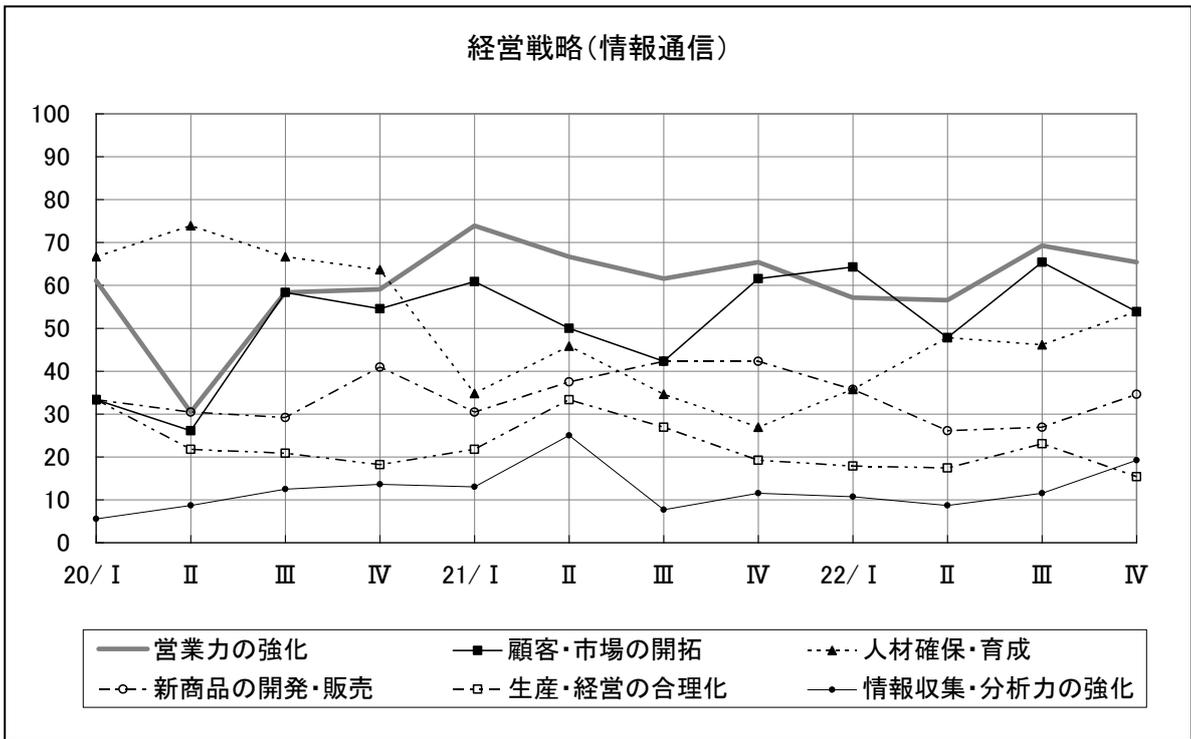


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

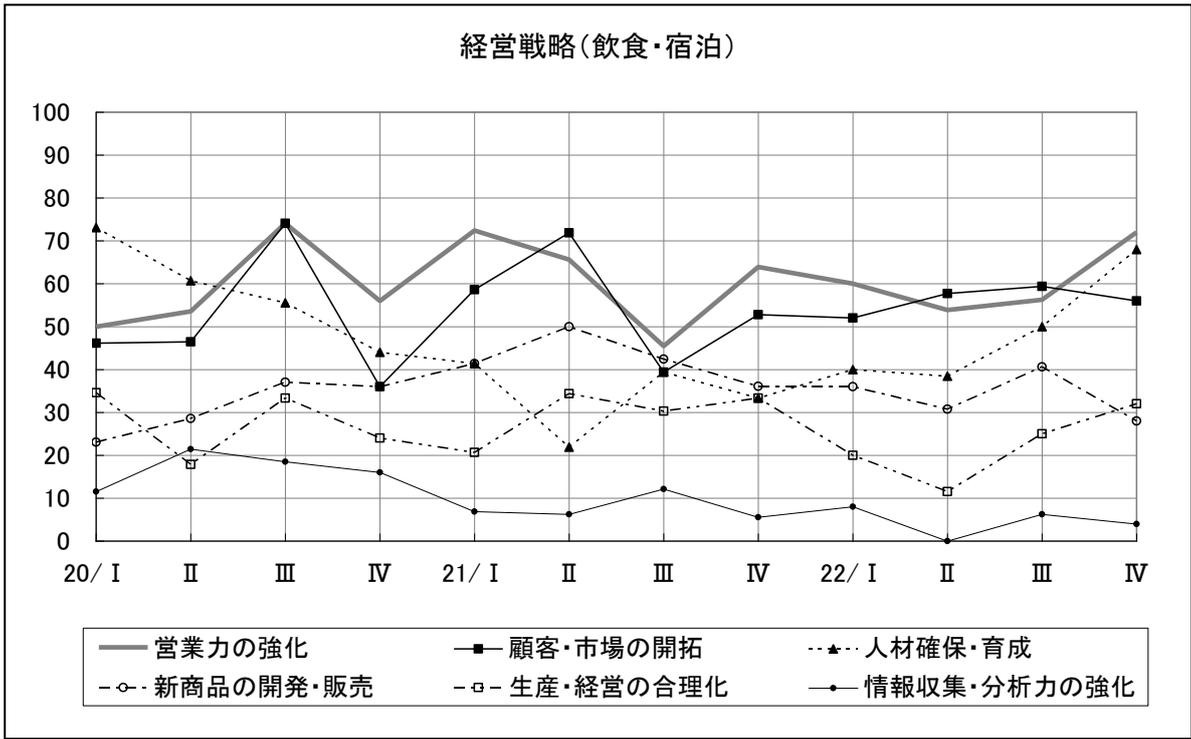


図 37. 当面の経営戦略・サービス

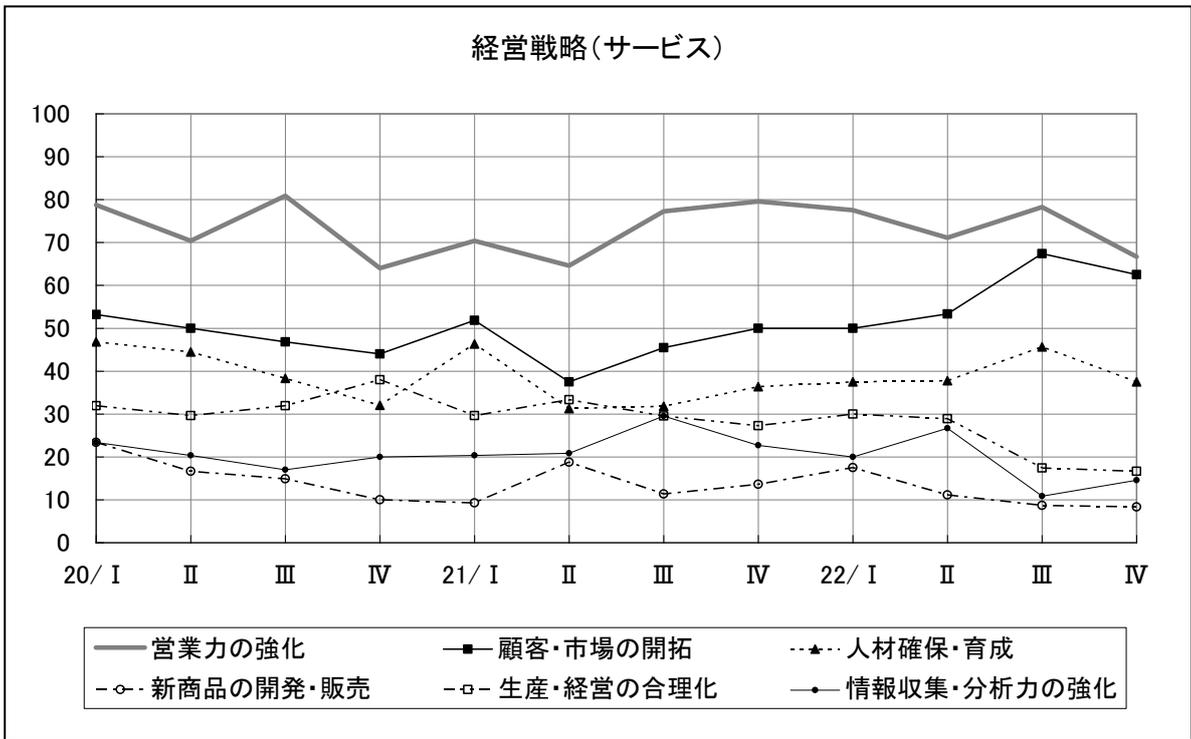


図 38. 当面の経営戦略・建設

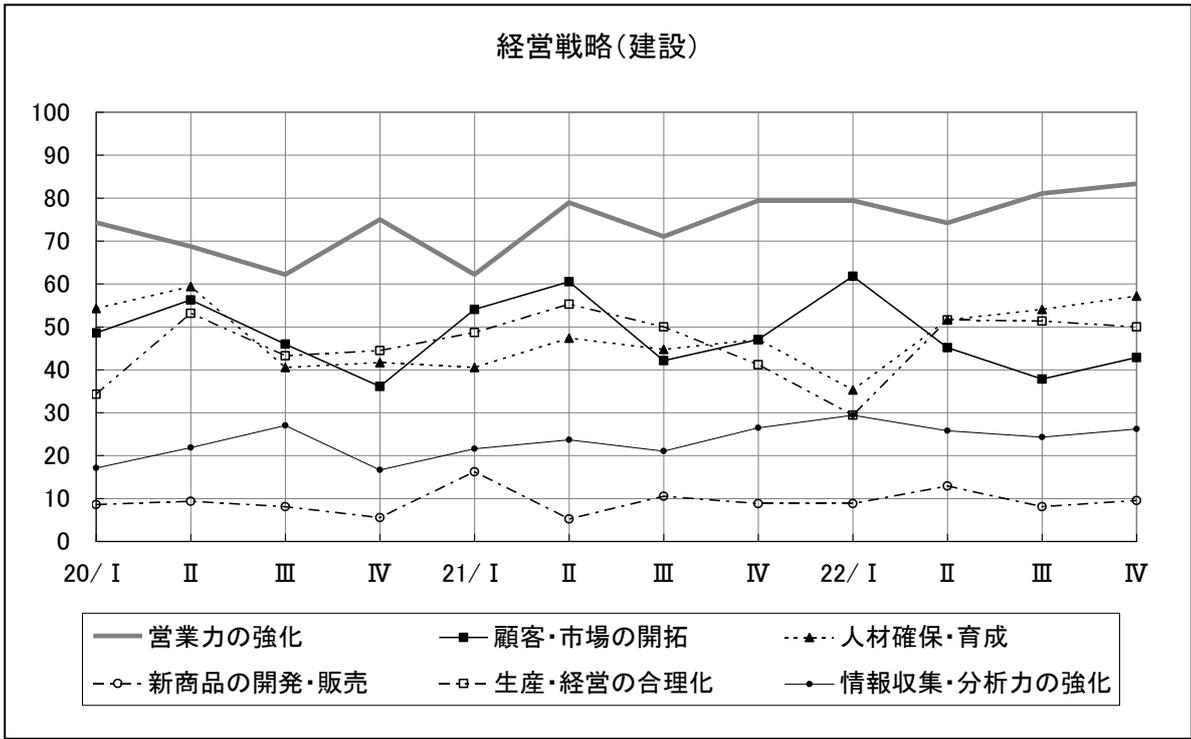


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	345 69.8%	163 33.0%	179 36.2%	70 14.2%	253 51.2%	176 35.6%	43 8.7%	77 15.6%	5 1.0%	494 100.0%	14
製造業	156 67.0%	95 40.8%	71 30.5%	47 20.2%	115 49.4%	111 47.6%	33 14.2%	37 15.9%	2 0.9%	233 100.0%	8
西陣	14 56.0%	8 32.0%	5 20.0%	6 24.0%	10 40.0%	13 52.0%	3 12.0%	3 12.0%	0 0.0%	25 100.0%	0
染色	17 54.8%	12 38.7%	6 19.4%	10 32.3%	18 58.1%	15 48.4%	3 9.7%	3 9.7%	1 3.2%	31 100.0%	3
印刷	20 90.9%	9 40.9%	10 45.5%	3 13.6%	13 59.1%	9 40.9%	3 13.6%	8 36.4%	0 0.0%	22 100.0%	1
窯業	9 64.3%	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	4 28.6%	7 50.0%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	14 100.0%	2
化学	13 61.9%	6 28.6%	3 14.3%	4 19.0%	7 33.3%	16 76.2%	5 23.8%	3 14.3%	0 0.0%	21 100.0%	0
金属	10 47.6%	12 57.1%	11 52.4%	5 23.8%	11 52.4%	5 23.8%	5 23.8%	4 19.0%	0 0.0%	21 100.0%	0
機械	25 78.1%	15 46.9%	14 43.8%	5 15.6%	17 53.1%	10 31.3%	4 12.5%	5 15.6%	0 0.0%	32 100.0%	0
その他の製造	48 71.6%	30 44.8%	20 29.9%	12 17.9%	35 52.2%	36 53.7%	9 13.4%	8 11.9%	0 0.0%	67 100.0%	2
非製造業	189 72.4%	68 26.1%	108 41.4%	23 8.8%	138 52.9%	65 24.9%	10 3.8%	40 15.3%	3 1.1%	261 100.0%	6
卸売	44 72.1%	14 23.0%	17 27.9%	8 13.1%	32 52.5%	24 39.3%	3 4.9%	5 8.2%	1 1.6%	61 100.0%	0
小売	43 72.9%	13 22.0%	18 30.5%	4 6.8%	30 50.8%	17 28.8%	0 0.0%	11 18.6%	1 1.7%	59 100.0%	2
情報通信	17 65.4%	4 15.4%	14 53.8%	2 7.7%	14 53.8%	9 34.6%	2 7.7%	5 19.2%	0 0.0%	26 100.0%	1
飲食・宿泊	18 72.0%	8 32.0%	17 68.0%	1 4.0%	14 56.0%	7 28.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%	25 100.0%	0
サービス	32 66.7%	8 16.7%	18 37.5%	4 8.3%	30 62.5%	4 8.3%	2 4.2%	7 14.6%	1 2.1%	48 100.0%	1
建設	35 83.3%	21 50.0%	24 57.1%	4 9.5%	18 42.9%	4 9.5%	1 2.4%	11 26.2%	0 0.0%	42 100.0%	2
観光関連	30 75.0%	16 40.0%	21 52.5%	3 7.5%	23 57.5%	19 47.5%	1 2.5%	5 12.5%	0 0.0%	40 100.0%	1

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

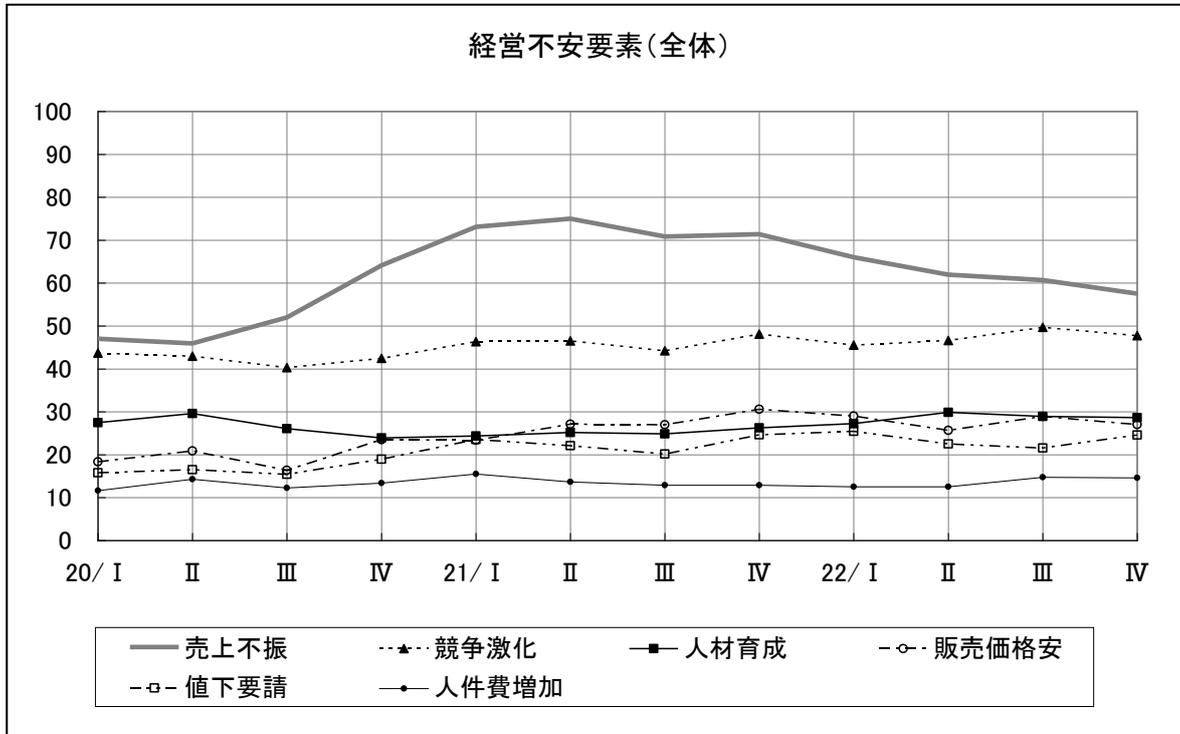


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

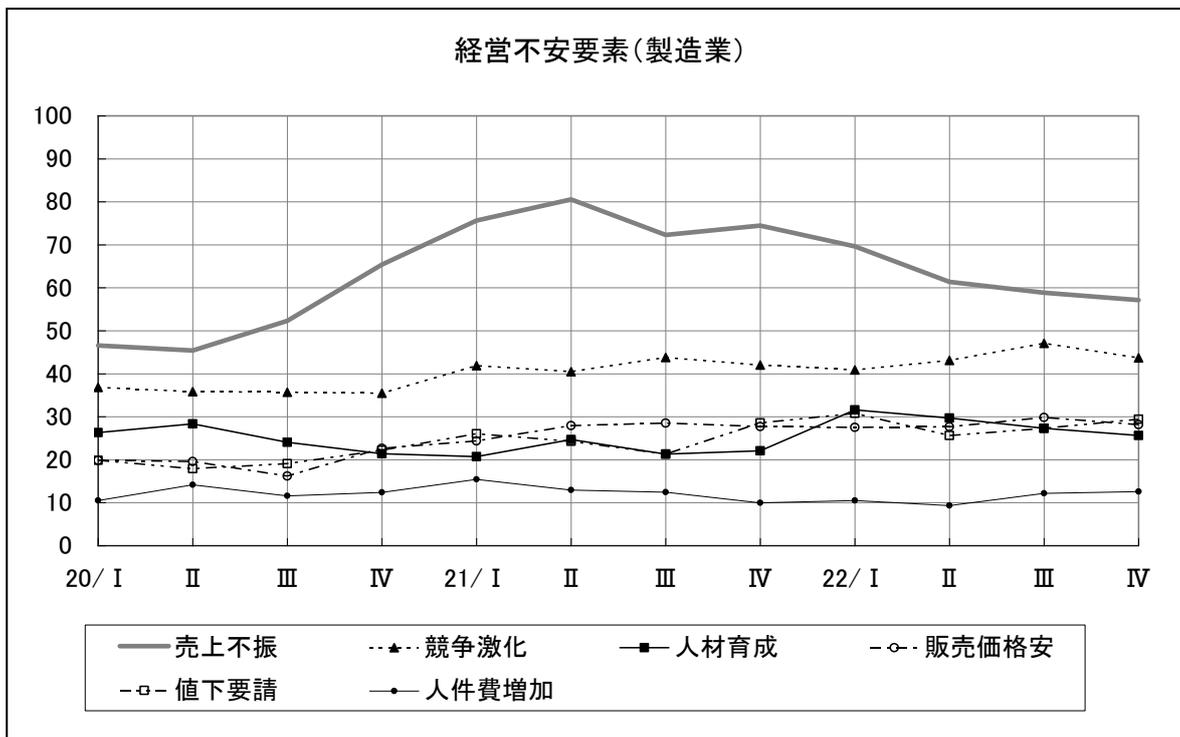


図 41. 経営上の不安要素・西陣

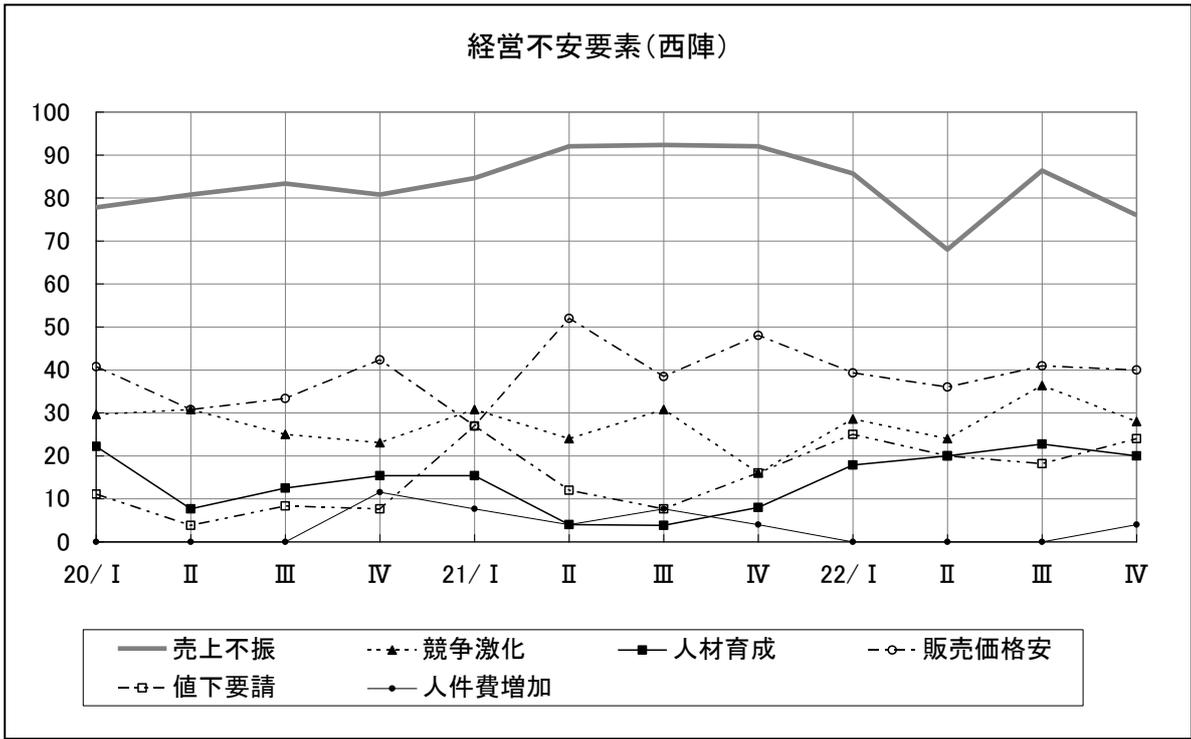


図 42. 経営上の不安要素・染色

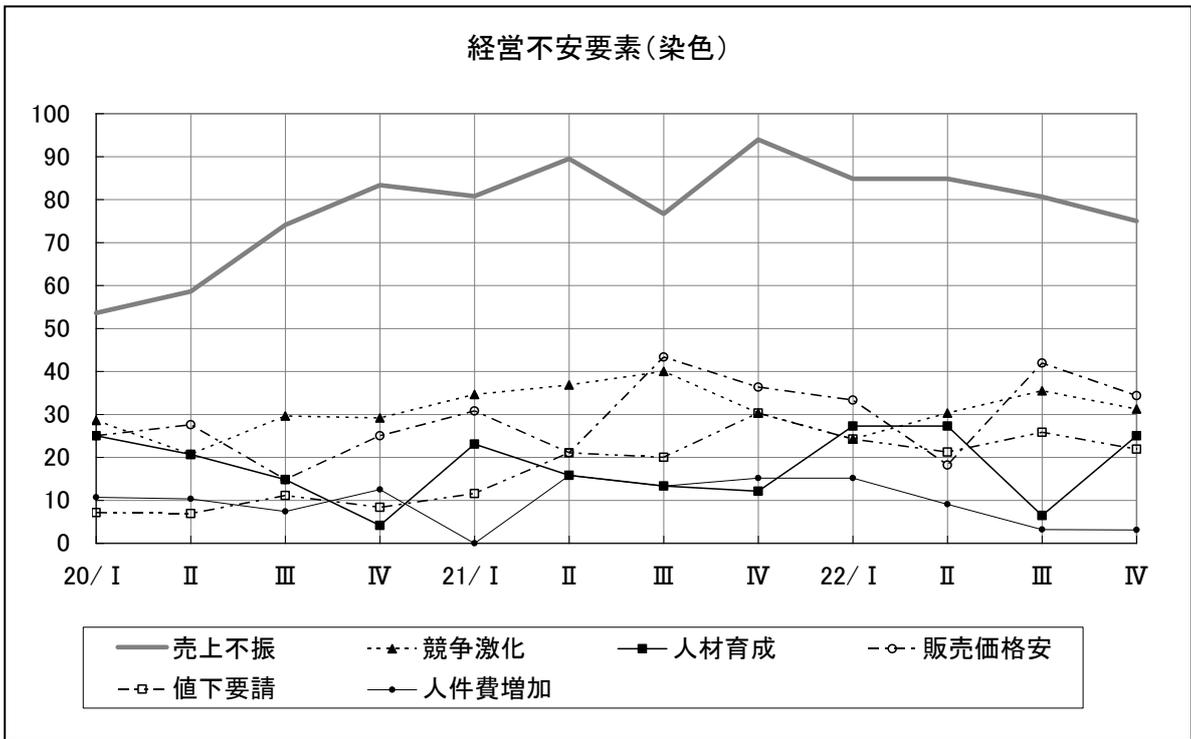


図 43. 経営上の不安要素・印刷

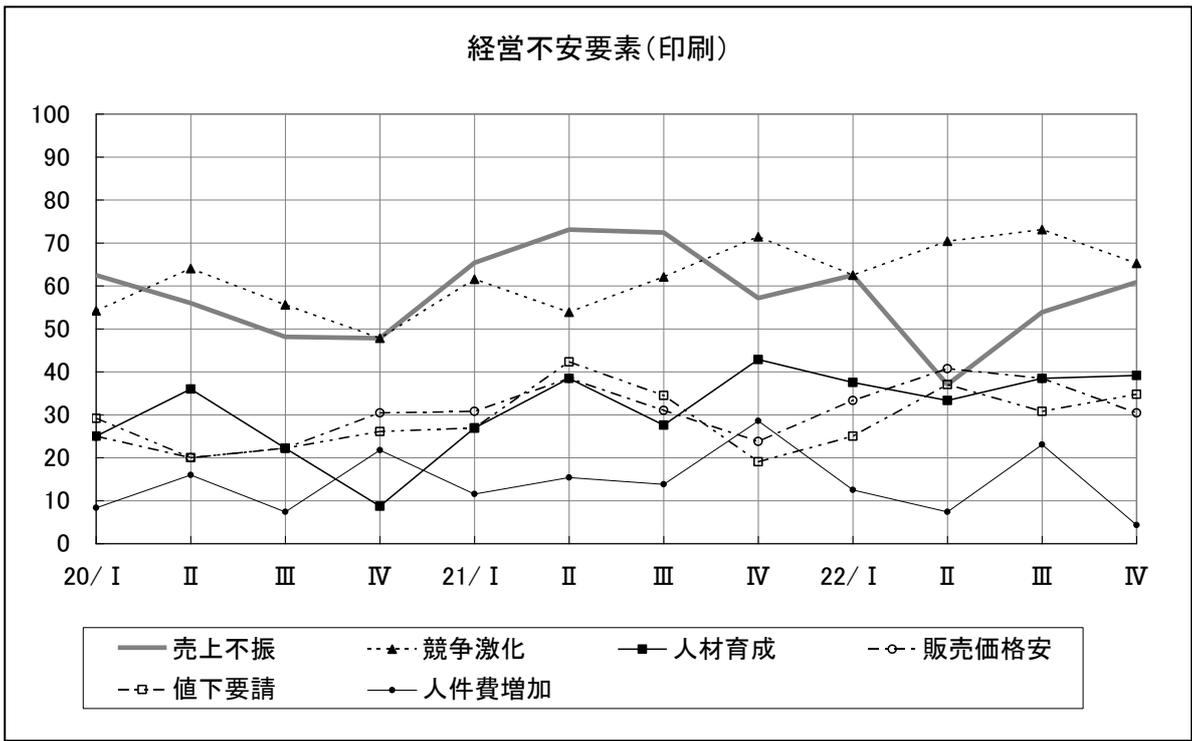


図 44. 経営上の不安要素・窯業

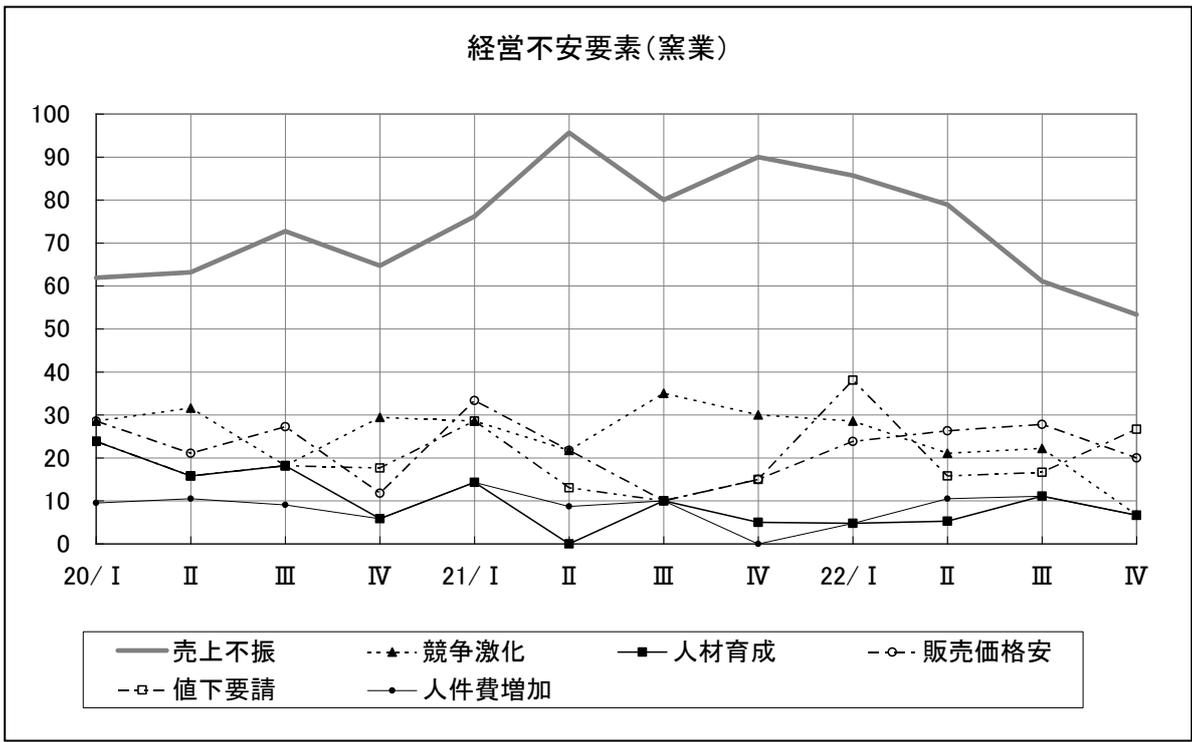


図 45. 経営上の不安要素・化学

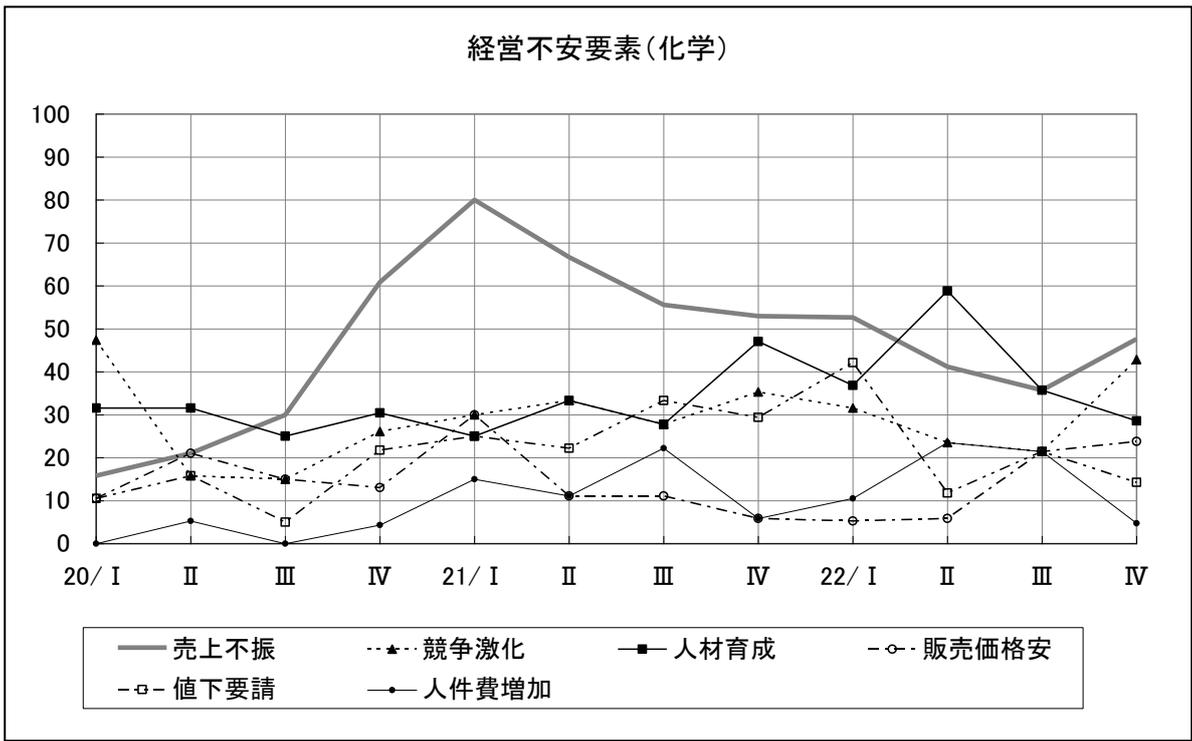


図 46. 経営上の不安要素・金属

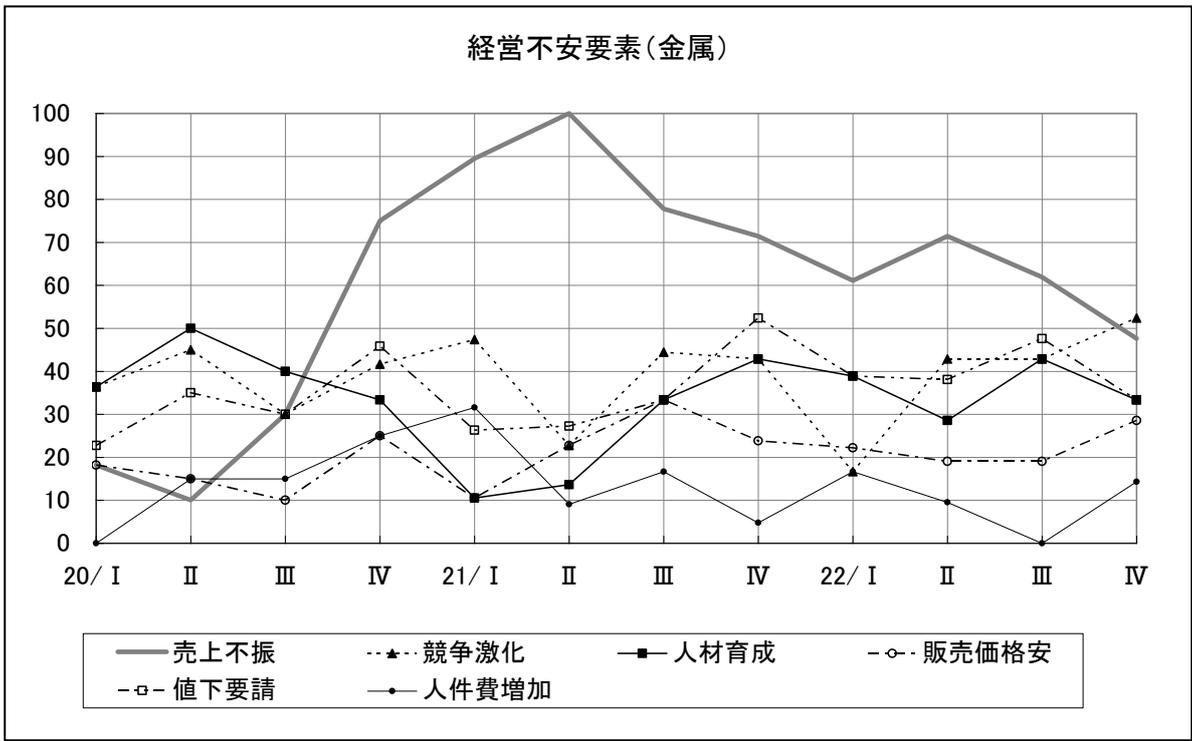


図 47. 経営上の不安要素・機械

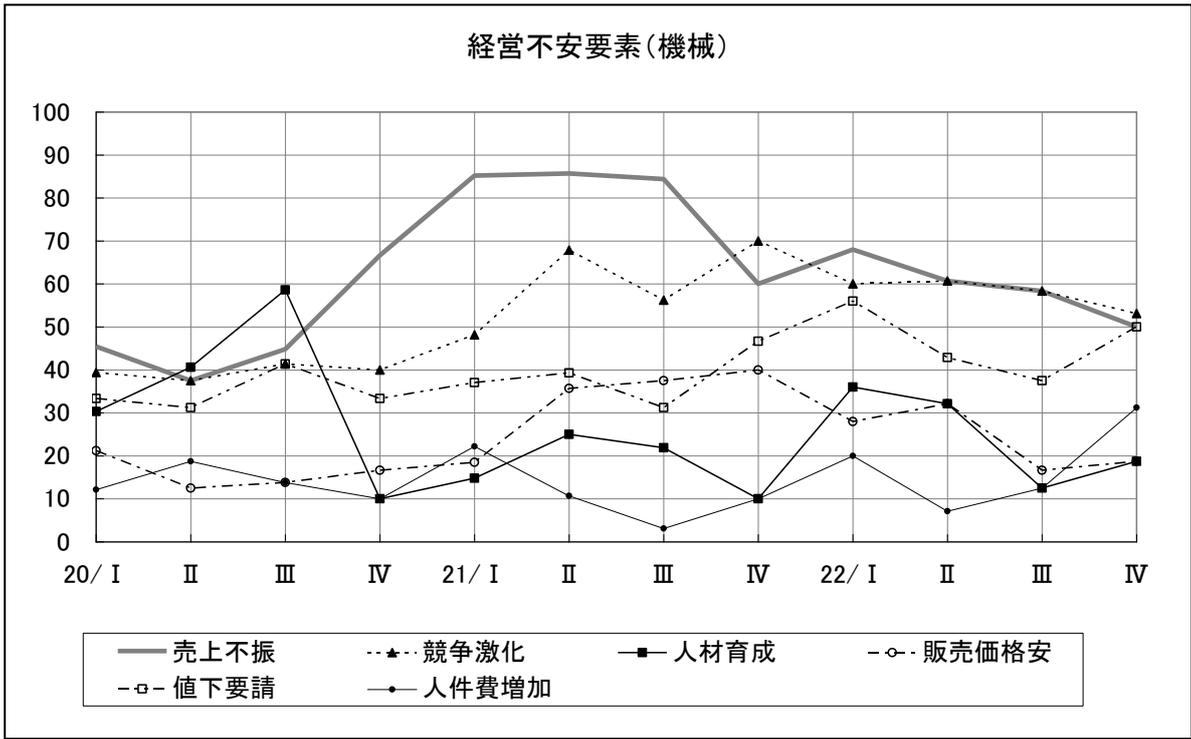


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

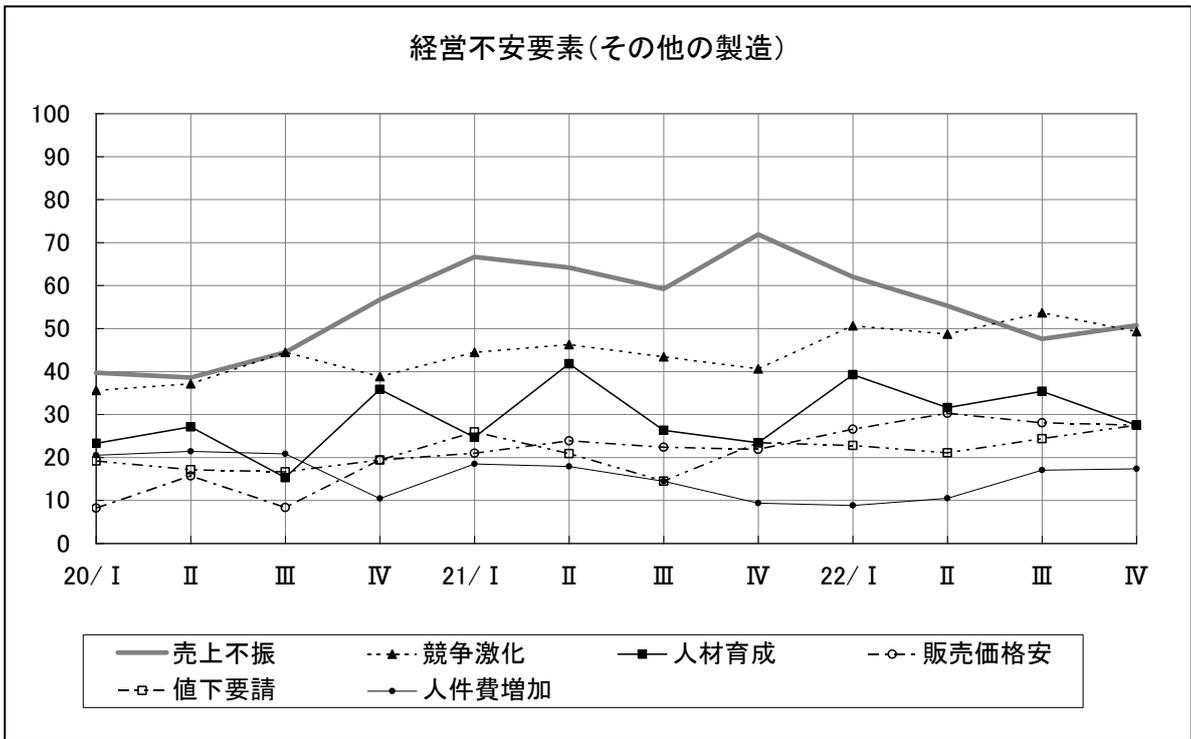


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

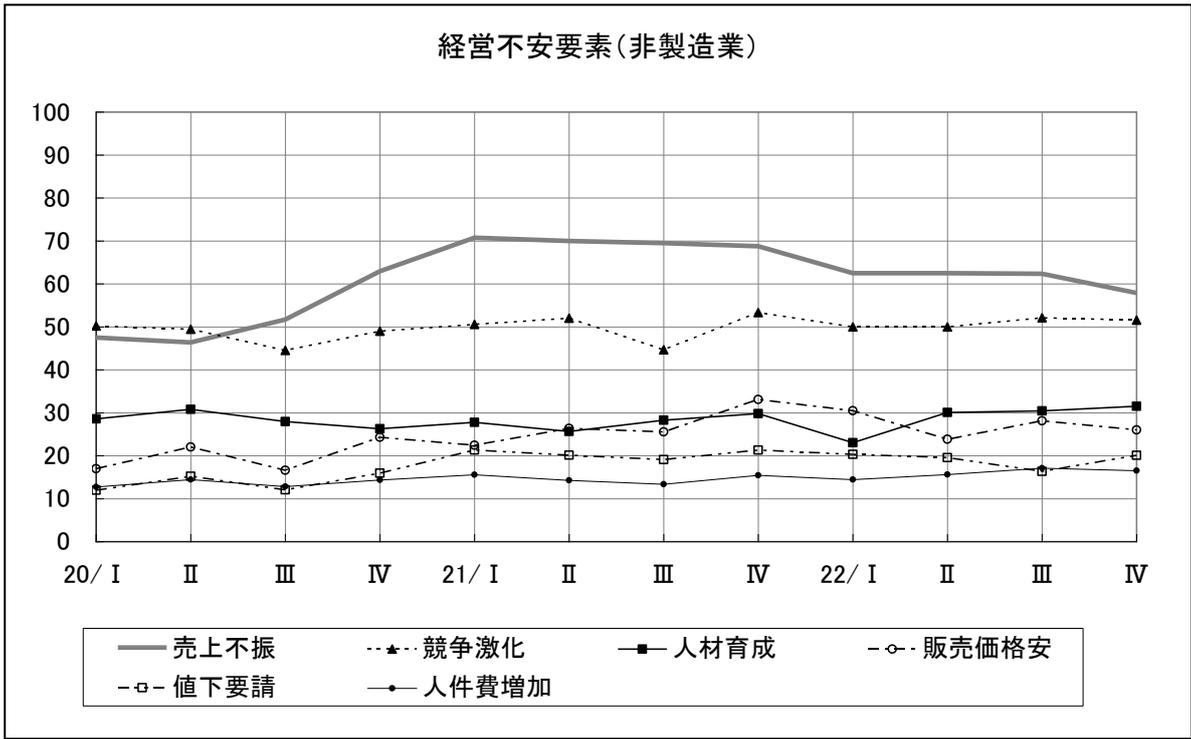


図 50. 経営上の不安要素・卸売

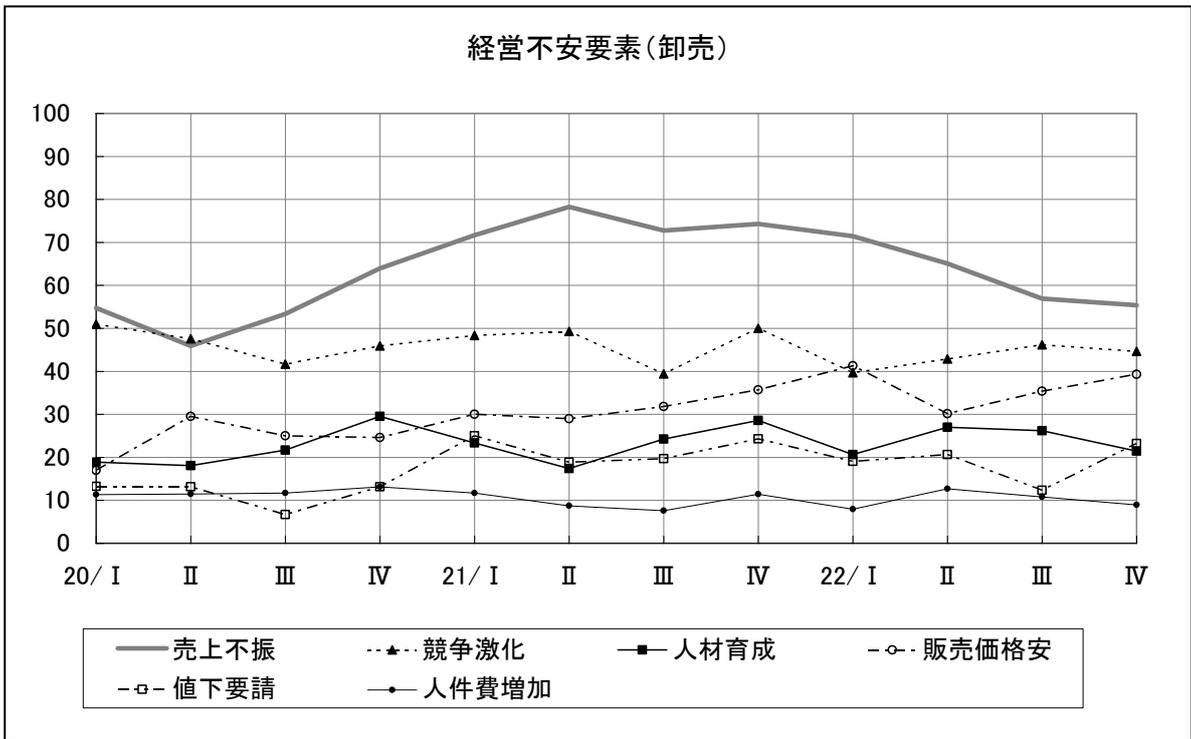


図 51. 経営上の不安要素・小売

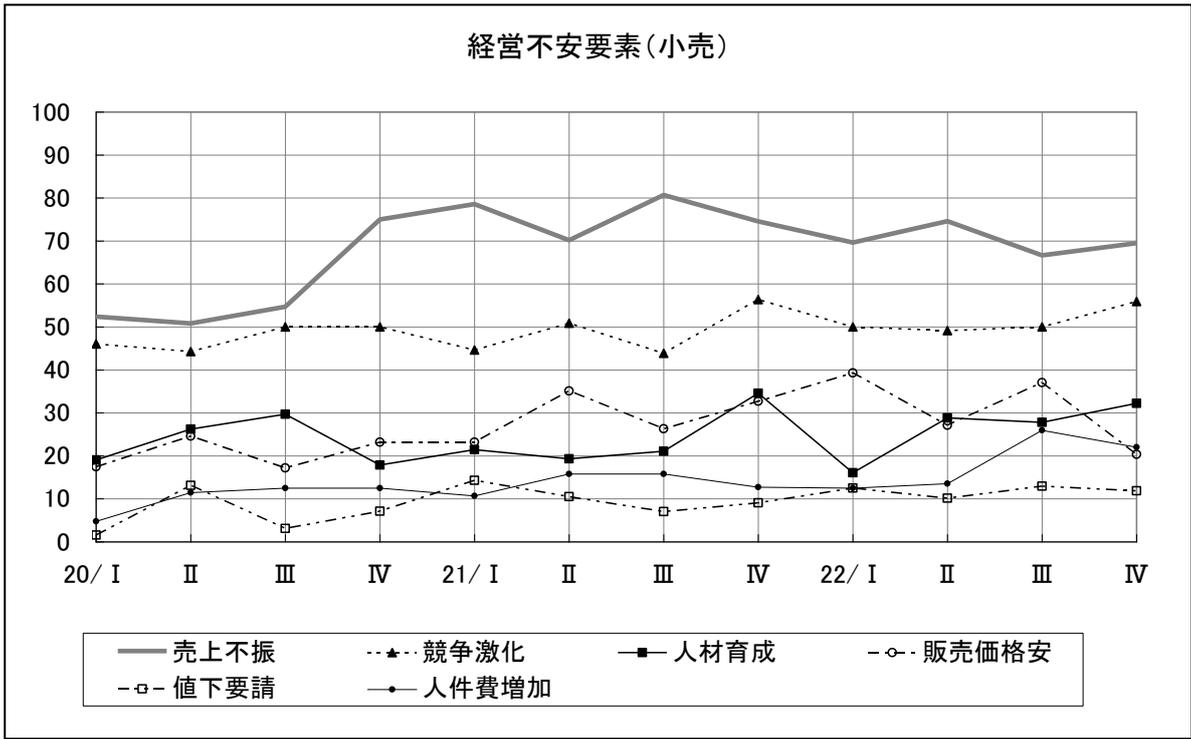


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

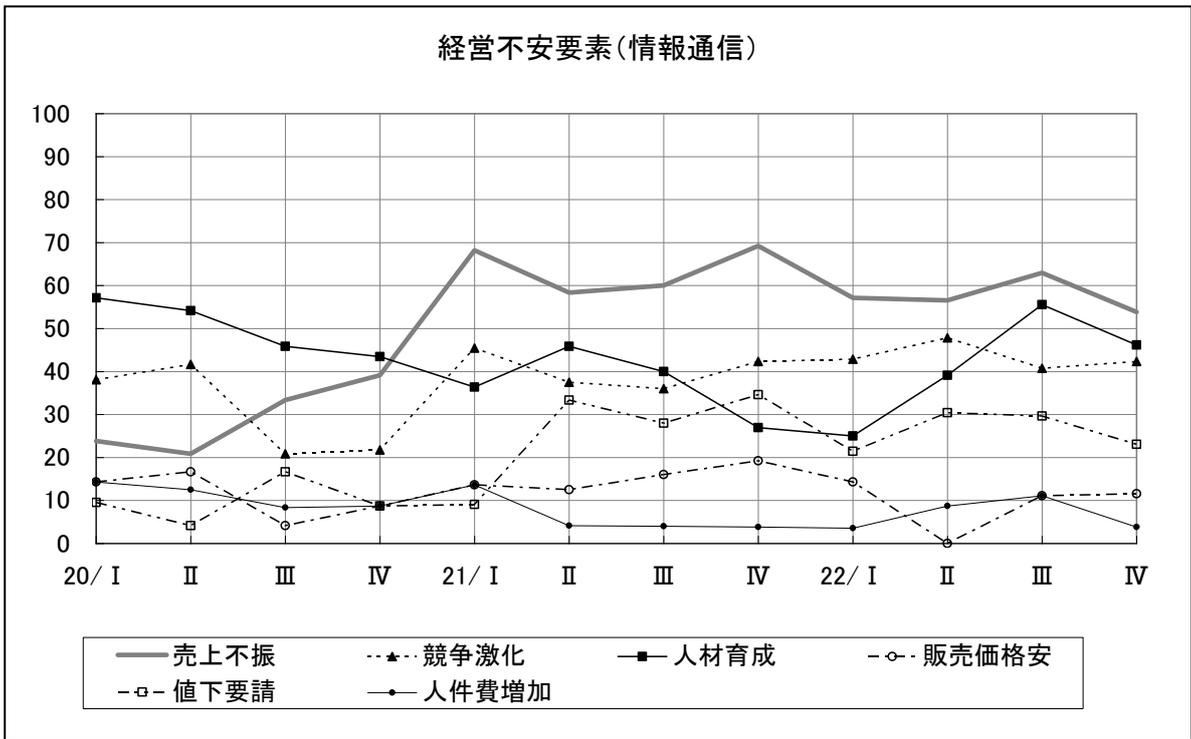


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

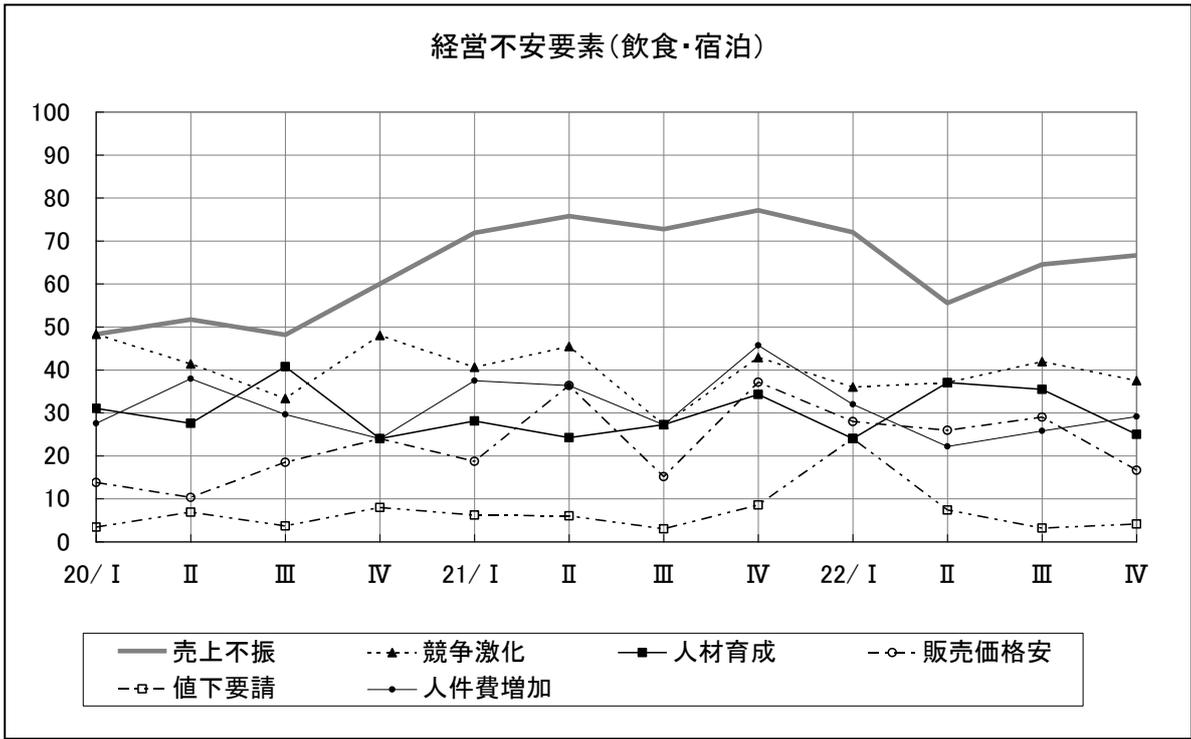


図 54. 経営上の不安要素・サービス

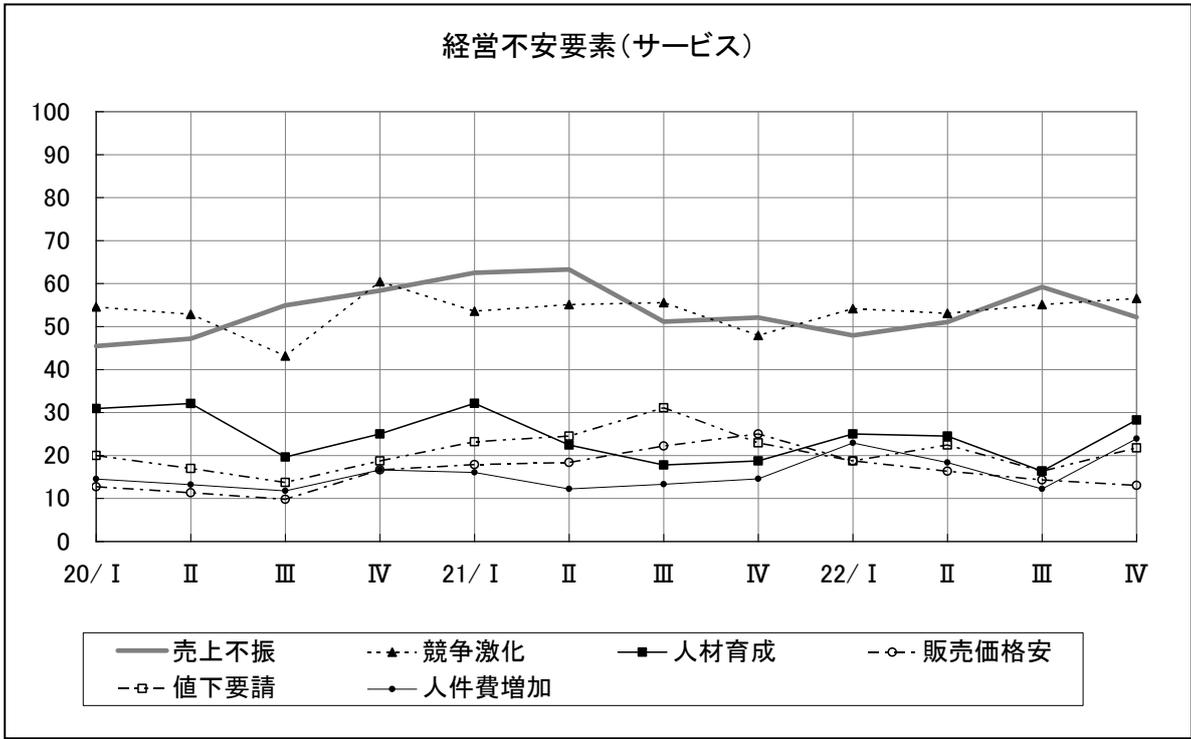


図 55. 経営上の不安要素・建設

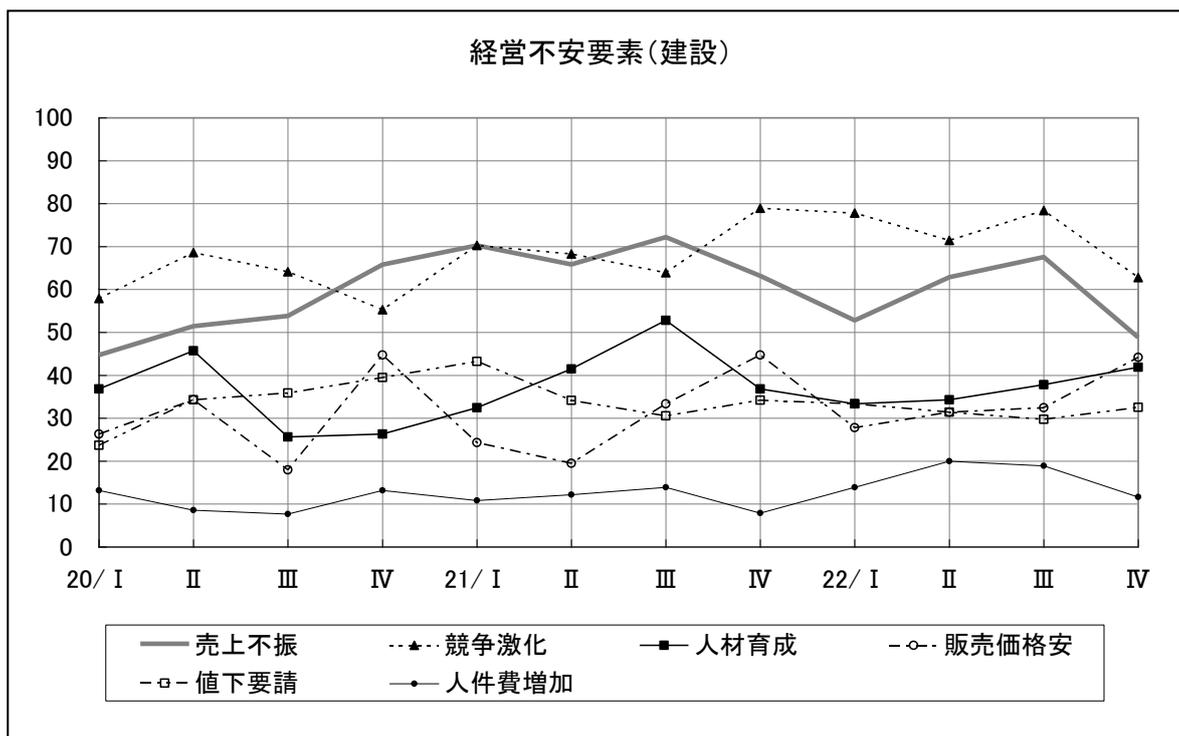


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	235 47.8%	283 57.5%	141 28.7%	121 24.6%	45 9.1%	55 11.2%	19 3.9%	133 27.0%
製造業	104 43.7%	136 57.1%	61 25.6%	70 29.4%	27 11.3%	38 16.0%	7 2.9%	67 28.2%
西陣	7 28.0%	19 76.0%	5 20.0%	6 24.0%	3 12.0%	4 16.0%	0 0.0%	10 40.0%
染色	10 31.3%	24 75.0%	8 25.0%	7 21.9%	4 12.5%	3 9.4%	4 12.5%	11 34.4%
印刷	15 65.2%	14 60.9%	9 39.1%	8 34.8%	1 4.3%	4 17.4%	1 4.3%	7 30.4%
窯業	1 6.7%	8 53.3%	1 6.7%	4 26.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%
化学	9 42.9%	10 47.6%	6 28.6%	3 14.3%	5 23.8%	5 23.8%	0 0.0%	5 23.8%
金属	11 52.4%	10 47.6%	7 33.3%	7 33.3%	3 14.3%	4 19.0%	1 4.8%	6 28.6%
機械	17 53.1%	16 50.0%	6 18.8%	16 50.0%	1 3.1%	1 3.1%	0 0.0%	6 18.8%
その他の製造	34 49.3%	35 50.7%	19 27.5%	19 27.5%	10 14.5%	16 23.2%	1 1.4%	19 27.5%
非製造業	131 51.6%	147 57.9%	80 31.5%	51 20.1%	18 7.1%	17 6.7%	12 4.7%	66 26.0%
卸売	25 44.6%	31 55.4%	12 21.4%	13 23.2%	5 8.9%	2 3.6%	2 3.6%	22 39.3%
小売	33 55.9%	41 69.5%	19 32.2%	7 11.9%	7 11.9%	5 8.5%	2 3.4%	12 20.3%
情報通信	11 42.3%	14 53.8%	12 46.2%	6 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	3 11.5%
飲食・宿泊	9 37.5%	16 66.7%	6 25.0%	1 4.2%	1 4.2%	5 20.8%	1 4.2%	4 16.7%
サービス	26 56.5%	24 52.2%	13 28.3%	10 21.7%	1 2.2%	1 2.2%	3 6.5%	6 13.0%
建設	27 62.8%	21 48.8%	18 41.9%	14 32.6%	4 9.3%	4 9.3%	3 7.0%	19 44.2%
観光関連	11 26.8%	28 68.3%	12 29.3%	6 14.6%	2 4.9%	5 12.2%	2 4.9%	11 26.8%

	技術力 不足	後継者 問題	人手不足	人件費 増加	その他	有効回答	無回答
全業種	49 10.0%	59 12.0%	27 5.5%	72 14.6%	18 3.7%	492 100.0%	16
製造業	30 12.6%	29 12.2%	10 4.2%	30 12.6%	12 5.0%	238 100.0%	3
西陣	1 4.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	25 100.0%	0
染色	4 12.5%	4 12.5%	3 9.4%	1 3.1%	3 9.4%	32 100.0%	2
印刷	3 13.0%	4 17.4%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	23 100.0%	0
窯業	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	15 100.0%	1
化学	5 23.8%	2 9.5%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	21 100.0%	0
金属	3 14.3%	3 14.3%	1 4.8%	3 14.3%	0 0.0%	21 100.0%	0
機械	8 25.0%	5 15.6%	1 3.1%	10 31.3%	2 6.3%	32 100.0%	0
その他の製造	4 5.8%	5 7.2%	2 2.9%	12 17.4%	2 2.9%	69 100.0%	0
非製造業	19 7.5%	30 11.8%	17 6.7%	42 16.5%	6 2.4%	254 100.0%	13
卸売	4 7.1%	5 8.9%	2 3.6%	5 8.9%	3 5.4%	56 100.0%	5
小売	2 3.4%	10 16.9%	3 5.1%	13 22.0%	0 0.0%	59 100.0%	2
情報通信	7 26.9%	3 11.5%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	26 100.0%	1
飲食・宿泊	1 4.2%	2 8.3%	4 16.7%	7 29.2%	0 0.0%	24 100.0%	1
サービス	2 4.3%	7 15.2%	2 4.3%	11 23.9%	1 2.2%	46 100.0%	3
建設	3 7.0%	3 7.0%	4 9.3%	5 11.6%	2 4.7%	43 100.0%	1
観光関連	1 2.4%	6 14.6%	6 14.6%	11 26.8%	1 2.4%	41 100.0%	0

参考:分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
明治以前	10 (2.0)
明治	16 (3.1)
大正	9 (1.8)
昭和19年以前	27 (5.3)
20~39年	181 (35.6)
40~49年	84 (16.5)
昭和50年以降	89 (17.5)
平成	72 (14.2)
無回答	1 (0.2)
不明	19 (3.7)
合計	508 (100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
法人	455 (89.6)
個人	11 (2.2)
無回答	42 (8.3)
合計	508 (100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
製造業	241 (47.4)	非製造業	267 (52.6)
西陣	25 (4.9)	卸売	61 (12.0)
染色	34 (6.7)	小売	61 (12.0)
印刷	23 (4.5)	情報通信	27 (5.3)
窯業	16 (3.1)	飲食・宿泊	25 (4.9)
化学	21 (4.1)	サービス	49 (9.6)
金属	21 (4.1)	建設	44 (8.7)
機械	32 (6.3)	不明	0 (0.0)
その他の製造	69 (13.6)	合計	508 (100.0)

※観光関連 (観光関連の売上げが25%以上)	41 (8.1)
------------------------	------------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
~100万円	1 (0.2)	3001~5000	71 (15.6)
101~200	0 (0.0)	5001~1億円	43 (9.5)
201~500	25 (5.5)	1億円超	9 (2.0)
501~1000	165 (36.3)	無回答	1 (0.2)
1001~3000	140 (30.8)	合計	455 (100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
0~4人	66 (13.0)	50~99人	69 (13.6)
5~9人	80 (15.7)	100人以上	43 (8.5)
10~19人	114 (22.4)	無回答	3 (0.6)
20~29人	56 (11.0)	合計	508 (100.0)
30~49人	77 (15.2)		

第97回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成22年12月3日(金)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名											
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話		—	
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年						従業員数				人
※業種	製造業： A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・H その他の製造										
	非製造業： I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設										
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。										
主な製品、商品、サービス											
御記入者	部課：	役職：				氏名：					

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成22年10月～12月の実績 (前年の同期と比較して)			平成23年1月～3月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 その他() | (裏面も御記入ください。) | |

(5) 平成22年の企業経営実績と来年（平成23年）の見通しについてお尋ねします。

A. 平成22年の貴社の業績は前年（平成21年）と比較していかがでしたか。

下記から一つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良かった 2 良かった 3 前年並み 4 悪かった 5 非常に悪かった

B. 平成23年の貴社の業績見通しは今年（平成22年）と比較していかがですか。

下記から一つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良くなる 2 良くなる 3 今年並み 4 悪くなる 5 非常に悪くなる

C. 平成22年の貴社の業績に影響を与えた要因及び来年（平成23年）の業績に影響を与えると予想される要因について、該当するものの番号を御記入ください。（それぞれ3つ以内）

平成22年実績	プラス要因			マイナス要因			平成23年予測	プラス要因			マイナス要因		

1 営業努力 2 新商品・新技術の開発 3 新事業の展開 4 設備投資
 5 雇用情勢 6 国際情勢 7 国内景気 8 地元景気 9 他社との競争
 10 為替相場 11 金融情勢 12 消費動向 13 物価動向 14 株価動向
 15 地価動向 16 税制改革 17 公共投資 18 輸出入動向 19 価格競争
 20 規制緩和 21 親企業のリストラ・海外進出 22 環境問題 23 その他（ ）

D. Cで「10 為替相場」を選んだ方は、その具体的な内容を御記入ください。

E. 貴社では、今後どのような分野・部門の拡充や縮小をお考えですか。

下記から該当するものの番号を御記入ください。（それぞれ2つ以内）

拡充・強化する部門			削除・縮小する部門		
-----------	--	--	-----------	--	--

1 事務部門（庶務・人事など） 2 財務部門（経理・会計など） 3 営業部門
 4 企画・開発部門（新規事業企画・新市場開拓など） 5 宣伝・広報部門
 6 情報・通信部門 7 技術部門 8 製造部門 9 特になし
 10 その他（ ）

F. 平成23年に向けて貴社の経営全般における独自の取組や工夫を御自由に御記入ください。

（お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。）